



カスタムUIパッケージ3

取扱説明書

- Adobe、および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
 - BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、カスタム UI パッケージ 3（以降、「本パッケージ」と呼びます）に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本機能のご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、複合機の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの複合機の操作方法については、複合機に同梱されているマニュアルをご覧ください。

富士ゼロックス株式会社

本書の使い方

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

1 カスタム UI パッケージについて

本パッケージに含まれる各機能の、主な特長を説明しています。

2 動作環境

本パッケージの動作環境について説明しています。

3 環境設定

本パッケージを使用するために必要な環境設定について説明しています。

4 カスタムメニュー

「カスタムメニュー」で設定できる項目と、その設定方法などについて説明します。

5 カスタムコピー

「カスタムコピー」の基本的な操作方法や機能などについて説明しています。

6 カスタムボックス保存

「カスタムボックス保存」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

7 カスタムスキャン

「カスタムスキャン」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

8 カスタムファクス

「カスタムファクス」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

9 プライベートプリント（一括出力）

「プライベートプリント（一括出力）」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

10 プライベートプリント（かんたん確認）

「プライベートプリント（かんたん確認）」の基本的な操作方法や機能、管理者設定などについて説明しています。

11 ワンタッチアプリ

「ワンタッチアプリ」の基本的な操作方法や、注意制限事項などについて説明しています。

12 設定情報のエクスポート / インポート

設定情報のエクスポート / インポートの概要について説明しています。

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足

補足事項を記述しています。



参照

参照先を記述しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	・ 本書内にある参照先を表しています。 ・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	・ 参照するマニュアルを表しています。
[]	・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	・ 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
< > キー	・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
>	・ 機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「[仕様設定 / 登録] > [登録 / 変更] > [ボックス登録] を選択します。」は、「[仕様設定 / 登録] を押して、[登録 / 変更] を押したあと、[ボックス登録] を選択します。」という手順を省略して記載したものです。 ・ コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。 例：「[スタート] > [検索] > [他のコンピュータ] で検索します。」は、「[スタート] ボタンをクリックして、[検索]、[他のコンピュータ] を順にクリックして検索します。」という手順を省略して記載したものです。 ・ 参照先は、次のように表しています。 例：『管理者ガイド』の「5 仕様設定」 > 「共通設定」 > 「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。

もくじ

はじめに	3
本書の使い方	4
本書の構成	4
本書の表記	5
1 カスタム UI パッケージについて	8
各機能の特長	8
2 動作環境	14
複合機	14
3 環境設定	15
複合機の設定	15
[仕様設定 / 登録] 画面で各項目を設定する	16
インストール	18
カスタム UI パッケージの各機能を使用する前に	18
カスタム UI パッケージの各機能を利用するための環境設定	22
4 カスタムメニュー	25
カスタムメニューについて	25
カスタムメニューの設定	26
管理者設定	38
トラブル対処	40
注意 / 制限事項	41
5 カスタムコピー	42
コピーする	42
コピーを中止する	43
各画面について	44
ワンタッチアプリを作成する	50
アプリを複製する	52
トラブル対処	54
注意 / 制限事項	57
6 カスタムボックス保存	58
スキャンする	58
スキャンを中止する	59
各画面について	60
ワンタッチアプリを作成する	68
アプリを複製する	70
管理者設定	71
トラブル対処	74
注意 / 制限事項	76
7 カスタムスキャン	77
スキャンする	77
スキャンを中止する	78
各画面について	79

	ワンタッチアプリを作成する	91
	アプリを複製する	93
	管理者設定	94
	トラブル対処	97
	注意 / 制限事項	99
8	カスタムファクス	101
	ファクスする	101
	ファクスを中止する	102
	各画面について	104
	ワンタッチアプリを作成する	109
	アプリを複製する	111
	管理者設定	112
	トラブル対処	115
	注意 / 制限事項	116
9	プライベートプリント（一括出力）	117
	プリントする	117
	プリントを中止する	118
	管理者設定	118
	トラブル対処	119
	注意 / 制限事項	121
10	プライベートプリント（かんたん確認）	122
	プリントする	122
	プリントを中止する	124
	プリント設定の変更	125
	プリント済み文書の再利用	126
	管理者設定	127
	トラブル対処	129
	注意 / 制限事項	131
11	ワンタッチアプリ	132
	ワンタッチアプリを実行する	132
	トラブル対処	134
	注意 / 制限事項	136
12	設定情報のエクスポート / インポート	138
	エクスポート / インポートの概要	138
	複製できる設定情報	138
	注意 / 制限事項	139
	索引	140

1 カスタム UI パッケージについて

本パッケージは、複合機でよくお使いの機能を、より簡単な操作で利用できるようにするための追加型アプリケーションです。

本パッケージをインストールすると、通常のメニュー画面の代わりに、次のような「カスタムメニュー」画面を表示し、そこから本パッケージで追加された機能と既存の機能を利用できます。なお、「カスタムメニュー」画面では、フリック / ドラッグによる操作ができます。

「カスタムメニュー」画面の [標準メニュー] ボタンを押すと、通常のメニュー画面を表示できます。

本パッケージで追加された機能ボタン



既存の機能ボタン



注記

- ・本パッケージに含まれる機能は、追加型アプリケーションです。標準で用意されているメニューやサービス画面と比べて、起動してから操作が可能になるまでに時間がかかります。



補足

- ・本パッケージに含まれる [プライベートプリント (一括出力)] や [プライベートプリント (かんたん確認)] は、初期状態の「カスタムメニュー」画面には表示されません。これらのプライベートプリント機能を使用する場合は、「機能 / アプリの追加」(P.32) を参照して、機能ボタンを追加してください。なお、プライベートプリント機能を使用するには、お使いの複合機でプライベートプリントの設定がされている必要があります。プライベートプリントの設定方法は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。
- ・ドラッグ、フリックなど、お使いの複合機で [フリック / ダブルタップ操作] を [有効] に設定している場合の、特有の操作方法については、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

各機能の特長

本パッケージで追加される機能は、次のとおりです。

カスタムメニュー

よく使う機能だけを表示させたメニュー画面を、通常のメニュー画面の代わりに表示できます。補助機能ボタンや使わない機能ボタンを表示しないことで、迷わずに目的のボタンを押すことができます。

ボタンは、本パッケージで追加した機能や、ワンタッチアプリ、複製した機能、既存の機能を含めて、最大 32 個まで配置することができ、メニュー画面の背景色や各ボタンの表示名はユーザーにわかりやすいように変更できます。

また、認証モード運用時は、認証ユーザーが個々に自分用のメニュー画面を作成できます。

例) 認証ユーザー A さんのメニュー画面



例) 認証ユーザー B さんのメニュー画面



参照

- 詳しくは「4 カスタムメニュー」(P.25) を参照してください。

注記

- 認証時や <メニュー> ボタンを押したときに、通常のメニュー画面の代わりに「カスタムメニュー」画面を表示するには、管理者設定が必要です。詳しくは、「管理者設定」>「[メニュー] ボタンの動作」(P.39) を参照してください。
- 「仕様設定 / 登録」画面の、[集計管理] > [集計管理機能の運用] で、[ネット集計管理] に設定している場合は、「カスタムメニュー」は利用できません。通常のメニュー画面をご利用ください。通常のメニュー画面を利用する方法については、「管理者設定」>「[メニュー] ボタンの動作」(P.39) を参照してください。

補足

- 機械管理者の設定によって、一般ユーザーによる「カスタムメニュー」の設定を制限できます。詳しくは、「管理者設定」(P.38) を参照してください。

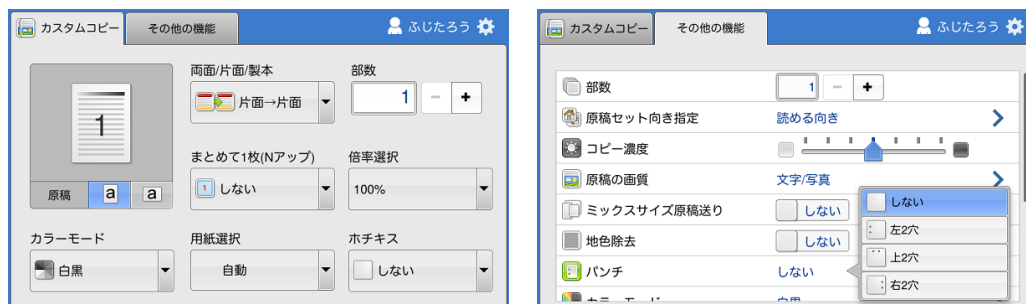
カスタムコピー

通常のコピー画面の、よく使う機能を最初の画面にまとめてあり、簡単にコピーできます。

最初の画面だけで、まとめて一枚と両面や製本など、コスト削減によく活用される組み合わせを設定できます。

設定した内容は、画面左側にイラストで表示されるので、仕上がりイメージを確認しながら設定できます。

また、[その他の機能] 画面には、すべての設定項目がリストで表示されます。最初の画面にない設定項目でも、簡単に確認、設定することができます。



参照

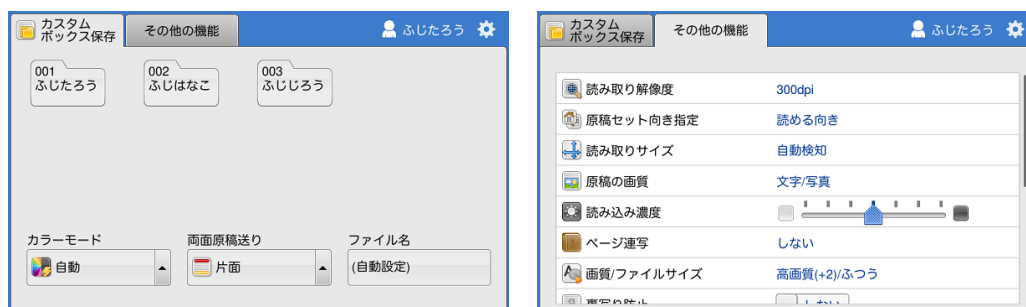
- 詳しくは、「5 カスタムコピー」(P.42) を参照してください。

カスタムボックス保存

各ユーザーが利用できる親展ボックスだけが表示され、スキャンしたデータの保存先が簡単に選択できます。

ファイル名の設定では、自動設定（YYYY_MMDD_HHMMSS：スキャン開始時の年月日時分）だけでなく、あらかじめ登録されている文字列やユーザー名、日付などを組み合わせて入力できます。

また、特定の親展ボックスが選択された状態を初期値として保存すると、次回から保存先の選択を省略できます。



参照

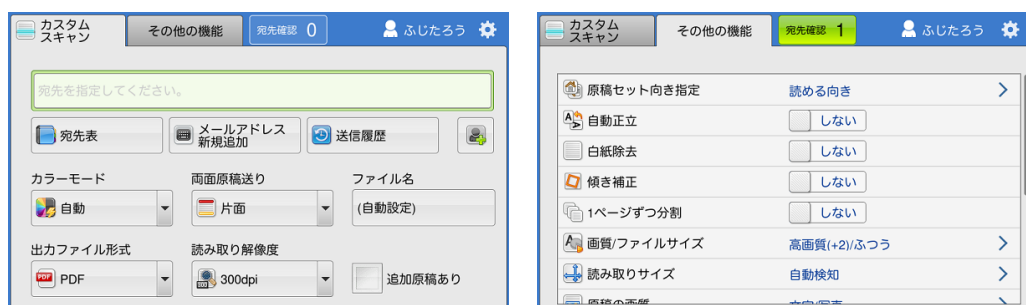
・詳しくは、「6 カスタムボックス保存」(P.58) を参照してください。

カスタムスキャン

カラーモードや出力ファイル形式などのよく使用する機能が最初の画面にまとめて表示され、簡単に選択、設定できます。

スキャンしたデータの宛先は、直接入力するだけでなく、複合機本体に登録されている宛先表や送信履歴からボタン操作で選択できます。一度の操作で、複数の宛先を設定できます。メールアドレスとサーバーを混在して設定できます。

また、宛先やスキャンの設定を初期値として保存することで、次回から設定を省略できます。



参照

・詳しくは、「7 カスタムスキャン」(P.77) を参照してください。

カスタムファクス

ファクスの宛先や、よく使用する機能を、簡単に選択、設定できます。

複合機本体に登録されている宛先表から、ボタン操作で宛先を選択できます。よく送信する宛先をグループに登録しておくと、グループ単位で宛先表を表示できます。

複数の回線が搭載されている場合は、カスタムファクスを実行するときに画面が表示され、ボタン操作で使用する回線を選択できます。

また、宛先やファクスの設定を初期値として保存することで、次回から設定を省略できます。



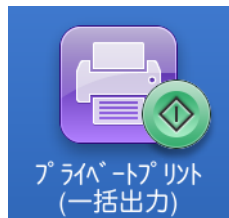
参照

- 詳しくは、「8 カスタムファクス」(P.101) を参照してください。

プライベートプリント（一括出力）

認証ユーザーがプライベートプリントとして蓄積している、まだプリントしていない文書を、一度にプリントできます。

通常のプライベートプリントのように、蓄積文書のリストからプリントする文書を選択する必要がなく、メニュー画面のボタンを押すだけでプリントがスタートします。



参照

- 詳しくは、「9 プライベートプリント（一括出力）」(P.117) を参照してください。



補足

- この機能ボタンは、初期状態の「カスタムメニュー」画面には表示されていません。メニュー画面にボタンを追加する方法は、「機能 / アプリの追加」(P.32) を参照してください。

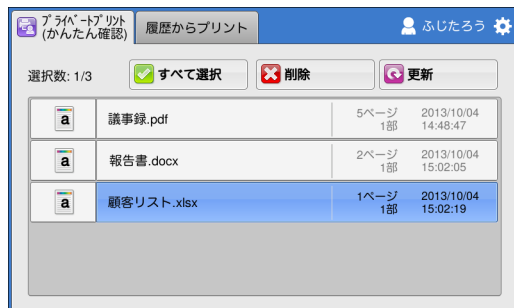
プライベートプリント（かんたん確認）

見やすい画面表示で、プライベートプリント文書を簡単に確認できます。

また、認証ユーザーが、コンピューターからプライベートプリントを指示したときのプリント設定を、プリント時に変更できます。

たとえば、両面で出力したい文書を片面でプリントするように指示してしまった場合でも、プリント時に複合機で設定を両面プリントに変更できます。

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を再度プリントすることもでき、コンピューターからの操作を省略できます。



参照

- 詳しくは、「10 プライベートプリント（かんたん確認）」(P.122) を参照してください。



補足

- ・この機能ボタンは、初期状態の「カスタムメニュー」画面には表示されていません。メニュー画面にボタンを追加する方法は、「機能 / アプリの追加」(P.32) を参照してください。

ワンタッチアプリ

ワンタッチアプリとは、原稿をセットし、メニュー画面のボタンを押すだけでジョブがスタートする機能ボタンです。また、ボタンを押した直後に、機能の概要を説明する画面を表示させ、誤操作を防ぐこともできます。

ワンタッチアプリは、「カスタムコピー」、「カスタムボックス保存」、「カスタムスキャン」、および「カスタムファクス」をもとに作成できます。よく使う設定でワンタッチアプリを作成しておく、と、急ぎのコピーやスキャンに便利です。

たとえば、「カスタムコピー」で「両面 / 片面 / 製本」を「両面→両面（左右開き）」に設定してワンタッチアプリを作成しておく、と、ボタンを押すだけで、すぐに両面コピーができます。



参照

- ・詳しくは、「11 ワンタッチアプリ」(P.132) を参照してください。

アプリの複製

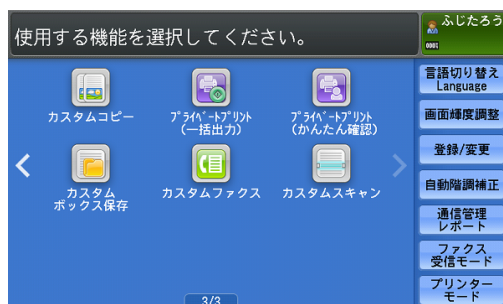
「カスタムコピー」、「カスタムボックス保存」、「カスタムスキャン」、および「カスタムファクス」では、機能の設定値を変更したものを複製し、元の機能ボタンとは別の機能ボタンを作成できます。

よく使う設定や複雑な設定の機能ボタンを作成しておけば、毎回、面倒な設定が不要になります。

通常のメニュー画面を使いたい場合は

「カスタムメニュー」画面を使わないで、通常のメニュー画面からも、本パッケージの各機能を使うことができます。

通常のメニュー画面が表示されるので、必要なボタンを追加してください。



参照

- ・通常のメニュー画面を表示する方法については、「管理者設定」>「[メニュー] ボタンの動作」(P.39) を参照してください。

 注記

- 通常のメニュー画面では、ユーザーが作成したワンタッチアプリ、および「アプリの複製」で作成した機能ボタンは利用できません。
- 通常のメニュー画面上でも「カスタムコピー」、「カスタムボックス保存」、「カスタムスキャン」、「カスタムファクス」のワンタッチアプリの作成やアプリの複製はできますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

 補足

- 本パッケージをアンインストールした場合は、パッケージに含まれるすべての機能、および、すべてのユーザーの「カスタムメニュー」の設定が削除されます。

2 動作環境

カスタム UI パッケージをインストールする前に、対応機種や動作環境を確認し、複合機での設定をしておく必要があります。

複合機

カスタム UI パッケージは、次の環境で動作します。

お使いの複合機の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- プリンターキット搭載機
- スキャナーキット搭載機



補足

・ソリッドステートドライブを装着した複合機をお使いの場合、「ハードディスク」は、「ソリッドステートドライブ」と読み替えてください。

お使いの複合機が、内蔵ハードディスク、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。

操作手順

- 1 操作パネルの〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。
- 2 [機械状態レポート出力] タブの [機械構成] を押します。
- 3 [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。
- 4 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

3 環境設定

お使いの複合機で、カスタム UI パッケージを利用するための環境を設定します。



補足

本機能を使用するには、次のどちらかが必要です。

- ・カスタムサービスと組み込みプラグイン機能を有効にする
- ・ソフトウェアオプションのパスワードを設定する

どちらの方法で設定するかは機種によって異なります。詳しい手順は『複合機のソフトウェアオプション設定ガイド』を参照してください。

複合機の設定

次の設定が必要です。

項目	設定内容	参照
SOAP- ポート	・ SOAP- ポート：起動 ・ SOAP- ポート番号：80	「SOAP ポート」 (P.17)
プロトコル設定	・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための設定	「プロトコル設定」 (P.17)
Web ブラウザー設定	・ [外部アクセスバージョンの選択]：[V5] ・ [終了時のキャッシュ削除]：[しない] ・ [キャッシュの使用]：[する]	「Web ブラウザー設定」 (P.17)

なお、認証機能を利用する場合は、次のように設定されているか確認してください。

項目	設定内容	参照
認証方式の設定	・ [認証方式の設定]：[本体認証] または [外部認証] ・ ユーザーの登録	「認証方式の設定」 (P.17)
アクセス制御	・ [デバイスへのアクセス]：[制限する]	「アクセス制御」 (P.18)



注記

- ・ 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、カスタム UI パッケージでサービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーやスキャンの利用を制限していても、カスタム UI パッケージは利用可能な状態となります。
- ・ 本機能は、[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate (関連商品)、または IC カードリーダー (オプション) を接続している場合、IC カードの情報を利用できません。



補足

設定内容によっては、複合機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。



参照

各設定の詳細な手順については、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

[仕様設定 / 登録] 画面で各項目を設定する

お使いの複合機で [仕様設定 / 登録] 画面を表示する手順は次のとおりです。



補足

- ・本書で記載している画面は、お使いの機種によって異なることがあります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

操作手順

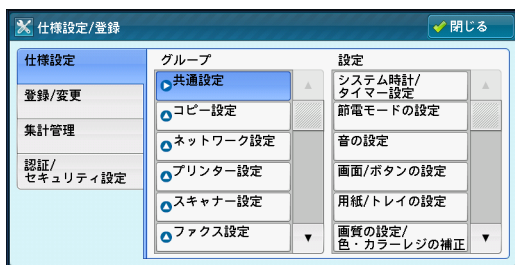
- 1 操作パネルで〈認証〉ボタンを押します。
- 2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID（必要に応じてパスワード）を入力し、[確定] を押します。



- 3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



- 4 各項目を設定します。



補足

- ・設定値を反映するために再起動が必要な場合があります。再起動を促す画面が表示されたら、指示に従って再起動してください。

SOAP ポート

操作手順

- 1 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] を選択します。
- 2 次の項目を設定します。
 - SOAP- ポート：起動
 - SOAP- ポート番号：80

プロトコル設定

操作手順

- 1 [仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] を選択します。
- 2 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定します。

Web ブラウザー設定

操作手順

- 1 [仕様設定] > [Web ブラウザー設定] を選択します。
 **補足**
[Web ブラウザー設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定、またはカスタムサービスの有効化が必要です。
- 2 次の項目を設定します。
 - 外部アクセスバージョンの選択：V5
 - 終了時のキャッシュ削除：しない
 - キャッシュの使用：する

認証方式の設定

操作手順

- 1 [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を選択します。
- 2 [本体認証] または [外部認証] を設定します。
- 3 本体認証の場合は、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択して、本機能を使用するユーザーを登録します。

**補足**

外部認証の場合は、ユーザー登録は必要ありません。

アクセス制御

操作手順

- 1 [認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] を選択します。
- 2 次の項目を設定します。
 - デバイスへのアクセス：制限する

インストール

カスタム UI パッケージをインストールします。

インストール手順については、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

インストールが終了したら、「カスタム UI パッケージの各機能を使用する前に」(P.18) と「カスタム UI パッケージの各機能を利用するための環境設定」(P.22) を参照して、必要な設定をしてください。



補足

バージョンアップ、またはアンインストールする場合も、『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』を参照してください。

カスタム UI パッケージの各機能を使用する前に

カスタム UI パッケージに含まれる、各機能を利用する前に必要な設定を説明します。

メニュー画面の設定

カスタム UI パッケージの初期設定では、通常のメニュー画面に [カスタムメニュー] ボタンが表示され、このボタンを押すことでカスタムメニュー画面を表示できます。

次のどちらかの設定をすると、操作パネルのボタンを押すだけで、直接カスタムメニュー画面を表示できるようになります。

- 登録ボタンに「カスタムメニュー」を登録する（推奨）

操作パネルの登録ボタン「登録 1」～「登録 3」のどれかに、「カスタムメニュー」を登録します。

登録ボタンに機能を登録しておくと、機能を切り替えるときに、メニュー画面に戻らなくても、直接機能の画面を表示できます。

詳しい設定方法については、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

- 〈メニュー〉ボタンの動作を設定する

標準メニューの代わりに常にカスタムメニューを使いたい場合は、管理者設定画面で、〈メニュー〉ボタンの動作を設定します。

認証時や〈メニュー〉ボタンを押したとき、通常のメニュー画面の代わりに「カスタムメニュー」画面を表示できます。

通常のメニュー画面の設定のまま、カスタム UI パッケージの機能を利用することもできます。その場合、ワンタッチアプリの作成機能やアプリの複製機能を使って新しい機能ボタンを作成することはできますが、作成した機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。



補足

- ・通常のメニュー画面でカスタム UI パッケージの機能を利用する場合、メニュー画面上には、使用するボタンのみを配置することをお勧めします。[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [メニュー画面の機能配列] でボタンの追加 / 削除、およびボタンの配列を変更してください。詳しくは、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

ここでは、〈メニュー〉ボタンの動作を設定する方法を説明します。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



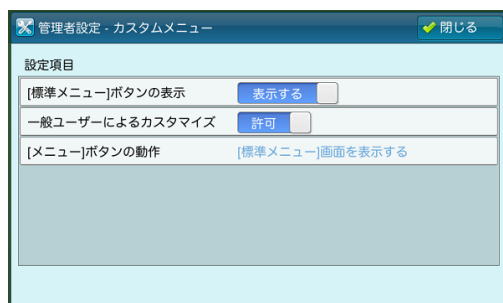
補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

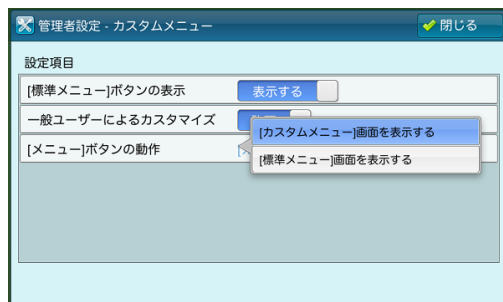
- 3 [カスタムメニュー] を押し、「カスタムメニュー」画面で  (管理者設定) ボタンを押します。



- 4 [[メニュー] ボタンの動作] を押します。



5 [[カスタムメニュー] 画面を表示する] を選択します。



6 [閉じる] を押します。

7 〈メニュー〉 ボタンを押して、「カスタムメニュー」画面が表示されることを確認します。

カスタムメニューの設定

カスタム UI パッケージをインストールすると、「カスタムメニュー」画面に初期設定の機能ボタンが表示されます。

カスタム UI パッケージに含まれる、その他の機能を使用したい場合は、機能ボタンを追加してください。

また、初期設定では、お使いの複合機で使用できない機能のボタンも表示されることがあります。使用できない機能や、使わない機能のボタンは、削除しておくことをお勧めします。機能ボタンの削除については「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの削除」(P.31) を参照してください。



参照

- ・「カスタムメニュー」の詳しい操作方法については、「4 カスタムメニュー」(P.25) を参照してください。

機能ボタンの追加



補足

- ・「カスタムメニュー」画面に表示できる機能ボタンは、32 個（1 ページに 8 個、最大 4 ページ）までです。すでに 32 個の機能ボタンが表示されている場合は、「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの削除」(P.31) を参照し、不要な機能ボタンを削除してから追加してください。

操作手順

1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

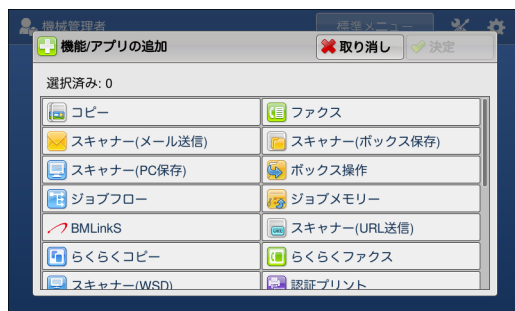
3 「カスタムメニュー」画面で (設定メニュー) ボタンを押します。



4 「機能 / アプリの追加」を選択します。



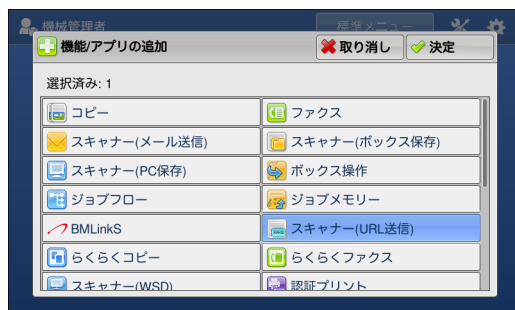
5 「カスタムメニュー」画面にボタンを追加したい機能を選択します。



補足

- ・複数のアプリを一度に選択できます。
- ・すでに「カスタムメニュー」画面に機能ボタンが配置されている機能を選択すると、同じ機能ボタンが重複して表示されます。
- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

6 「決定」を押します。



補足

- ・追加した機能ボタンは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。

カスタム UI パッケージの各機能を利用するための環境設定

カスタム UI パッケージの機能によっては、「カスタムメニュー」を利用するための環境設定に加え、次の設定をする必要があります。



参照

- ・各設定の詳細な手順については、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。
- ・「カスタムメニュー」を利用するための環境設定については、「環境設定」(P.15)を参照してください。

カスタムボックス保存

表示可能な親展ボックスの登録

- 認証機能を利用している場合
各認証ユーザーが親展ボックスを登録する。または機械管理者がパスワードのない親展ボックスを登録する。
- 認証機能を利用していない場合
一般ユーザー、または機械管理者が、パスワードのない親展ボックスを登録する。

カスタムスキャン

宛先表の登録

- 宛先表を利用する場合は、メール用、またはサーバー（FTP または SMB）保存用の宛先を、複合機本体に登録する。



補足

- ・サーバーの保存先は、カスタムスキャン実行時に直接入力することはできません。スキャンしたデータをサーバーに保存したい場合は、事前に宛先表に登録しておく必要があります。

カスタムファクス

G3 ID の設定

- [仕様設定/登録]画面の、[仕様設定] > [ファクス設定] > [自局情報]で、カスタムファクスで使用する回線の「G3 ID」を設定する。

カスタムファクスの利用開始

- 機械管理者がカスタムファクスの設定を確認し、[利用開始]を実行する。
[利用開始]を実施するまでは、ユーザーはカスタムファクスの機能を利用できません。

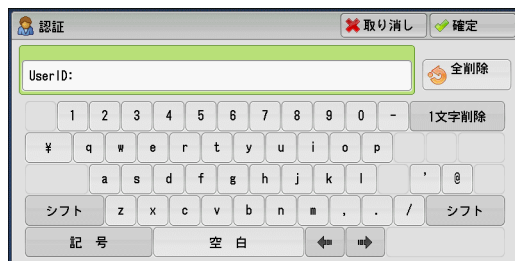


注記

- ・複合機本体のファクス機能の設定は、カスタムファクスには引き継がれません。機械管理者は、誤送信防止などの機能をカスタムファクス用にあらためて設定してから、[利用開始]を実行してください。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



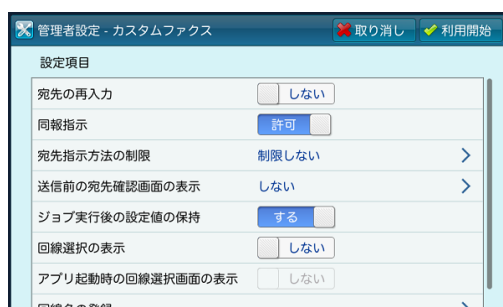
補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

- 3 メニュー画面で、[カスタムファクス] を押します。



- 4 カスタムファクスの設定の確認を指示する画面が表示されるので、[管理者設定を確認] を押します。
- 5 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

- ・設定項目については、「管理者設定画面について」(P.114) を参照してください。

- 6 [利用開始] を押します。

プライベートプリント（一括出力）



- この機能は、認証機能を利用している場合に利用できます。認証機能の設定について、詳しくは「環境設定」(P.15)を参照してください。[認証方式の設定]を[認証しない]に設定し、IC Card Gate (関連商品)、またはICカードリーダー（オプション）を接続している場合は利用できません。

プライベートプリントの設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] で、[受信制御] を [プライベートプリントに保存] に設定する。

プライベートプリント（かんたん確認）



- この機能は、認証機能を利用している場合に利用できます。認証機能の設定について、詳しくは「環境設定」(P.15)を参照してください。[認証方式の設定]を[認証しない]に設定し、IC Card Gate (関連商品)、またはICカードリーダー（オプション）を接続している場合は利用できません。

プライベートプリントの設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] で、[受信制御] を [プライベートプリントに保存] に設定する。

4 カスタムメニュー

カスタムメニューについて

「カスタムメニュー」画面を表示させる方法と、「カスタムメニュー」画面に表示されるボタンについて説明します。

「カスタムメニュー」画面を表示させる

操作手順

- 1 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。
 - (1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
 - (2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

- 2 メニュー画面で [カスタムメニュー] を押すと、「カスタムメニュー」画面が表示されます。



補足

- ・管理者の設定によっては、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押すことで、「カスタムメニュー」画面を表示させることもできます。設定方法は、「管理者設定」(P.38) を参照してください。

【標準メニュー】ボタン

このボタンを押すと、通常のメニュー画面が表示されます。



補足

- ・管理者の設定によっては、[標準メニュー] ボタンが、一般ユーザーの「カスタムメニュー」画面に表示されない場合があります。設定方法は、「管理者設定」(P.38) を参照してください。

設定メニューボタン

設定メニューボタン () を押すと、[メニューの編集 / 削除 / 並べ替え]、[機能 / アプリの追加]、[その他の設定]、または [言語切り替え Language] を選択できます。



参照

- ・詳しくは「カスタムメニューの設定」(P.26) を参照してください。

「カスタムメニュー」画面のページを切り替える

「カスタムメニュー」画面が 2 ページ以上になる場合、次の方法でページを切り替えることができます。



参照

- ・お使いの複合機の、[フリック / ダブルタップ操作] の設定により、ページの切り替え方法が異なります。[フリック / ダブルタップ操作] の設定方法については、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

フリックおよびダブルタップ操作が有効な場合

- ドラッグ、またはフリックする
- ページインジケータをタップする
たとえば、2 ページ目を表示したい場合は、左から 2 番目のページインジケータをタップします。



ページインジケータ

フリックおよびダブルタップ操作が無効な場合

[]、[] を使って切り替えます。

カスタムメニューの設定

「カスタムメニュー」では、配置された機能ボタンの並べ替えや、機能ボタンの追加、背景色の設定などができます。

ここでは、「カスタムメニュー」で設定できる項目について説明します。



補足

- ・認証機能を利用している場合、機械管理者の「カスタムメニュー」の設定は、認証ユーザーの「カスタムメニュー」の設定の初期値となります。
なお、機械管理者が「カスタムメニュー」の設定を変更した場合、それ以降に初めて認証したユーザーの「カスタムメニュー」では、機械管理者の変更後の設定が初期値となりますが、すでに自分の「カスタムメニュー」を設定している認証ユーザーには、変更の影響はありません。
- ・「カスタムメニュー」に特定の外部サービス呼び出すボタンを表示した場合、接続先に設定された名称は表示されず、「外部アクセス サーバー NN」と表示されます。「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの編集」(P.28) を参照して、適切な表示名に変更してください。

メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの並べ替え

「カスタムメニュー」画面に表示される機能ボタンの位置を移動して、並べ替えることができます。



補足

- ・管理者の設定によっては、一般ユーザーは機能ボタンを編集できません。管理者の設定については、「管理者設定」(P.38)を参照してください。

操作手順

- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



- 2 「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え」を選択します。



- 3 移動する機能ボタンを、移動したい位置へドラッグ & ドロップします。



補足

- ・移動先には、上の画面のように白い線が表示されます。
- ・機能ボタンを移動すると、移動先のエリアにある機能ボタンが、1つ後ろに移動し、それ以降の機能ボタンも1つずつ後ろに移動します。移動先のページに8個の機能ボタンが配置されている場合は、8個めの機能ボタンが次のページに押し出されます。また、移動元のエリアには、それ以降の同じページ内の機能ボタンが、1つずつ前に移動します。
- ・機能ボタンを、画面の右端にドラッグすると、次のページに移動します。次のページがない場合は、新規ページが作成されます。ページは、4ページまで作成できます。機能ボタンを、画面の左端にドラッグすると、前のページに移動します。

- 4 「完了」を押します。

メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの編集

「カスタムメニュー」画面に表示される機能ボタンの表示名、アイコン、および機能の説明を編集できます。

ワンタッチアプリの場合は、ジョブを実行するときに確認画面を表示させるかどうかも設定できます。



補足

- ・管理者の設定によっては、一般ユーザーは機能ボタンを編集できません。管理者の設定については、「管理者設定」(P.38)を参照してください。
- ・言語を切り替えると、変更した表示名や機能の説明が正しく表示されない場合があります。

操作手順

- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



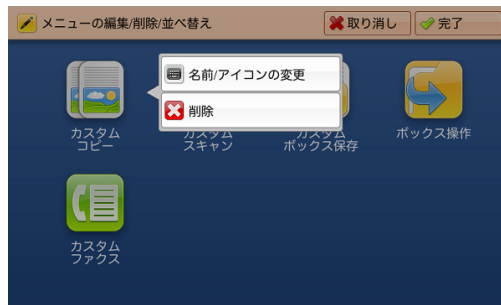
- 2 [メニューの編集 / 削除 / 並べ替え] を選択します。



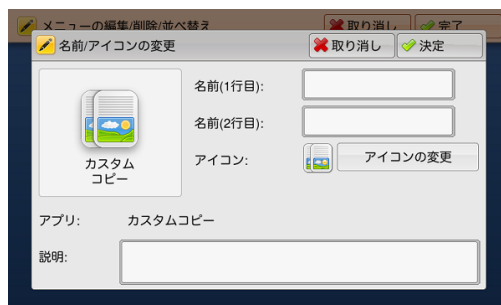
- 3 編集する機能ボタンを選択します。



- 4 ワンタッチアプリの場合は[名前 / アイコン / ワンタッチ動作の変更]を、ワンタッチアプリ以外の機能ボタンの場合は[名前 / アイコンの変更]を選択します。



- 5 各項目を編集し、[決定]を押します。



補足

- ・ 最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・ [名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および [説明] で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

- 6 [完了]を押します。

[名前 / アイコンの変更] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更]を押すと、[アイコンの変更]画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定]を押してください。

ダイレクトスタート

ワンタッチアプリの動作について設定できます。

[する]に設定した場合は、機能ボタンを押すだけで、ジョブが開始されます。また、アイコンに  が表示されます。

[しない]に設定した場合は、機能ボタンを押すと、機能の概要を説明する画面が表示されるので、〈スタート〉ボタンを押してジョブを開始します。



補足

- ・ この項目は、ワンタッチアプリの場合のみ表示されます。

アプリ

機能の種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - ワンタッチアプリの設定の確認

「カスタムメニュー」画面に表示されるワンタッチアプリの、詳細の設定を確認できます。



補足

- ・この項目は、ワンタッチアプリの場合のみ表示されます。
- ・言語を切り替えると、表示名や機能の説明が正しく表示されない場合があります。

操作手順

- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



- 2 [メニューの編集 / 削除 / 並べ替え] を選択します。



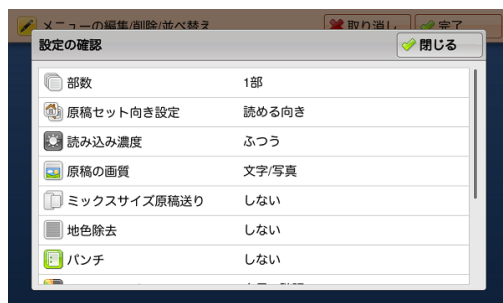
- 3 設定を確認するワンタッチアプリを選択します。



4 「設定の確認」を選択します。



5 各項目を確認し、「閉じる」を押します。



6 「完了」を押します。

メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの削除

「カスタムメニュー」画面に表示されている機能ボタンを、削除できます。



補足

- ・管理者の設定によっては、一般ユーザーは機能ボタンを削除できません。管理者の設定については、「管理者設定」(P.38)を参照してください。

操作手順

1 「カスタムメニュー」画面で (設定メニュー) ボタンを押します。



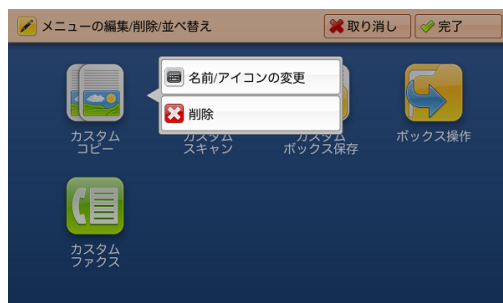
2 「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え」を選択します。



3 削除する機能ボタンを選択します。



4 「削除」を選択します。



5 確認画面が表示された場合は、内容を確認して「削除する」を押します。

6 「完了」を押します。

機能 / アプリの追加

選択した機能のボタンだけを、「カスタムメニュー」画面に表示させることができます。



補足

- ・「カスタムメニュー」画面に表示できる機能ボタンは、32 個までです。すでに 32 個の機能ボタンが表示されている場合は、「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの削除」(P.31) を参照し、不要な機能ボタンを削除してから追加してください。
- ・管理者の設定によっては、一般ユーザーは機能ボタンを追加できません。管理者の設定については、「管理者設定」(P.38) を参照してください。

表示できるボタンは、次のとおりです。

機能ボタンの種類	機能ボタン名
「カスタム UI パッケージ」の機能ボタン  補足 ・お使いの機種で対応していない機能のボタンが表示されることがありますが、機能は利用できません。	・カスタムコピー ・カスタムボックス保存 ・カスタムスキャン ・カスタムファクス ・プライベートプリント（一括出力） ・プライベートプリント（かんたん確認）

機能ボタンの種類	機能ボタン名
既存の機能ボタン  補足 お使いの機種で対応していない機能のボタンは表示されません。	- コピー - ファクス / インターネットファクス - スキャナー（メール送信） - スキャナー（ボックス保存） - スキャナー（PC 保存） - スキャナー（USB メモリ保存） - ボックス操作 - ジョブフロー（ApeosPort シリーズのみ） - ジョブメモリー - 外部アクセス（ApeosPort シリーズのみ） - BMLinkS - スキャナー（URL 送信） - らくらくコピー - らくらくファクス - スキャナー（WSD）  補足 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。 - 文書プリント - デジカメプリント - 認証プリント  補足 - この機能は、認証機能を設定していない場合は利用できません。 - セキュリティープリント - サンプルプリント - 時刻指定プリント - プライベートプリント  補足 - この機能は、認証機能を設定していない場合は利用できません。 - 親展ボックス（内線） - 外部アクセスサーバー _hdt1 - カスタムサービス  補足 - お使いの複合機にカスタムサービスをインストールしている場合に設定できます。カスタムサービスについて詳しくは、弊社営業担当までお尋ねください。 - 仕様設定 / 登録 - ファクス受信モード - 通信管理レポート - 登録 / 変更 - 言語切り替え

機能ボタンを追加する手順は、次のとおりです。

操作手順

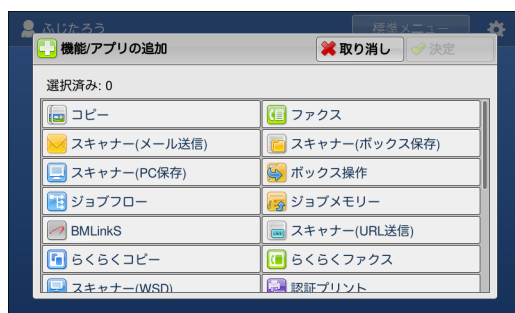
- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



- 2 「機能 / アプリの追加」を選択します。



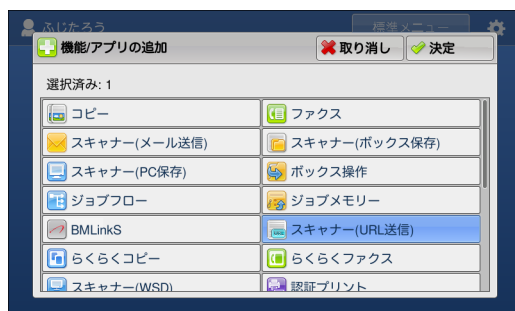
- 3 「カスタムメニュー」画面にボタンを追加したい機能を選択します。



補足

- ・複数の機能ボタンを一度に選択できます。
- ・すでに「カスタムメニュー」画面に機能ボタンが配置されている機能を選択すると、同じ機能ボタンが重複して表示されます。
- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

- 4 「決定」を押します。



補足

- ・追加した機能ボタンは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

その他の設定 - 背景色の変更

「カスタムメニュー」画面の背景色を変更できます。



補足

・管理者の設定によっては、一般ユーザーは背景色を変更できません。管理者の設定については、「管理者設定」(P.38)を参照してください。

操作手順

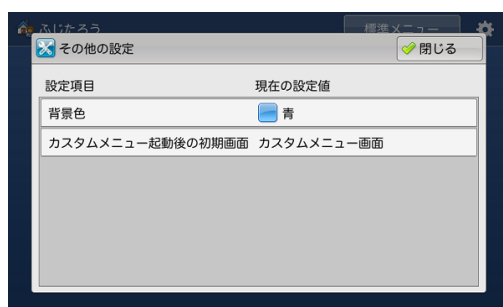
- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



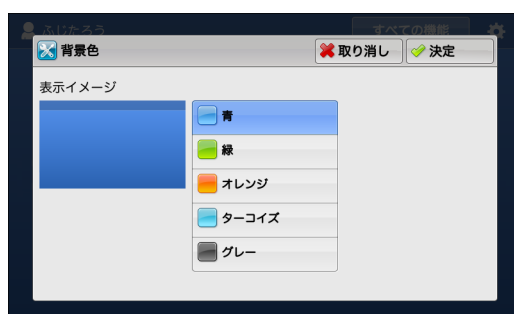
- 2 「その他の設定」を選択します。



- 3 「背景色」を選択します。



- 4 背景色を選択し、「決定」を押します。



- 5 「閉じる」を押します。

その他の設定 - 初期画面

プライベートプリントを利用している場合、初期画面を既存のプライベートプリントの画面、または「プライベートプリント（かんたん確認）」の画面に変更できます。



補足

- ・管理者の設定によっては、一般ユーザーは初期画面を変更できません。管理者の設定については、「管理者設定」(P.38)を参照してください。
- ・認証機能を利用していない場合、およびプライベートプリントを利用していない場合は、この項目は設定できません。
- ・プライベートプリントのジョブが無い場合は、この設定に関係なく「カスタムメニュー」画面が表示されます。

操作手順

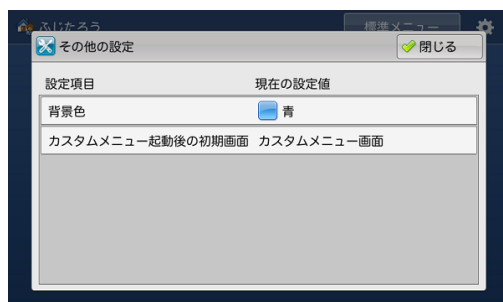
- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



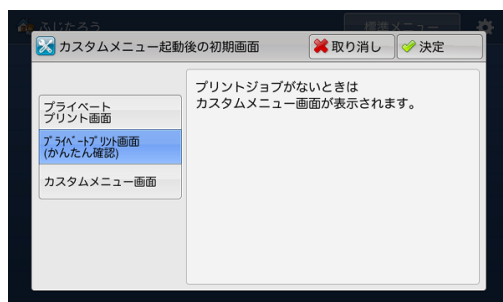
- 2 「その他の設定」を選択します。



- 3 「カスタムメニュー起動後の初期画面」を選択します。



4 初期画面として表示させる項目を選択し、[決定] を押します。



● プライベートプリント画面

複合機に、プライベートプリントのジョブがある場合は、既存のプライベートプリントの画面を表示します。



補足

- ・「カスタムメニュー」画面に、既存のプライベートプリントの機能ボタンが配置されていない場合、この項目を選択すると、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に、機能ボタンが追加されます。
32 個の機能ボタンがすべて配置されている場合は、最後尾にある機能ボタンを削除し、既存のプライベートプリントの機能ボタンに置き換えることを確認する画面が表示されます。
既存のプライベートプリントの機能ボタンを削除した場合は、初期画面が自動的に「カスタムメニュー画面」に変更されます。

● プライベートプリント画面（かんたん確認）

複合機に、プライベートプリントのジョブがある場合は、「プライベートプリント（かんたん確認）」の画面を表示します。



補足

- ・「カスタムメニュー」画面に、「プライベートプリント（かんたん確認）」の機能ボタンが配置されていない場合、この項目を選択すると、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に、機能ボタンが追加されます。
32 個の機能ボタンがすべて配置されている場合は、最後尾にある機能ボタンを削除し、「プライベートプリント（かんたん確認）」の機能ボタンに置き換えることを確認する画面が表示されます。
「プライベートプリント（かんたん確認）」の機能ボタンを削除した場合は、初期画面が自動的に「カスタムメニュー画面」に変更されます。

● カスタムメニュー画面

ジョブの有無に関わらず「カスタムメニュー」画面を表示します。

5 [閉じる] を押します。

言語切り替え /Language

「カスタムメニュー」画面の表示言語を切り替えます。

認証機能を利用している場合、言語の設定はユーザーごとに保存されます。

操作手順

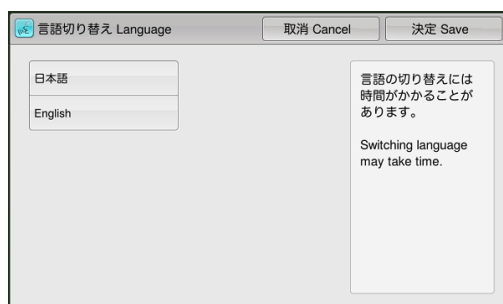
- 1 「カスタムメニュー」画面で  (設定メニュー) ボタンを押します。



- 2 「言語切り替え Language」を選択します。



- 3 変更する言語を選択し、[決定 Save] を押します。
選択できる言語は、機種や地域によって異なります。



管理者設定

機械管理者は、「カスタムメニュー」画面に「標準メニュー」ボタンを表示させるかどうかを設定できます。

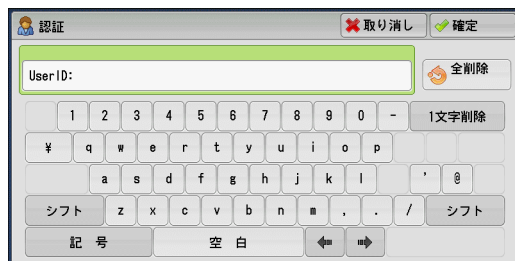
また、一般ユーザーの「カスタムメニュー」画面の編集を許可するかどうかや、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押したときの動作も設定できます。



- ・機械管理者としてログインした場合は、ここでの設定に関係なく「標準メニュー」ボタンが表示されます。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



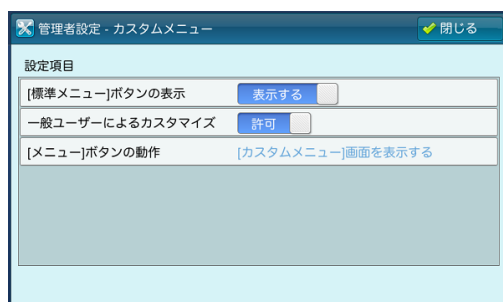
補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

- 3 「カスタムメニュー」画面で  (管理者設定) ボタンを押します。



- 4 任意の項目を設定します。



- [標準メニュー] ボタンの表示
[標準メニュー] ボタンを「カスタムメニュー」画面に表示させるかどうかを設定します。
- 一般ユーザーによるカスタマイズ
一般ユーザーによる、「カスタムメニュー」画面の編集を許可するかどうかを設定します。
認証機能を利用している場合は、[許可] にすると認証ユーザーが個々に自分だけの「カスタムメニュー」画面を作成できます。



補足

- ・ [許可] から [禁止] に変更した場合、認証ユーザーの「カスタムメニュー」画面には、機械管理者の「カスタムメニュー」画面の設定が適用されます。再び [許可] に設定すると、認証ユーザーが設定した「カスタムメニュー」画面に戻ります。
- [メニュー] ボタンの動作
操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押したときに表示される画面を設定します。
[[カスタムメニュー] 画面を表示する]、[[標準メニュー] 画面を表示する] から選択します。

**注記**

- ・[[標準メニュー] ボタンの表示] で [表示しない] を設定している場合は、[[メニュー] ボタンの動作] では [[標準メニュー] 画面を表示する] を設定することをお勧めします。
[[カスタムメニュー] 画面を表示する] を選択した場合、一般ユーザーが標準メニュー画面を表示できなくなります。

5 「閉じる」を押します。**トラブル対処**

「カスタムメニュー」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
準備中または選択された機能は使用できません。	「カスタムメニュー」画面の機能が何らかの原因で使用できない場合に表示されます。 [閉じる]を押したあと、複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部で異常が発生しました。 再びこの画面が表示された場合は、電源を切り、画面の表示が消えるのを確認してから電源を入れてください。 なおらないときは、機械管理者に連絡してください。	お使いの複合機が異常を検知した場合に表示されます。 画面の指示に従って、複合機を再起動してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

コンテンツ情報の確認

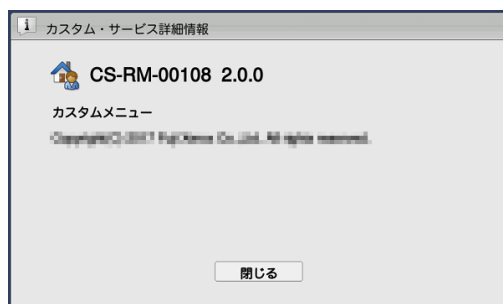
お問い合わせ時に、「カスタムメニュー」のコンテンツ情報が必要な場合があります。以下の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

**補足**

- ・「カスタムコピー」など、各機能のコンテンツ情報を確認する方法は、各機能の「コンテンツ情報」を参照してください。

操作手順

- 1 「カスタムメニュー」画面の表示中に、操作パネルの〈ポーズ (-)〉ボタンを 5 秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 「閉じる」を押します。

注意 / 制限事項

「カスタムメニュー」を使用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 利用できない機能や利用が制限されている機能は、「カスタムメニュー」画面上では制限されていることを示すアイコン等は表示されません。
- 追加型アプリケーションである「カスタムメニュー」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。

認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [集計管理機能の運用] で、[ネット集計管理] に設定している場合は、「カスタムメニュー」は利用できません。
- 「カスタムメニュー」は最大 300 ユーザーの設定を保持します。
設定ユーザー数が 300 を超えた場合は、最終利用日の最も古いユーザーの情報が削除されます。
- 「カスタムメニュー」画面を初期画面とする場合は、お使いの複合機の [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [初期表示画面] を [メニュー] に設定している必要があります。
- 「カスタムメニュー」で [カスタムメニュー起動後の初期画面] を [プライベートプリント画面]、または [プライベートプリント画面 (かんたん確認)] に設定した場合でも、同一ユーザーが連続して認証した場合には、プライベートプリント画面ではなく、「カスタムメニュー」画面が表示されることがあります。この場合には、「カスタムメニュー」画面上のプライベートプリントの機能ボタンを押して、プライベートプリント画面を表示させてください。
- IC カード認証とキーボード入力での認証を併用している場合には、同一ユーザーであっても IC カードで認証した場合と、キーボードで認証した場合で表示される「カスタムメニュー」が異なることがあります。ただし、プライベートプリント文書に関しては、同一ユーザーのものとして扱われます。
- 本機能は、[認証方式の設定] を [本体認証]、または [外部認証] に設定している場合に利用できます。[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate (関連商品)、または IC カードリーダー (オプション) を接続している場合は利用できません。
- 各ユーザーが「カスタムメニュー」の設定を一度変更すると、その後、機械管理者が設定を変更しても、そのユーザーの「カスタムメニュー」には反映されません。
- 認証機能の設定を [認証しない] に変更した場合、各ユーザーの「カスタムメニュー」画面は表示できなくなります。本体認証、または外部認証を設定すると、再び利用できるようになります。
- お使いの複合機で認証ユーザーの設定を削除しても、そのユーザーの「カスタムメニュー」のデータは削除されません。削除したユーザーと同じ User ID を持つユーザーを登録し直すと、削除したユーザーの「カスタムメニュー」が適用されます。本パッケージをアンインストールすると、すべてのユーザーの「カスタムメニュー」のデータを削除できます。
- 認証ユーザーのユーザー名に、「¥」(半角)、「-」(全角)、および「~」(全角) が含まれている場合、正しく表示されません。
- 認証しないモードでカスタムメニューを表示しているときに、機械管理者でログインした場合は、メニューが更新されません。更新する場合には、リセットボタンを押してください。

5 カスタムコピー

「カスタムコピー」とは、簡単な手順で操作、設定ができるコピー機能です。

最初の画面だけで主要な設定ができ、設定した内容はイラストで表示されるので、仕上がりがひと目でわかります。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「カスタムコピー」とは別の機能ボタンを作成したりできます。

コピーする

「カスタムコピー」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

1 原稿送り装置、または原稿ガラスに原稿をセットします。



参照

・原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。



補足

・本機能では、定形サイズの前稿のみコピーできます。

2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

(1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

(2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

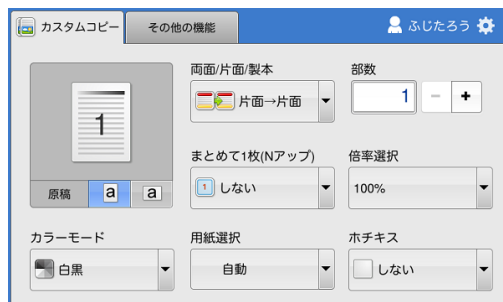
・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 メニュー画面で、[カスタムコピー] を押します。



4 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

- ・各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.44) を参照してください。

5 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

注記

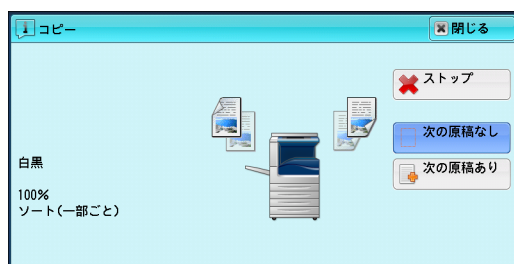
- ・通常のメニュー画面から本機能を起動した場合、本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

コピーを中止する

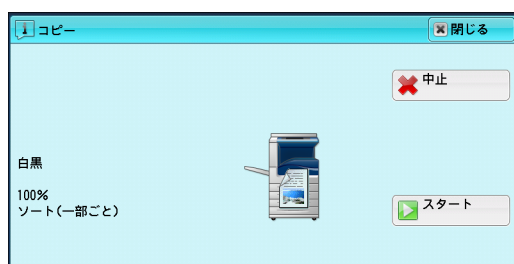
コピーを中止する手順について説明します。

操作手順

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの[ストップ]を押します。



2 [中止] を押します。



各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

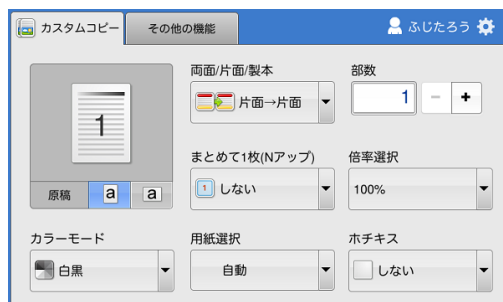
〔カスタムコピー〕画面

〔カスタムコピー〕画面で設定できる項目について説明します。



補足

・設定した内容は、イラストで確認できます。



設定ボタン

設定メニューボタン（）を押すと、〔ワンタッチアプリの作成〕、〔アプリの複製〕、または〔初期値保存〕を選択できます。

● ワンタッチアプリの作成

現在、〔カスタムコピー〕画面、および〔その他の機能〕画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、〔ワンタッチアプリの作成〕画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.50) を参照してください。

● アプリの複製

現在、〔カスタムコピー〕画面、および〔その他の機能〕画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムコピー」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、〔アプリの複製〕画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「アプリを複製する」(P.52) を参照してください。

● 初期値保存

現在、〔カスタムコピー〕画面、および〔その他の機能〕画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、〔はい（保存する）〕を押します。

原稿

たて原稿、よこ原稿のいずれかを選択します。

カラーモード

〔自動〕、〔フルカラー〕、〔白黒〕、〔2色（赤／黒）〕、〔その他の設定〕から選択します。〔その他の設定〕を選択すると、〔カラーモード〕画面が表示されます。



参照

・〔カラーモード〕画面について、詳しくは「〔カラーモード〕画面」(P.48) を参照してください。



補足

・この項目は、カラー機でのみ表示されます。

- ・カラーコピーが禁止されたユーザーの場合は、[白黒] に固定されます。
- ・白黒コピーが禁止されたユーザーの場合は、[自動]、および [白黒] は設定できません。

両面 / 片面 / 製本

[片面→片面]、[片面→両面 (左右開き)]、[片面→両面 (上下開き)]、[両面→両面 (左右開き)]、[片面→製本]、[その他の設定] から選択します。[その他の設定] を選択すると、[両面 / 片面 / 製本] 画面が表示されます。



参照

- ・[両面 / 片面 / 製本] 画面について、詳しくは「[両面 / 片面 / 製本] 画面」(P.48) を参照してください。



補足

- ・製本は、左とじ、または上とじとなります。
- ・製本を設定すると、お使いの機種で中とじ機能が利用できる場合は、用紙を二つ折りにしたものにホチキスを留めてコピーします。中とじ機能が利用できない場合は、用紙にページを割り付けてコピーします。
- ・製本は、[その他の機能] 画面の [ミックスサイズ原稿送り] と同時に設定できません。

まとめて1枚 (Nアップ)

[しない]、[2 アップ (左→右)]、[2 アップ (右→左)]、[4 アップ (左上→右)]、[4 アップ (左上→下)] から選択します。

用紙選択

使用する用紙が入っているトレイを選択します。

トレイ 1～4、および [手差し (サイズ自動検知)] のうち、お使いの機器に装着されている用紙トレイと、[自動] が表示されます。



補足

- ・用紙トレイにセットできる用紙サイズは、A5、A4、A3、B5、B4、8.5×11" (Letter)、8.5×13"、8.5×14" (Legal)、11×17" (Ledger) です。それ以外のサイズの用紙は認識されません。
- ・選択している用紙トレイが何らかの理由で使用できない場合、自動的に別の用紙トレイに切り替わることがあります。

部数

コピー部数を入力します。コピー部数は、999 部まで入力できます。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを押すと表示される、数字ボタンを使って入力する



補足

- ・入力を間違えた場合は、[C] を押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。
- [+]、[-] を押して入力する
- 操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する



補足

- ・入力を間違えた場合は、操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。

倍率選択

[100%]、[自動 %]、定形変倍の項目、[その他の設定] から選択します。[その他の設定] を選択すると、[倍率選択] 画面が表示されます。



参照

- ・[倍率選択] 画面について、詳しくは「[倍率選択] 画面」(P.49) を参照してください。



補足

- ・[自動 %] を選択した場合は、[用紙選択] で [自動] 以外が指定されます。
- ・[100%]、および [自動 %] は、[倍率選択] 画面の [ちょっと小さめ] と同時に設定できません。
- ・[まとめて1枚 (N アップ)]、および [製本] を設定している場合は、[自動 %] が指定されます。

ホチキス

[しない]、[左上1カ所]、[右上1カ所]、[左2カ所]、[上2カ所]、[右2カ所] から選択します。

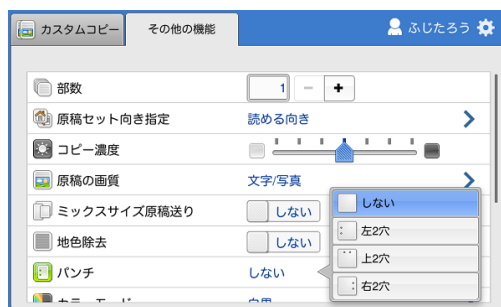


補足

- ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- ・お使いの機種で利用できる機能によって、表示される項目が異なります。

[その他の機能] 画面

[その他の機能] 画面で設定できる項目について説明します。



設定ボタン

設定メニューボタン (⚙️) を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、[初期値保存]、または [リストの編集] を選択できます。

● ワンタッチアプリの作成

現在、[カスタムコピー] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。



参照

- ・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.50) を参照してください。

● アプリの複製

現在、[カスタムコピー] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムコピー」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。



参照

- ・詳しくは、「アプリを複製する」(P.52) を参照してください。

● 初期値保存

現在、[カスタムコピー] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

● リストの編集

〔その他の機能〕画面の項目の表示順を変更できます。よく設定する項目を、上に配置しておく
と便利です。

選択すると、〔リストの編集〕画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「〔リストの編集〕画面」(P.49)を参照してください。

部数

コピー部数を入力します。コピー部数は、999部まで入力できます。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを選択したあと、表示された数字ボタン、または操作パネルの〈数字〉ボ
タンを使って入力する



補足

・入力を間違えた場合は〔C〕、または操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直し
ます。入力後〔OK〕を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- 〔+〕、〔-〕を押して入力する

原稿セット向き指定

原稿をセットする向きを、〔読める向き〕、〔左向き〕から選択します。

コピー濃度

〔こく (+3)〕、〔こく (+2)〕、〔こく (+1)〕、〔ふつう〕、〔うすく (+1)〕、〔うすく (+2)〕、〔うすく
(+3)〕から、コピー濃度を7段階で調節できます。

原稿の画質

〔文字 / 写真〕、〔文字〕、〔写真〕から選択します。

ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの前稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにコピーしたり、1つのサイズ
にそろえてコピーしたりできます。この機能を使う場合は、原稿送り装置に原稿をセットします。

〔する〕、〔しない〕から選択してください。



補足

- ・この機能を設定するには、お使いの機種によってはオプションが必要です。詳しくは、弊社の営業担
当者にお尋ねください。
- ・製本と同時に設定できません。

地色除去

新聞や、下地 (背景) に色が付いている原稿の、下地の色を除いてコピーできます。〔する〕、〔し
ない〕から選択してください。

パンチ

〔しない〕、〔左2穴〕、〔上2穴〕、〔右2穴〕から選択します。



補足

- ・この機能は、お使いの機種によっては表示されません。利用するにはオプションが必要になります。
詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- ・お使いの機種で使用できる機能によって、表示される項目が異なります。

カラーモード



参照

・〔カラーモード〕については、「カラーモード」(P.44)を参照してください。

倍率選択



参照

- ・[倍率選択] については、「倍率選択」(P.46) を参照してください。

用紙選択



参照

- ・[用紙選択] については、「用紙選択」(P.45) を参照してください。

両面 / 片面 / 製本



参照

- ・[両面 / 片面 / 製本] については、「両面 / 片面 / 製本」(P.45) を参照してください。

まとめて1枚 (N アップ)



参照

- ・[まとめて1枚 (N アップ)] については、「まとめて1枚 (N アップ)」(P.45) を参照してください。

ホチキス



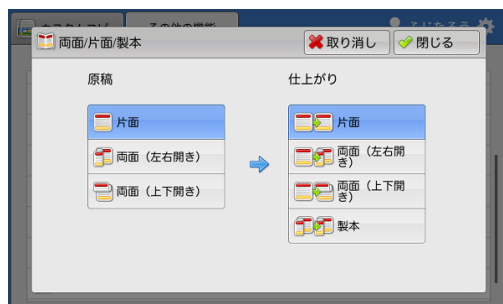
参照

- ・[ホチキス] については、「ホチキス」(P.46) を参照してください。

[両面 / 片面 / 製本] 画面

[両面 / 片面 / 製本] 画面では両面、片面や製本の設定ができます。

[原稿] を、[片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)] から、[仕上がり] を [片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)]、[製本] から選択できます。



補足

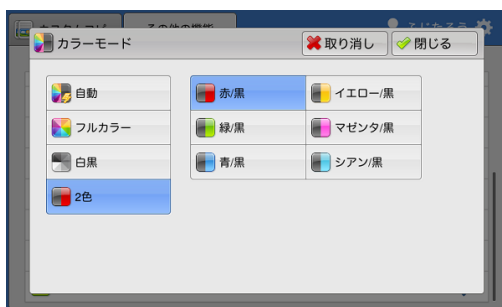
- ・製本は、左とじ、または上とじとなります。
- ・製本は、[その他の機能] 画面の [ミックスサイズ原稿送り] と同時に設定できません。

[カラーモード] 画面

[カラーモード] 画面では、カラーモードの設定ができます。また、2 色カラーの色の組み合わせを選択できます。

カラーモードは、[自動]、[フルカラー]、[白黒]、[2 色] から選択します。

[2 色] を選択した場合は、色の組み合わせを [赤 / 黒]、[緑 / 黒]、[青 / 黒]、[イエロー / 黒]、[マゼンタ / 黒]、および [シアン / 黒] から選択できます。

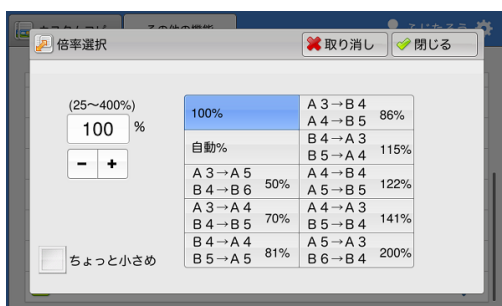


〔倍率選択〕画面

〔倍率選択〕画面では、倍率をボタンから選択、または直接入力できます。

ボタンから選択する場合は、〔100%〕、〔自動 %〕、または定形変倍のボタンから選択します。

直接入力する場合は、操作パネルの〈数字〉ボタンで数値を入力するか、〔+〕、〔-〕を押して、25 ~ 400 % の範囲で指定します。



参照

- ・定形サイズ原稿から定形サイズ用紙に拡大 / 縮小コピーをするときのコピー倍率について、詳しくは『ユーザーズガイド』を参照してください。

ちょっと小さめ

倍率を、定形変倍ボタンから選択した場合、画像が欠けないように、選択した倍率よりも少しだけ縮小してコピーします。設定する場合はチェックしてください。



補足

- ・〔100%〕、または〔自動 %〕を選択した場合は設定できません。

〔リストの編集〕画面

〔リストの編集〕画面では、〔その他の機能〕画面の項目の表示順を変更できます。

表示順を変更したい項目をロングタップし、そのまま移動したい位置にドラッグ & ドロップすると、順番を入れ替えることができます。



ワンタッチアプリを作成する

「カスタムコピー」の、機能の設定値を変更し、ワンタッチアプリを作成できます。

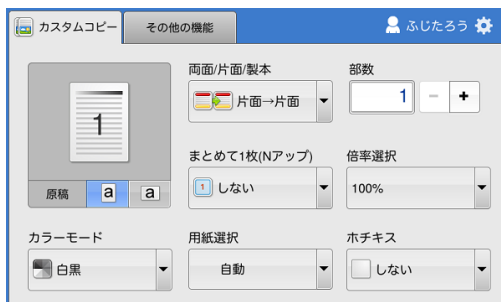


補足

- ・ワンタッチアプリは、通常のメニュー画面上でも作成できますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

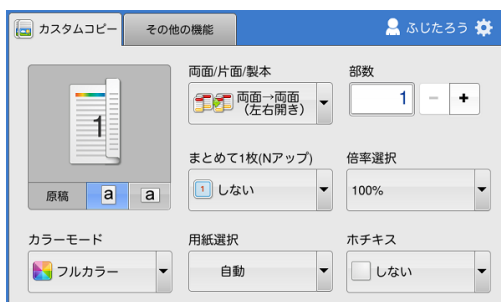
- 1 「カスタムコピー」画面、または「その他の機能」画面で、作成したいワンタッチアプリの機能を設定します。



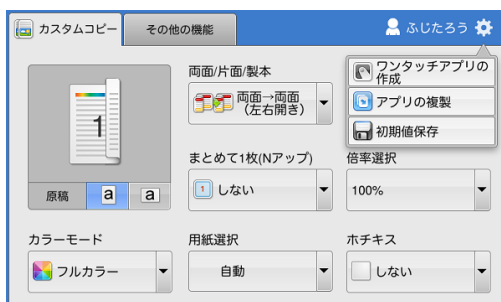
補足

- ・ここでは、「両面 / 片面 / 製本」を「両面→両面（左右開き）」に、「カラーモード」を「フルカラー」に設定した場合を例に説明します。

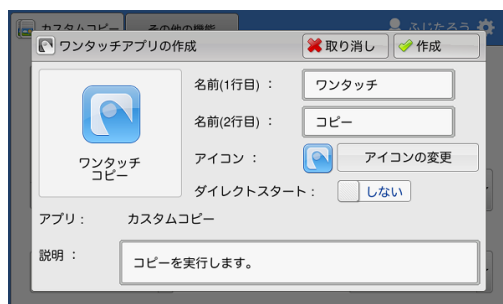
- 2  を押します。



- 3 「ワンタッチアプリの作成」を選択します。



4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- ・最長2行（1行あたり全角で8文字（半角で16文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1行目）]、[名前（2行目）]、および[説明]で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・作成したワンタッチアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したワンタッチアプリの、表示名、アイコン、機能の説明、およびジョブを実行するときの動作は変更できます。詳しくは、「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの編集」(P.28)を参照してください。

[ワンタッチアプリの作成] 画面

名前（1行目）

表示されるキーボードで、1行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2行目）

表示されるキーボードで、2行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更]を押すと、[アイコンの変更]画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定]を押してください。

ダイレクトスタート

ワンタッチアプリの動作について設定できます。

[する]に設定した場合は、機能ボタンを押すだけで、ジョブが開始されます。また、アイコンにが表示されます。

[しない]に設定した場合は、機能ボタンを押すと、機能の概要を説明する画面が表示されるので、〈スタート〉ボタンを押してジョブを開始します。

アプリ

ワンタッチアプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

アプリを複製する

「カスタムコピー」の、機能の初期値や並び順を変更したものを複製し、「カスタムコピー」とは別の機能ボタンを作成できます。

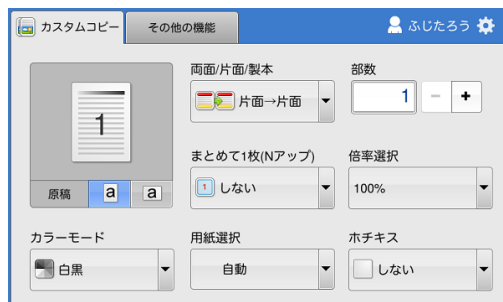


補足

- ・アプリの複製は、通常のメニュー画面上でもできますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

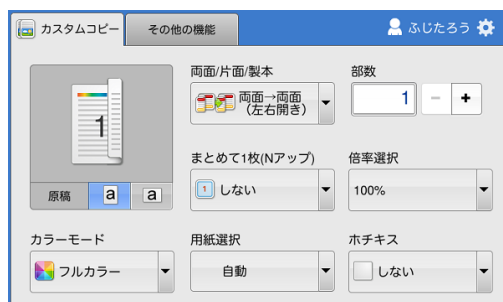
- 1 「カスタムコピー」画面、または「その他の機能」画面で、作成したいアプリの機能を設定します。



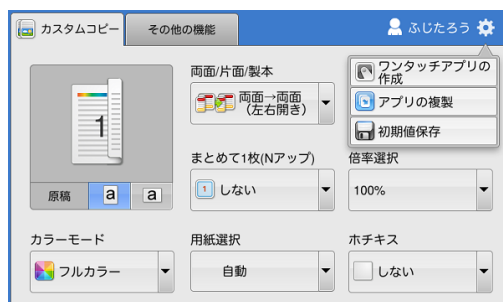
補足

- ・ここでは、「両面 / 片面 / 製本」を「両面→両面（左右開き）」に、「カラーモード」を「フルカラー」に設定した場合を例に説明します。

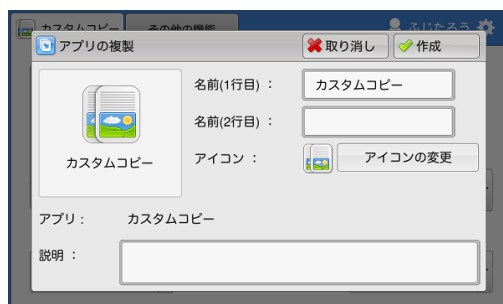
- 2  を押します。



- 3 「アプリの複製」を選択します。



4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- ・最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および[説明]で、「¥」（半角）、「-」（全角）、および「~」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・作成したアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したアプリの表示名、アイコン、および機能の説明は変更できます。詳しくは、「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの編集」（P.28）を参照してください。

[アプリの複製] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

アプリ

アプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

トラブル対処

「カスタムコピー」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
よこ置きの用紙がありません。 〔製本〕を使用するときは、よこ置きの用紙をセットして〔用紙情報の更新〕を押してください。	このメッセージは、製本を指定し、かつ用紙がよこ置きにセットされたトレイがない場合に表示されます。 製本は、用紙をよこ置きにセットしている場合のみ指定できます。用紙をよこ置きにセットし直し、〔用紙情報の更新〕を押してください。 製本の設定を解除する場合は、〔取り消し〕を押して設定し直してください。  注記 ・トレイのセット後、すぐに〔用紙情報の更新〕を押すと、用紙サイズ、および用紙残量を正しく検知できないことがあります。しばらくしてから〔用紙情報の更新〕を押してください。
スタートできません。 〔製本〕を使用する時は、よこ置きの用紙を選択してください。	このメッセージは、製本を指定し、用紙がたて置きにセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 製本は、用紙をよこ置きにセットしている場合のみ指定できます。〔閉じる〕を押してメッセージ画面を閉じ、よこ置きに用紙がセットされたトレイを指定してください。
スタートできません。 〔製本〕を使用するときは、よこ置きの用紙をセットして〔用紙情報の更新〕を押してください。	このメッセージは、製本を指定し、用紙がたて置きにセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 製本は、用紙をよこ置きにセットしている場合のみ指定できます。指定しているトレイの用紙を、よこ置きにセットし直し、〔用紙情報の更新〕を押してください。 製本の設定を解除する場合は、〔取り消し〕を押して設定し直してください。  注記 ・トレイのセット後、すぐに〔用紙情報の更新〕を押すと、用紙サイズ、および用紙残量を正しく検知できないことがあります。しばらくしてから〔用紙情報の更新〕を押してください。
スタートできません。 選択された用紙には折り / ホチキス ができません。 折り / ホチキスを解除してコピー しますか？	このメッセージは、製本を指定し、かつ A5 の用紙がよこ置きでセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 A5 の用紙で製本をすると、折り、およびホチキスができません。そのままジョブを続ける場合は、〔はい（解除してコピー）〕を押してください。 トレイを指定し直す場合は、〔いいえ（元に戻る）〕を押してメッセージ画面を閉じ、設定し直してください。
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由でコピーが使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
使用できる用紙トレイがありません。 使用できる用紙をトレイにセット して〔用紙情報の更新〕を押してく ださい。	このメッセージは、使用できるサイズ of 用紙が入っているトレイが存在しないなど、使用可能な用紙トレイがない場合に表示されます。 トレイに、使用可能なサイズの用紙をセットし直し、〔用紙情報の更新〕を押してください。

メッセージ	原因 / 対処
用紙がセットされているトレイがありません。 用紙をトレイにセットして[用紙情報の更新]を押してください。	このメッセージは、トレイで[自動]を指定し、かつ用紙が入っているトレイが存在しない場合に表示されます。 トレイに用紙をセットし、[用紙情報の更新]を押してください。
スタートできません。 この機械のコピーの累積ページ数が上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、複合機のコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [機械管理者のコピー集計確認] で、コピーの累積ページ数をリセットしてください。
スタートできません。 ジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。	このメッセージは、ジョブの実行中に操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 [閉じる]を押してメッセージ画面を閉じ、しばらくしてからやり直してください。
スタートできません。 [仕上がり]の[両面]/[製本]の設定を解除するか、ほかの用紙を選択してください。	このメッセージは、両面または製本を指定し、かつ両面または製本ができない種類の用紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる]を押してメッセージ画面を閉じ、両面または製本を解除するか、または他の用紙トレイを指定してください。
スタートできません。 [製本]の設定を解除するか、ほかの用紙を選択してください。	このメッセージは、製本を指定し、かつ製本ができない種類の用紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる]を押してメッセージ画面を閉じ、製本を解除するか、または他の用紙トレイを指定してください。
スタートできません。 [パンチ]の設定を解除するか、ほかの用紙を選択してください。	このメッセージは、パンチを指定し、かつパンチができない種類、またはサイズの用紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる]を押してメッセージ画面を閉じ、パンチを解除するか、または他の用紙トレイを指定してください。
スタートできません。 [ホチキス]の設定を解除するか、ほかの用紙を選択してください。	このメッセージは、ホチキスを指定し、かつホチキスができないサイズの用紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる]を押してメッセージ画面を閉じ、ホチキスを解除するか、または他の用紙トレイを指定してください。
スタートできません。 選択されている用紙は使用できません。 ほかの用紙を選択してください。	このメッセージは、使用できないサイズの用紙がセットされたトレイを指定している場合に表示されます。 [閉じる]を押してメッセージ画面を閉じ、他の用紙トレイを指定してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、コピーの使用を禁止されたユーザーが、本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの[サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。

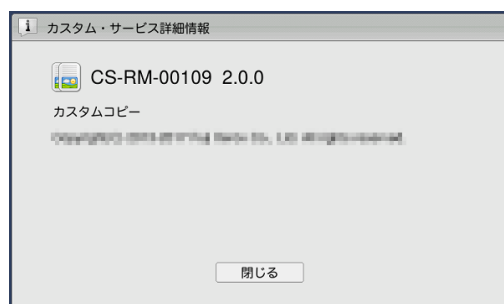
メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたが使用したコピーの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 1. [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする 2. [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、コピーの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 1. コピーの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 「カスタムコピー」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ (-)〉ボタンを 5 秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「カスタムコピー」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 本機能では、定形サイズの原稿のみコピーできます。
- フィニッシャーが何らかの理由で使用できない場合、本機能でフィニッシャーが必要な機能を指定すると、自動的にそれらの指定が解除され、コピーされます。
たとえば、ホチキスカートリッジが交換時期である場合、ホチキスを指定すると、自動的にホチキスの指定は解除され、コピーされます。
- 本機能は、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- お使いの複合機での排出先の設定によっては、エラーが起こり、出力できないことがあります。その場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [コピー設定] > [コピー機能設定初期値] > [排出先] で、適切な排出先を初期値に設定してください。
- 追加型アプリケーションである「カスタムコピー」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- 次の機種で「カスタムコピー」を利用する場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用できません。
 - Color C60/C70
 - Versant 80 Press
 - Versant 180 Press
 - DocuCentre-V C2263
 - DocuCentre-V 3060/2060

認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーの利用を制限していても、「カスタムコピー」が利用可能な状態となります。
- 認証ユーザーのユーザー名に、半角の「#」、「\$」、「%」、「^」、「&」、「=」、「\」、「@」、「,」、「/」、および「:」が含まれている場合、「カスタムメニュー」画面から本機能を起動すると、エラーが発生して利用できません。
- 認証しないモードでカスタムメニューを表示しているときに、機械管理者でログインした場合は、メニューが更新されません。更新する場合には、リセットボタンを押してください。

6 カスタムボックス保存

「カスタムボックス保存」とは、簡単な手順で、スキャンしたデータを親展ボックスに保存できる機能です。

文書を保存できる親展ボックスだけが表示されるので、保存先が簡単に選択できます。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「カスタムボックス保存」とは別の機能ボタンを作成したりできます。

スキャンする

「カスタムボックス保存」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

1 原稿をセットします。



参照

・原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

(1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

(2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

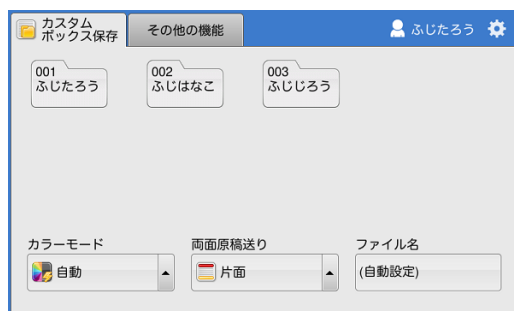
・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

・ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 メニュー画面で、[カスタムボックス保存] を押します。



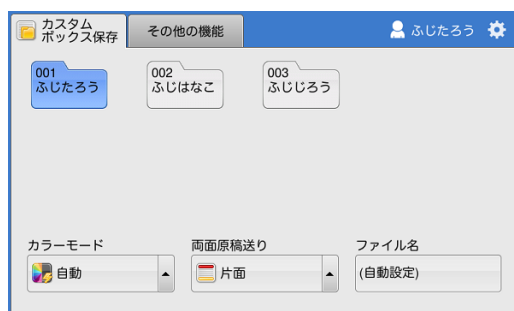
4 スキャンしたデータを保存する親展ボックスを選択します。



補足

・親展ボックスが1つしか表示されていない場合は、すでに選択された状態となります。

5 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

・各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.60)を参照してください。

6 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



注記

・通常のメニュー画面から本機能を起動した場合、本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

7 親展ボックスに文書が格納されていることを確認します。



参照

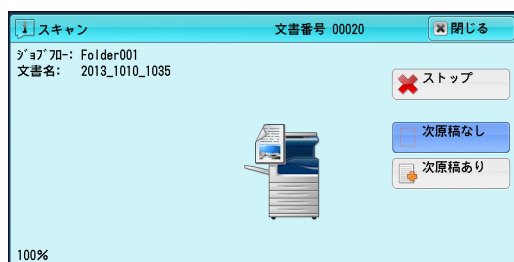
・親展ボックスに格納された文書を確認する方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

スキャンを中止する

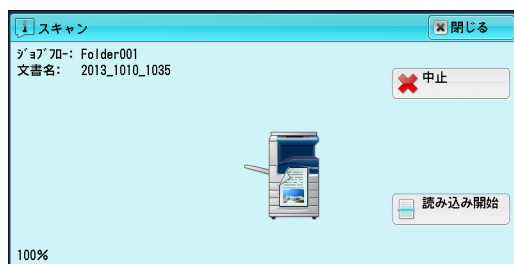
スキャンを中止する手順について説明します。

操作手順

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの[ストップ]を押します。



2 [中止] を押します。

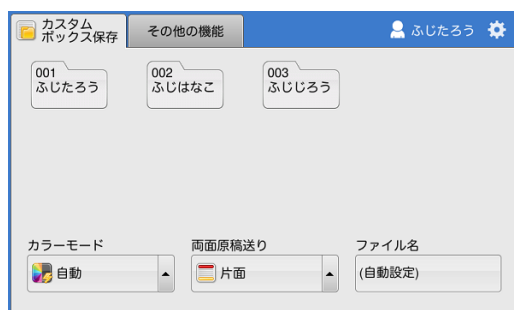


各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

[カスタムボックス保存] 画面

[カスタムボックス保存] 画面で設定できる項目について説明します。



スパナボタン

スパナボタン () を押すと、管理者設定画面が表示されます。



・管理者設定画面については、「管理者設定」(P.71) を参照してください。



・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

設定メニューボタン

設定メニューボタン () を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、または[初期値保存]を選択できます。

● ワンタッチアプリの作成

現在、[カスタムボックス保存] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。



・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.68) を参照してください。

● アプリの複製

現在、[カスタムボックス保存] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムボックス保存」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。



・詳しくは、「アプリを複製する」(P.70) を参照してください。

- 初期値保存

現在、[カスタムボックス保存] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

カラーモード

[自動]、[フルカラー]、[グレースケール (256 階調)]、[白黒 (2 階調)] から選択します。



補足

- ・カラーキャンを禁止されたユーザーが [自動]、[フルカラー] を選択した場合、および白黒キャンを禁止されたユーザーが [自動]、[グレースケール (256 階調)]、[白黒 (2 階調)] を選択した場合、エラーメッセージが表示され、設定できません。

両面原稿送り

[片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)] から選択します。



補足

- ・[ページ連写] 画面で、ページ連写の設定をしている場合は、[両面 (左右開き)]、および [両面 (上下開き)] は設定できません。

ファイル名

選択すると、[ファイル名] 画面が表示されます。



参照

- ・詳しくは、「[ファイル名] 画面」(P.64) を参照してください。



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合は、[ファイル名] は表示されません。代わりに [読み取り解像度] が表示されます。[読み取り解像度] については、「読み取り解像度」(P.63) を参照してください。

[その他の機能] 画面

[その他の機能] 画面で設定できる項目について説明します。



スパナボタン

スパナボタン (🔧) を押すと、管理者設定画面が表示されます。



参照

- ・管理者設定画面については、「管理者設定」(P.71) を参照してください。



補足

- ・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

設定メニューボタン

設定メニューボタン () を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、[初期値保存]、または[リストの編集]を選択できます。

- ワンタッチアプリの作成

現在、[カスタムボックス保存] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.68) を参照してください。

- アプリの複製

現在、[カスタムボックス保存] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムボックス保存」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「アプリを複製する」(P.70) を参照してください。

- 初期値保存

現在、[カスタムボックス保存] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

- リストの編集

[その他の機能] 画面の項目の表示順を変更できます。よく設定する項目を、上に配置しておくとう便利です。

選択すると、[リストの編集] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[リストの編集] 画面」(P.64) を参照してください。

原稿セット向き指定

選択すると、[原稿セット向き指定] 画面が表示されます。

原稿をセットする向きを、[読める向き]、[左向き] から選択し、[閉じる] を押してください。



補足

・[ページ連写] 画面で [左とじ原稿 (よこ書き)]、[右とじ原稿 (たて書き)]、または [上とじ原稿] を設定している場合、この項目は設定できません。

読み取りサイズ

選択すると、[読み取りサイズ] 画面が表示されます。

原稿のサイズを選択し、[閉じる] を押してください。

原稿の画質

[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

読み込み濃度

[こく (+3)]、[こく (+2)]、[こく (+1)]、[ふつう]、[うすく (+1)]、[うすく (+2)]、[うすく (+3)] から、読み込み濃度を 7 段階で調節できます。

ページ連写

選択すると、[ページ連写] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[ページ連写] 画面」(P.66) を参照してください。

画質 / ファイルサイズ

選択すると、「画質 / ファイルサイズ」画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[画質 / ファイルサイズ] 画面」(P.67) を参照してください。

裏写り防止

薄い紙に両面にプリントしてある原稿などをスキャンする場合、原稿の裏が写らないようにできます。[する]、[しない] から選択します。

白紙除去

原稿に白紙ページがあった場合は、そのページを除いてスキャンできます。[する]、[しない] から選択します。

追加原稿

スキャン開始後の画面の [次原稿あり]、[次原稿なし] の選択状態を設定できます。

[なし] を選択すると、スキャン開始後の画面では [次原稿なし] が選択されている状態になります。次原稿がある場合は [次原稿あり] を押す必要があります。

[あり] を選択すると、スキャン開始後の画面では [次原稿あり] が選択されている状態になります。次原稿がある場合はそのままスキャンし、最終原稿のときだけ [次原稿なし] を押します。

ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの原稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにスキャンしたり、1つのサイズにそろえてスキャンしたりできます。[する]、[しない] から選択します。

地色除去

新聞や、下地（背景）に色が付いている原稿の、下地の色を除いてスキャンできます。[する]、[しない] から選択します。

カラーモード



参照

・[カラーモード] については、「カラーモード」(P.61) を参照してください。

両面原稿送り



参照

・[両面原稿送り] については、「両面原稿送り」(P.61) を参照してください。

読み取り解像度

[200dpi]、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi] から選択します。

ファイル名

選択すると、「ファイル名」画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[ファイル名] 画面」(P.64) を参照してください。



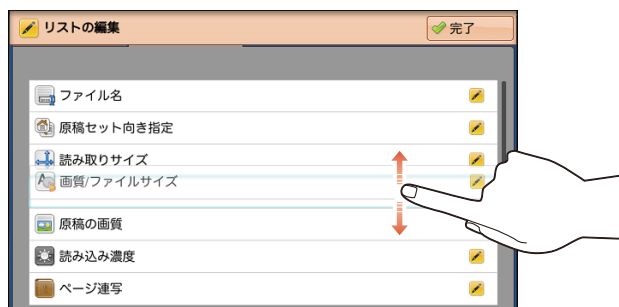
注記

・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。

【リストの編集】画面

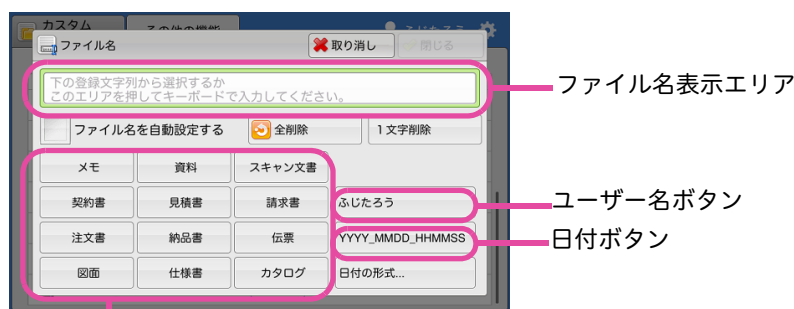
【リストの編集】画面では、【その他の機能】画面の項目の表示順を変更できます。

表示順を変更したい項目をロングタップし、そのまま移動したい位置にドラッグ & ドロップすると、順番を入れ替えることができます。



【ファイル名】画面

【ファイル名】画面では、スキャンデータのファイル名を入力したり、あらかじめ登録されているパターンから選択したりできます。



ファイル名ボタン



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。
- ・メール送信のジョブフローが関連付けられている親展ボックスを利用する場合、ここで設定したファイル名は反映されません。



補足

- ・ファイル名は、全角 32 文字以内、半角 64 文字以内で入力できます。ただし、CentreWare Internet Services を利用してスキャンデータを取り出す場合は、全角 14 文字以内、半角 64 文字以内で入力してください。
- ・ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。その場合、項目と項目の間に自動で「_」が入ります。
- ・「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

ファイル名は、ファイル名表示エリアを押すと表示されるキーボードを使って直接入力する方法と、ファイル名ボタンやユーザー名ボタンを使って入力する方法があります。

ファイル名を自動設定する

チェックすると、自動でファイル名が「YYYY_MMDD_HHMMSS」に設定されます。



補足

- ・「YYYY_MMDD_HHMMSS」は、スキャン開始時の年月日時分秒です。

全削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの、すべての文字を削除します。

1 文字削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの最後の 1 文字を削除します。

ファイル名ボタン

各ボタンを押すと、ボタンの文字列がファイル名として設定されます。

ユーザー名ボタン

認証ユーザーが利用している場合、ユーザー名が表示されます。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。



補足

- ・認証機能を利用していない場合は、表示されません。

日付ボタン

日付が表示されます。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。



補足

- ・日付をファイル名として設定した場合、ファイル名表示エリアで日付部分の「SS」だけを削除できます。たとえば、ファイル名表示エリアに「YYYY_MMDD_HHMMSS」が表示された状態で「SS」を削除すると、ファイル名は「YYYY_MMDD_HHMM」の形式になります。ただし、削除できるのは「SS」だけです。「SS」以外の文字列を削除したり変更したりすると、日付として認識されない場合があります。

日付の形式

選択すると、「[日付の形式]」画面が表示されます。



参照

- ・詳しくは、「[日付の形式] 画面」(P.65) を参照してください。

[日付の形式] 画面

[ファイル名] 画面の、日付ボタンに表示される日付の、形式を設定できます。

日付けの表示形式	
YYYY_MMDD_HHMMSS	MMDD_YYYY
YYYY_MMDD	DDMM_YYYY_HHMMSS
MMDD_HHMMSS	DDMM_YYYY
MMDD_YYYY_HHMMSS	DDMM_HHMMSS

区切り文字

YYYY、MMDD、DDMM、HHMMSS の区切りを [(なし)]、[_]、[-]、[.]、[年月日] から選択します。

日付けの表示形式

日付の表示形式を選択します。

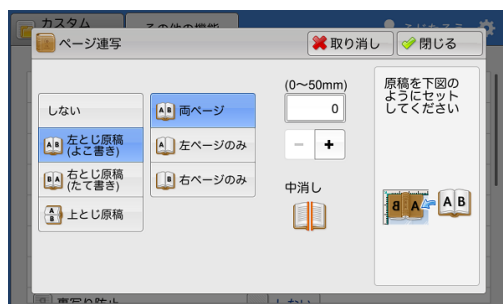


補足

- ・[区切り文字] で選択した項目が、[日付けの表示形式] の選択項目に反映されます。
- ・「YYYY_MMDD_HHMM」の形式をファイル名にしたい場合は、直接ファイル名表示エリアに「YYYY_MMDD_HHMM」と入力します。または、日付ボタンを押してファイル名表示エリアに「YYYY_MMDD_HHMMSS」を表示してから、「SS」を削除します。

〔ページ連写〕画面

ページ連写とは、本などの冊子の見開きページを別々のページとして、ページ順にスキャンする機能です。原稿の左右のページを分けてスキャンしたいときに便利です。



補足

- ・この機能は、原稿送り装置では使用できません。
- ・定形サイズ以外の原稿やサイズを検知できない原稿などは、正確に2分割されないことがあります。
- ・〔カスタムボックス保存〕画面、および〔その他の機能〕画面の〔両面原稿送り〕で、〔両面（左右開き）〕、または〔両面（上下開き）〕に設定している場合、ページ連写を設定すると、自動で〔片面〕に変更されます。

しない

ページ連写をしません。

左とじ原稿（よこ書き）

左ページから始まる見開き原稿の左のページからスキャンします。



補足

- ・〔その他の機能〕画面の〔原稿セット向き指定〕で、〔左向き〕に設定している場合、〔左とじ原稿（よこ書き）〕を設定すると、自動で〔読める向き〕に変更されます。

右とじ原稿（たて書き）

右ページから始まる見開き原稿の右のページからスキャンします。



補足

- ・〔その他の機能〕画面の〔原稿セット向き指定〕で、〔左向き〕に設定している場合、〔右とじ原稿（たて書き）〕を設定すると、自動で〔読める向き〕に変更されます。

上とじ原稿

上ページから始まる見開き原稿の上のページからスキャンします。



補足

- ・〔その他の機能〕画面の〔原稿セット向き指定〕で、〔読める向き〕に設定している場合、〔上とじ原稿〕を設定すると、自動で〔左向き〕に変更されます。

両ページ

両方のページをページ順にスキャンします。

左ページのみ

左ページだけをスキャンします。〔左とじ原稿（よこ書き）〕または〔右とじ原稿（たて書き）〕を選択している場合に選択できます。

右ページのみ

右ページだけをスキャンします。〔左とじ原稿（よこ書き）〕または〔右とじ原稿（たて書き）〕を選択している場合に選択できます。

上ページのみ

上ページだけをスキャンします。[上とじ原稿] を選択している場合に選択できます。

下ページのみ

下ページだけをスキャンします。[上とじ原稿] を選択している場合に選択できます。

中消し

見開き原稿の中央部の影を消します。中消しの幅は、0 ～ 50mm の範囲から、1mm 単位で指定します。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを押すと表示される、数字ボタンを使って入力する



補足

- ・入力を間違えた場合は、[C] を押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- [+], [-] を押して入力する
- 操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する



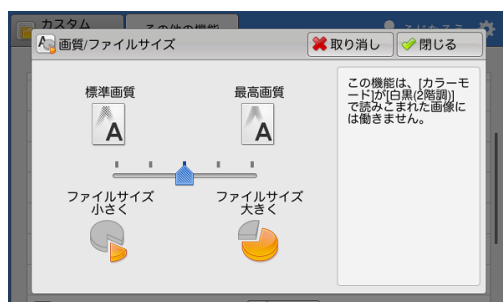
補足

- ・入力を間違えた場合は、操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。

[画質 / ファイルサイズ] 画面

[画質 / ファイルサイズ] 画面では、画質とファイルサイズを設定します。

[標準画質] [ファイルサイズ小さく] から [最高画質] [ファイルサイズ大きく] の間で、5 段階で設定できます。



ワンタッチアプリを作成する

「カスタムボックス保存」の機能の設定値を変更し、ワンタッチアプリを作成できます。

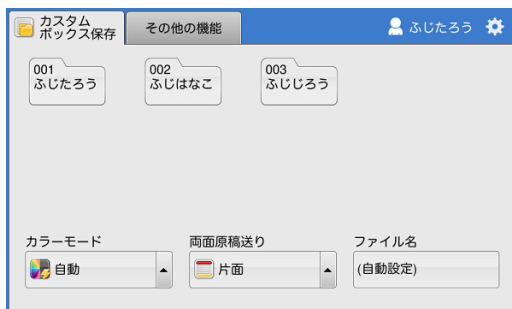


補足

- ・ワンタッチアプリは、通常のメニュー画面上でも作成できますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

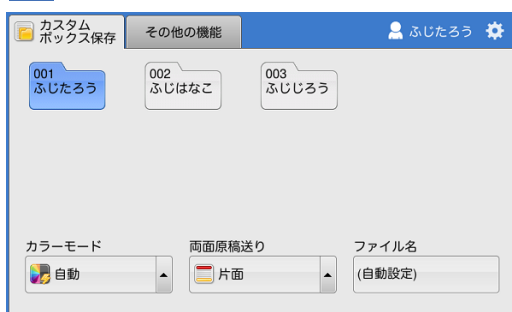
- 1 「カスタムボックス保存」画面、または「その他の機能」画面で、作成したいワンタッチアプリの機能を設定します。



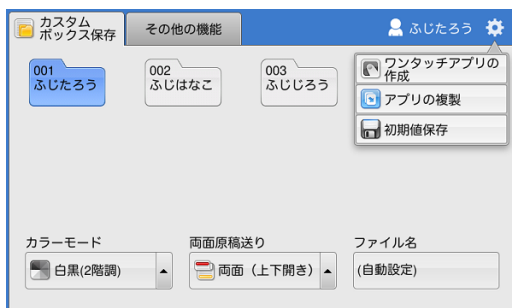
補足

- ・ここでは、親展ボックスの001を選択し、[カラーモード]を[白黒（2階調）]に、[両面原稿送り]を[両面（左右開き）]に設定した場合を例に説明します。

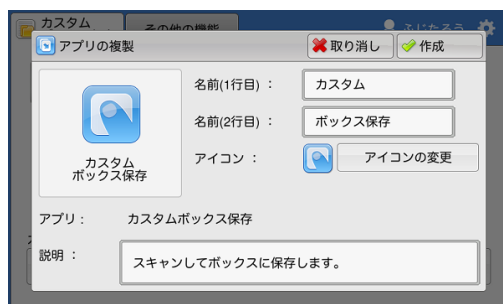
- 2  を押します。



- 3 「ワンタッチアプリの作成」を選択します。



4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- ・最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および[説明]で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・作成したワンタッチアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したワンタッチアプリの、表示名、アイコン、機能の説明、およびジョブを実行するときの動作は変更できます。

[ワンタッチアプリの作成] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

ダイレクトスタート

ワンタッチアプリの動作について設定できます。

[する] に設定した場合は、機能ボタンを押すだけで、ジョブが開始されます。また、アイコンに  が表示されます。

[しない] に設定した場合は、機能ボタンを押すと、機能の概要を説明する画面が表示されるので、〈スタート〉ボタンを押してジョブを開始します。

アプリ

ワンタッチアプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

アプリを複製する

「カスタムボックス保存」の、機能の初期値や並び順を変更したものを複製し、「カスタムボックス保存」とは別の機能ボタンを作成できます。

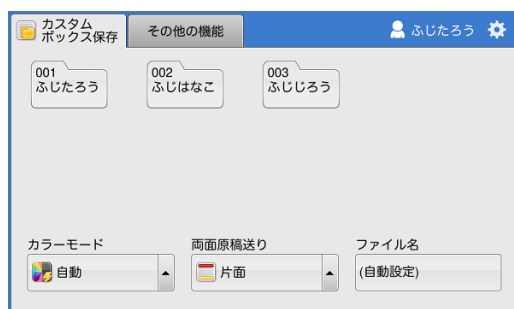


補足

- ・アプリの複製は、通常のメニュー画面上でもできますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

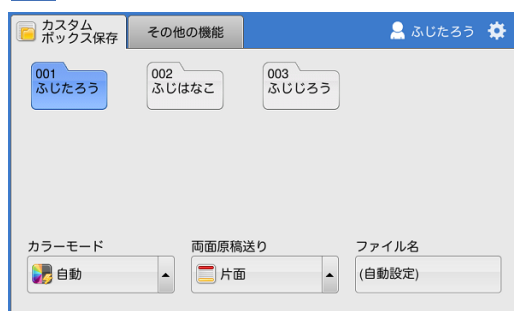
- 1 「カスタムボックス保存」画面、または「その他の機能」画面で、作成したいアプリの機能を設定します。



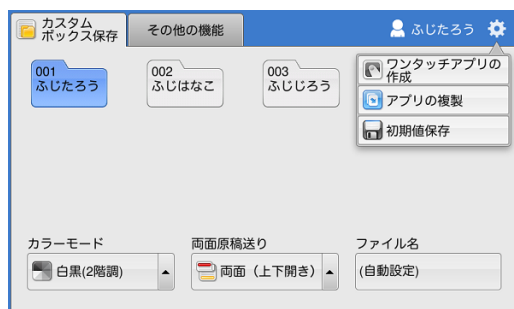
補足

- ・ここでは、親展ボックスの001を選択し、[カラーモード]を[白黒(2階調)]に、[両面原稿送り]を[両面(左右開き)]に設定した場合を例に説明します。

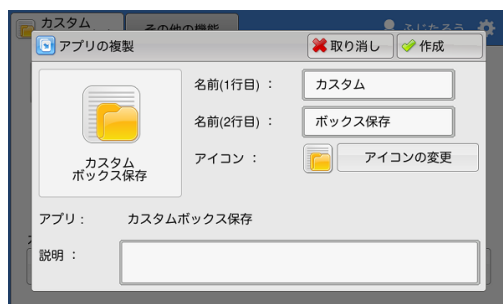
- 2 を押します。



- 3 「アプリの複製」を選択します。



4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- ・最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および [説明] で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・作成したアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したアプリの表示名、アイコン、および機能の説明は変更できます。

[アプリの複製] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

アプリ

アプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

管理者設定

機械管理者は、[ファイル名] 画面のファイル名ボタンに表示する定型文字列を変更できます。よく使うファイル名を登録しておく、スキャン時にワンタッチで設定できて便利です。

ファイル名ボタンに表示する定型文字列を、スキャンオートと共有することもできます。



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。

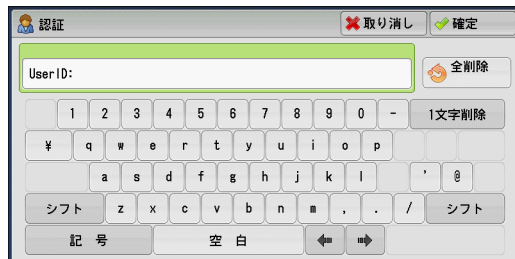


補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[カスタムボックス保存] 画面、または [その他の機能] 画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



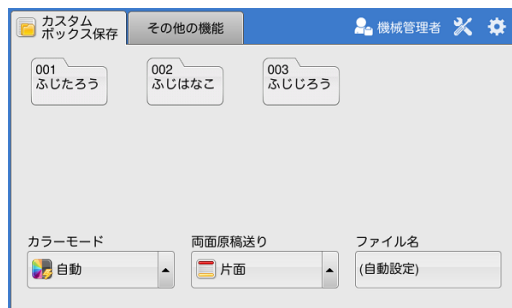
補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

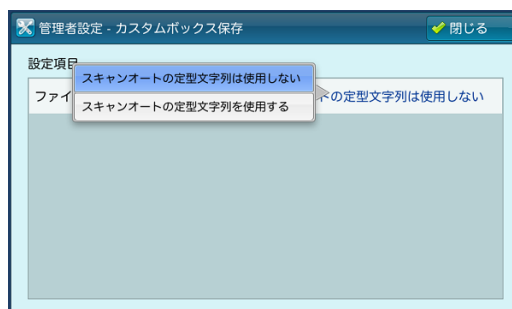
- 3 メニュー画面で、[カスタムボックス保存] を押します。



- 4  を押します。



- 5 [ファイル名の定型文字列] を押し、表示されるメニューからスキャンオートの定型文字列を使用するかどうかを選択します。



- [スキャンオートの定型文字列は使用しない]
選択すると、カスタムボックス保存で設定した定型文字列が表示されます。

● [スキャンオートの定型文字列を使用する]

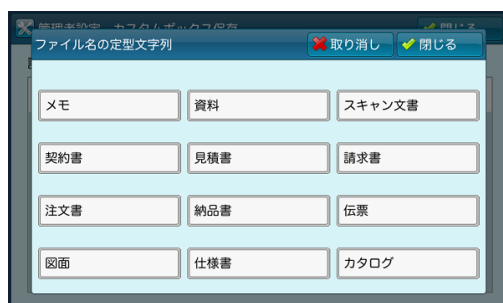
選択すると、スキャンオートの管理者設定の [ファイル名の定型文字列] で設定した定型文字列が表示されます。



補足

- ・スキャンオートがインストールされていない場合や、スキャンオートのバージョンが古い場合は、この機能は使用できません。

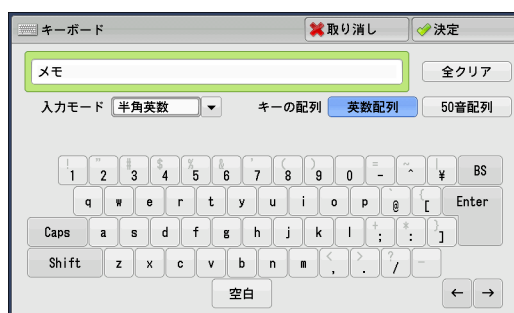
6 文字列を変更するファイル名のボタンを選択します。



補足

- ・初期値として、12 種類のファイル名が登録されています。

7 キーボードが表示されるので、文字列を変更し、[決定] を押します。



補足

- ・ファイル名として登録できるのは、全角で7文字までです。最大文字数を超えて入力した場合は、超えた部分を削除して登録されます。
- ・「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

8 [決定] を押します。

[スキャンオートの定型文字列を使用する] を選択した場合は、ここで設定した内容が、スキャンオートの管理者設定の [ファイル名の定型文字列] にも反映されます。

9 [閉じる] を押します。

トラブル対処

「カスタムボックス保存」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「カスタムボックス保存」が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
使用できる親展ボックスがありません。 親展ボックスを登録してください。	このメッセージは、ユーザーが文書を格納できる親展ボックスがない場合に表示されます。 認証機能を利用している場合は、各認証ユーザーが作成した親展ボックス、または機械管理者が作成したパスワードのない親展ボックスを使用できます。 認証機能を利用していない場合は、一般ユーザー、または機械管理者が作成した、パスワードのない親展ボックスを使用できます。 上記の親展ボックスがない場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [登録 / 変更] > [ボックス登録]、または [登録 / 変更] 画面の [ボックス登録] で、親展ボックスを登録してください。
親展ボックス XXX が削除されました。 使用できる親展ボックスがありません。 親展ボックスを登録してください。	[アプリの複製] で複製した機能ボタンを使用している場合、または [初期値保存] を設定した場合に、設定した親展ボックスが削除され、かつ、他に使用できる親展ボックスがないと表示されます。 認証機能を利用している場合は、各認証ユーザーが作成した親展ボックス、または機械管理者が作成したパスワードのない親展ボックスを使用できます。 認証機能を利用していない場合は、一般ユーザー、または機械管理者が作成した、パスワードのない親展ボックスを使用できます。 上記の親展ボックスがない場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [登録 / 変更] > [ボックス登録]、または [登録 / 変更] 画面の [ボックス登録] で、親展ボックスを登録してください。
スタートできません。 [ページ連写] を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットして [スタート] ボタンを押してください。	このメッセージは、[ページ連写] を指定し、かつ両面原稿送り装置に原稿をセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 [閉じる] を押して前の画面に戻り、原稿を原稿ガラスにセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。

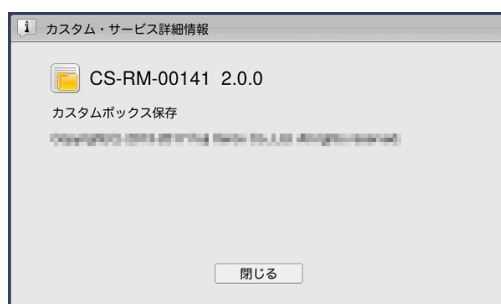
メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたが使用したスキャンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 1. スキャンの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 「カスタムボックス保存」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ (-)〉ボタンを 5 秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「カスタムボックス保存」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 認証機能を利用していない場合、本機能では、一般ユーザーまたは機械管理者が登録した、パスワードのない親展ボックスが利用できます。パスワードを設定した親展ボックスは利用できません。
認証機能を利用している場合については、「認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項」(P.76) をご覧ください。
- 同時に、次の条件において、[読み取り解像度] で [600dpi] を指定すると、メモリー不足によるエラーが発生し、400 dpi でスキャンされます。
 - フルカラー原稿である ([カラーモード] で [自動] を設定し、フルカラー原稿だと認識された場合も含む)
 - ミックスサイズ原稿送りを設定している
 - 両面を設定している
- 本機能は、DocuLyzer (別売) や CoinKit (別売) などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 追加型アプリケーションである「カスタムボックス保存」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- 言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、ファイル名は設定できません。
- メール送信のジョブフローが関連付けられている親展ボックスを利用する場合、[ファイル名] 画面で設定したファイル名は反映されません。

認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能では、各認証ユーザーが登録した親展ボックス、および機械管理者が登録したパスワードのない親展ボックスが利用できます。
- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate (関連商品)、または IC カードリーダー (オプション) を接続している場合も利用できます。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「カスタムボックス保存」が利用可能な状態となります。
- 認証ユーザーのユーザー名に、半角の「#」、「\$」、「%」、「^」、「&」、「=」、「\」、「@」、「,」、「/」、および「:」が含まれている場合、「カスタムメニュー」画面から本機能を起動すると、エラーが発生して利用できません。
- 認証しないモードでカスタムメニューを表示しているときに、機械管理者でログインした場合は、メニューが更新されません。更新する場合には、リセットボタンを押してください。

7 カスタムスキャン

「カスタムスキャン」とは、簡単な手順で、スキャンしたデータをメールで送信したり、サーバー上のフォルダーに保存したりできる機能です。

送信先や保存先は、複合機本体に登録された宛先や、送信履歴から選択できます。一度の操作で、複数の宛先を設定できます。メールアドレスとサーバーを混在して設定できます。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「カスタムスキャン」とは別の機能ボタンを作成したりできます。

スキャンする

「カスタムスキャン」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

1 原稿をセットします。



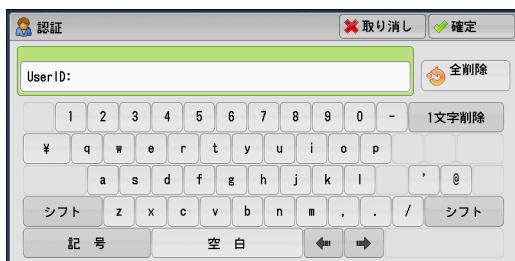
参照

・原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

(1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

(2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 メニュー画面で、[カスタムスキャン] を押します。



- 4 スキャンしたデータの宛先を設定します。**
一度の操作で、最大 25 件の宛先を設定できます。



参照

・宛先の設定方法について、詳しくは「[カスタムスキャン] 画面」(P.79) を参照してください。

- 5 必要に応じて、各項目を設定します。**



参照

・各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.79) を参照してください。

- 6 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。**
スキャンが実行されます。



注記

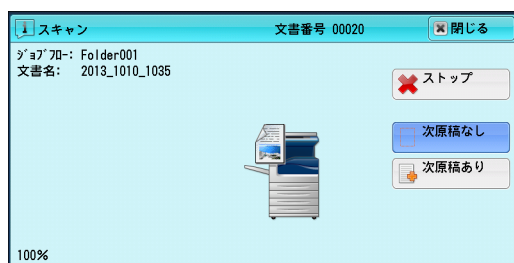
・通常のメニュー画面から本機能を起動した場合、本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

スキャンを中止する

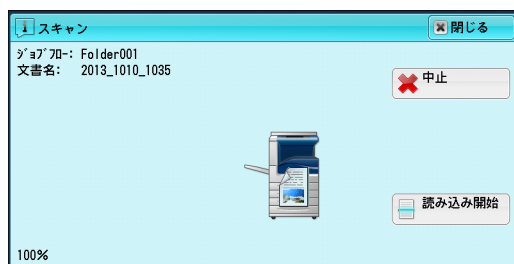
スキャンを中止する手順について説明します。

操作手順

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの[ストップ]を押します。**



2 [中止] を押します。



各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

[カスタムスキャン] 画面

[カスタムスキャン] 画面で設定できる項目について説明します。



宛先確認ボタン

現在設定されている宛先の件数が表示されます。

宛先が1件以上設定されているときにこのボタンを押すと、[宛先確認] 画面が表示されます。



参照

・[宛先確認] 画面については、「[宛先確認] 画面」(P.83) を参照してください。

スパナボタン

スパナボタン (🔧) を押すと、管理者設定画面が表示されます。



参照

・管理者設定画面については、「管理者設定」(P.94) を参照してください。



補足

・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

設定メニューボタン

設定メニューボタン (⚙️) を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、または[初期値保存]を選択できます。

● ワンタッチアプリの作成

現在、[カスタムスキャン] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。

**参照**

・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.91)を参照してください。

- アプリの複製

現在、[カスタムスキャン]画面、および[その他の機能]画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムスキャン」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製]画面が表示されます。

**参照**

・詳しくは、「アプリを複製する」(P.93)を参照してください。

- 初期値保存

現在、[カスタムスキャン]画面、および[その他の機能]画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい(保存する)]を押します。

宛先表示エリア

指定した宛先が表示されます。

宛先は、宛先表示エリア、または[メールアドレス新規追加]ボタンを押すと表示される[メールアドレス入力]画面を使って直接入力する方法と、宛先表、送信履歴、または自分を追加ボタン()を使って入力する方法があります。

複数の宛先を指定している場合は、最後に指定した宛先が表示されます。

**補足**

- ・サーバー上のフォルダーは、直接入力できません。サーバー上のフォルダーを宛先に設定したい場合は、複合機本体の宛先表に登録しておく必要があります。
- ・[メールアドレス入力]画面は、宛先表示エリアに宛先が表示されていない場合、または直接入力した宛先が表示されている場合だけ表示されます。
- ・宛先表、送信履歴、自分を追加ボタンで指定した宛先は編集できません。

宛先表

このボタンを押すと、[宛先表]画面が表示されます。

このボタンは、管理者設定の[送信先アドレスの初期値]が、[設定しない]の場合に表示されます。

**参照**

・「[宛先表]画面」(P.82)

メールアドレス新規追加

このボタンを押すと表示される[メールアドレス入力]画面で、メールアドレスを直接入力できます。

入力できるメールアドレスは、58文字までです。

このボタンは、管理者設定の[送信先アドレスの初期値]が、[設定しない]の場合に表示されます。

送信履歴ボタン

このボタンを押すと、ユーザーごとに記録されている送信履歴が表示されます。

認証モードで利用している場合は3件、未認証モードで利用している場合は10件の送信履歴が表示されます。

同報送信した場合は、最後に選択した宛先から表示できる件数分の宛先が、送信履歴に登録されます。たとえば、認証モードで利用しているときに同報送信で「A、B、C、D、E」の順に選択して送信した場合、「C、D、E」の宛先が登録されます。

このボタンは、管理者設定で[送信履歴の使用]を[する]に設定している場合に表示されます。

自分を追加ボタン

自分を追加ボタン () を押すと、操作しているユーザーのメールアドレスが宛先に追加されます。

このボタンは、認証モードで利用している場合、かつ、管理者設定の「送信先アドレスの初期値」が、「設定しない」の場合に表示されます。

カラーモード

「自動自動」、「フルカラー」、「グレースケール (256 階調)」、「白黒 (2 階調)」から選択します。



補足

- ・ユーザーがサービスの利用を制限されている場合は、利用できないカラーモードはグレー表示され、選択できません。
- ・「出力ファイル形式」で「JPEG」が選択されているときに、「カラーモード」で「自動」、または「白黒 (2 階調)」を選択すると、「出力ファイル形式」が「JPEG」から「PDF」に変更されます。
- ・「出力ファイル形式」で「高圧縮 PDF」、または「高圧縮 DocuWorks」が選択されているときに、「カラーモード」で「白黒 (2 階調)」を選択すると、「出力ファイル形式」が「PDF」、「DocuWorks」に変更されます。

両面原稿送り

「片面」、「両面 (左右開き)」、「両面 (上下開き)」から選択します。



補足

- ・「ページ連写」画面で、ページ連写の設定をしている場合は、「両面 (左右開き)」、および「両面 (上下開き)」は設定できません。

ファイル名

選択すると、「ファイル名」画面が表示されます。



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合は、「ファイル名」は表示されません。



参照

- ・詳しくは、「「ファイル名」画面」(P.84) を参照してください。

出力ファイル形式

「PDF」、「DocuWorks」、「高圧縮 PDF」、「高圧縮 DocuWorks」、「JPEG」から選択します。

「高圧縮 PDF」、「高圧縮 DocuWorks」、「JPEG」には、次の制限があります。

- 高圧縮 PDF、高圧縮 DocuWorks
 - 「カラーモード」で「白黒 (2 階調)」が選択されているときは選択できません。
 - 「読み取り解像度」で「400dpi」、または「600dpi」が選択されているときに選択すると、「200dpi」に変更されます。
 - 「画質 / ファイルサイズ」で「高画質 (+1) / やや小さく」が選択されているときに選択すると、「標準画質 / 小さく」に変更されます。
 - 「画質 / ファイルサイズ」で「高画質 (+3) / やや大きく」が選択されているときに選択すると、「最高画質 / 大きく」に変更されます。
- JPEG
 - 「カラーモード」で「自動」、または「白黒 (2 階調)」が選択されているときは選択できません。
 - 「文字認識 (OCR)」で「する」が選択されているときに選択すると、「しない」に変更されます。
 - 「自動正立」で「する」が選択されているときに選択すると、「しない」に変更されます。

読み取り解像度

[200dpi]、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi] から選択します。

次の場合、[400dpi]、および [600dpi] は選択できません。

- [出力ファイル形式] で「高圧縮 PDF」、または「高圧縮 DocuWorks」が選択されている場合
- [傾き補正] で「する」が選択されている場合
- [文字認識 (OCR)] で「する」が選択されている場合

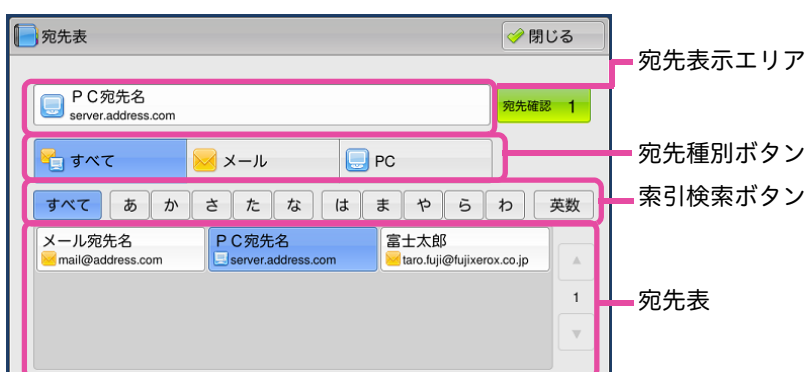
追加原稿あり

追加でスキャンする原稿がある場合は、チェックマークを付けます。

[宛先表] 画面

[宛先表] 画面では、複合機本体に登録されている宛先を表示して選択できます。

宛先種別や索引検索で、宛先を絞り込んで表示できます。



宛先表示エリア

宛先表で選択した宛先が表示されます。

複数の宛先を選択している場合は、最後に選択した宛先が表示されます。

宛先を直接入力したり、表示されている宛先を編集したりすることはできません。

宛先確認ボタン

現在設定されている宛先の件数が表示されます。

宛先が 1 件以上設定されているときにこのボタンを押すと、[宛先確認] 画面が表示されます。



参照

・[宛先確認] 画面については、「[宛先確認] 画面」(P.83) を参照してください。

宛先種別ボタン

宛先表に表示する宛先種別を選択できます。

[すべて] を選択した場合は、複合機本体に登録されている宛先のうち、宛先種別が「メール」、「SMB」、または「FTP」の宛先が表示されます。

[メール] を選択すると宛先種別が「メール」の宛先だけ、[PC] を選択すると「SMB」または「FTP」の宛先だけが表示されます。

索引検索ボタン

選択した索引文字が、設定されている索引文字と一致する宛先を検索して、宛先表に表示します。
表示言語が日本語の場合はかなと英数字、日本語以外の場合は英数字を選択できます。
英数字で検索する場合、全角も半角も検索の対象になります。



補足

- ・複合機本体に登録されている宛先の索引文字に、英数字およびかな以外の文字を設定している場合は、索引検索が正しく動作しません。

宛先表

複合機本体に登録されている宛先が表示されます。

宛先種別ボタン、索引検索ボタンを使用している場合は、条件に一致する宛先だけが表示されます。

このボタンを押すと、宛先が選択された状態になり、カスタムスキャンの宛先に追加されます。
すでに選択されている宛先を再度押すと、選択が解除され宛先から削除されます。



補足

- ・カスタムスキャンの実行画面から表示した場合は、複数の宛先を選択できます。

〔宛先確認〕画面

〔宛先確認〕画面では、選択中の宛先を確認したり削除したりできます。



〔宛先確認〕画面で宛先情報を押すと、次のメニューが表示されます。

- 削除
- 全削除
- 詳細 ...

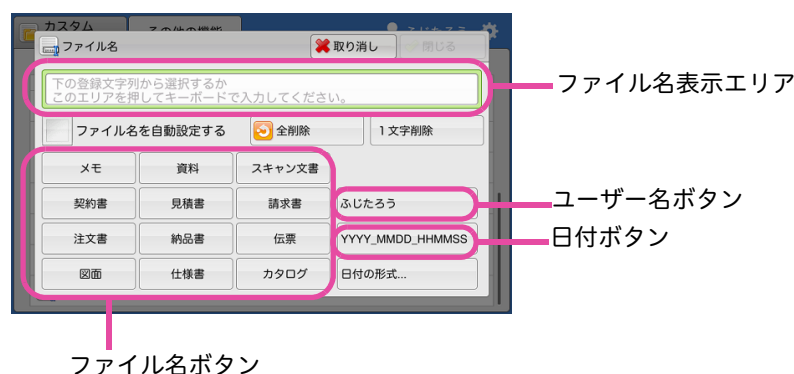
送信履歴や宛先表から入力した宛先を選択した場合に表示されます。選択している宛先の詳細情報画面が表示されます。

- 変更 ...

直接入力した宛先を選択した場合に表示されます。〔メールアドレス入力〕画面が表示され、宛先のメールアドレスを変更できます。

〔ファイル名〕画面

〔ファイル名〕画面では、スキャンデータのファイル名を入力したり、あらかじめ登録されているパターンから選択したりできます。



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。



補足

- ・ファイル名は、全角 64 文字以内、半角 128 文字以内で入力できます。
- ・ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。その場合、項目と項目の間に自動で「_」が入ります。
- ・「¥」（半角）、「-」（全角）、および「~」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

ファイル名は、ファイル名表示エリアを押すと表示されるキーボードを使って直接入力する方法と、ファイル名ボタンやユーザー名ボタンを使って入力する方法があります。

ファイル名を自動設定する

チェックすると、自動でファイル名が「YYYY_MMDD_HHMMSS」に設定されます。



補足

- ・「YYYY_MMDD_HHMMSS」は、スキャン開始時の年月日時分秒です。

全削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの、すべての文字を削除します。

1 文字削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの最後の 1 文字を削除します。

ファイル名ボタン

各ボタンを押すと、ボタンの文字列がファイル名として設定されます。

ユーザー名ボタン

認証ユーザーが利用している場合、ユーザー名が表示されます。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。



補足

- ・認証機能を利用していない場合は、表示されません。

日付ボタン

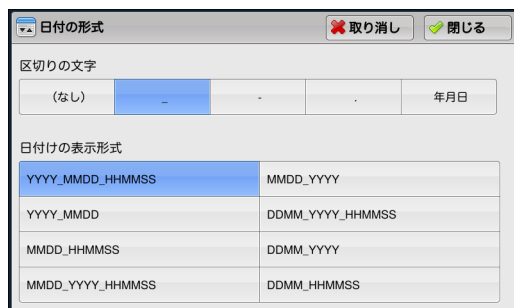
日付が表示されます。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。

日付の形式

選択すると、[日付の形式] 画面が表示されます。

[日付の形式] 画面

[ファイル名] 画面の、日付ボタンに表示される日付の、形式を設定できます。



区切り文字

YYYY、MMDD、DDMM、HHMMSS の区切りを [(なし)]、[_]、[-]、[.]、[年月日] から選択します。

日付けの表示形式

日付の表示形式を選択します。



補足

- ・ [区切り文字] で選択した項目が、[日付けの表示形式] の選択項目に反映されます。

[その他の機能] 画面

[その他の機能] 画面で設定できる項目について説明します。



宛先確認ボタン

現在設定されている宛先の件数が表示されます。

宛先が 1 件以上設定されているときにこのボタンを押すと、[宛先確認] 画面が表示されます。



参照

- ・ [宛先確認] 画面については、「[宛先確認] 画面」(P.83) を参照してください。

スパナボタン

スパナボタン (🔧) を押すと、管理者設定画面が表示されます。



参照

- ・ 管理者設定画面については、「管理者設定」(P.94) を参照してください。



補足

- ・ このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

設定メニューボタン

設定メニューボタン () を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、[初期値保存]、または[リストの編集]を選択できます。

- ワンタッチアプリの作成

現在、[カスタムスキャン] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.91) を参照してください。

- アプリの複製

現在、[カスタムスキャン] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムスキャン」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「アプリを複製する」(P.93) を参照してください。

- 初期値保存

現在、[カスタムスキャン] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

- リストの編集

[その他の機能] 画面の項目の表示順を変更できます。よく設定する項目を、上に配置しておく便利です。

選択すると、[リストの編集] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[リストの編集] 画面」(P.64) を参照してください。

原稿セット向き指定

選択すると、[原稿セット向き指定] 画面が表示されます。

原稿をセットする向きを、[読める向き]、[左向き] から選択し、[閉じる] を押してください。



補足

・[ページ連写] 画面で [左とじ原稿 (よこ書き)]、[右とじ原稿 (たて書き)]、または [上とじ原稿] を設定している場合、この項目は設定できません。

自動正立

スキャンしたデータを、文字が読める向きに自動で回転できます。[する]、[しない] から選択します。

次の場合は、[する] は選択できません。

- [出力ファイル形式] で「JPEG」が選択されている場合
- [原稿の画質] で「写真」が選択されている場合
- 言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合

白紙除去

原稿に白紙ページがあった場合は、そのページを除いてスキャンできます。[する]、[しない] から選択します。

傾き補正

スキャンしたデータの傾きを、自動で補正できます。[する]、[しない] から選択します。

[読み取り解像度] で「400dpi」、または「600dpi」が選択されているときに「する」を選択すると、「300dpi」に変更されます。



補足

・お使いの機種によっては、「する」を選択できません。

1 ページずつ分割

複数ページの文書をスキャンしたデータを、1 ページずつのファイルに分割します。[する]、[しない] から選択します。

文字認識 (OCR)

スキャンしたデータを OCR 処理できます。[する]、[しない] から選択します。

[読み取り解像度] で「400dpi」、または「600dpi」が選択されているときに、[文字認識 (OCR)] で「する」を選択すると、「200dpi」に変更されます。

次の場合は、「する」に設定できません。

- [出力ファイル形式] で「JPEG」が選択されている場合
- [原稿の画質] で「写真」が選択されている場合
- 言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合



補足

・スキャンしたデータを OCR 処理するには、複合機にスキャン機能拡張キット（オプション）が搭載されている必要があります。

画質 / ファイルサイズ

選択すると、[画質 / ファイルサイズ] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[画質 / ファイルサイズ] 画面」(P.90) を参照してください。

読み取りサイズ

選択すると、[読み取りサイズ] 画面が表示されます。

原稿のサイズを選択し、[閉じる] を押してください。

原稿の画質

[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

次の場合、[写真] は選択できません。

- [自動正立] で「する」が選択されている場合
- [文字認識 (OCR)] で「する」が選択されている場合

読み込み濃度

[こく (+3)]、[こく (+2)]、[こく (+1)]、[ふつう]、[うすく (+1)]、[うすく (+2)]、[うすく (+3)] から、読み込み濃度を 7 段階で調節できます。

裏写り防止

薄い紙に両面にプリントしてある原稿などをスキャンする場合、原稿の裏が写らないようにできます。[する]、[しない] から選択します。

地色除去

新聞や、下地（背景）に色が付いている原稿の、下地の色を除いてスキャンできます。[する]、[しない] から選択します。

ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの原稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにスキャンしたり、1つのサイズにそろえてスキャンしたりできます。[する]、[しない] から選択します。

ページ連写

選択すると、[ページ連写] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[ページ連写] 画面」(P.89) を参照してください。

ファイルの送付方法

スキャンしたデータの送付方法を、次のどれから指定します。

- メール添付

スキャンしたデータをメールに添付して送信します。

- URL 送信

スキャンしたデータを複合機本体に一時的に保存し、取り出すための URL をメールで送信します。

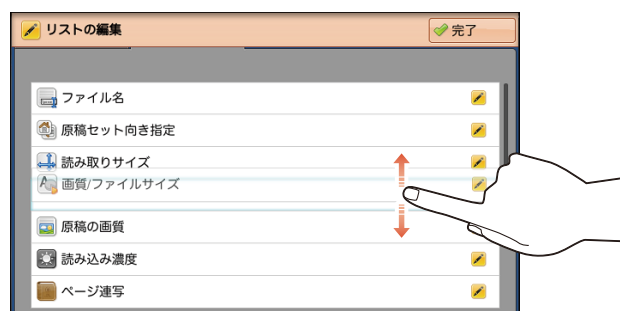
- 自動切り替え（メール添付 / URL）

管理者が設定したファイルサイズの上限より小さい場合は [メール添付] に、大きい場合は [URL 送信] に、送付方法を自動で切り替えます

[リストの編集] 画面

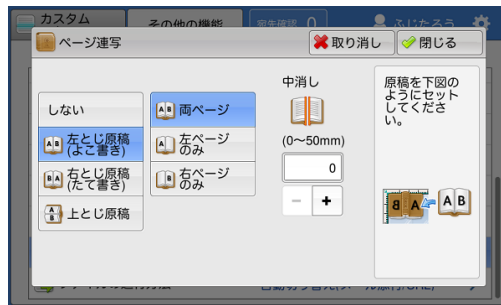
[リストの編集] 画面では、[その他の機能] 画面の項目の表示順を変更できます。

表示順を変更したい項目をロングタップし、そのまま移動したい位置にドラッグ & ドロップすると、順番を入れ替えることができます。



[ページ連写] 画面

ページ連写とは、本などの冊子の見開きページを別々のページとして、ページ順にスキャンする機能です。原稿の左右のページを分けてスキャンしたいときに便利です。



💡 補足

- ・この機能は、原稿送り装置では使用できません。
- ・定形サイズ以外の原稿やサイズを検知できない原稿などは、正確に2分割されないことがあります。
- ・[カスタムスキャン] 画面の [両面原稿送り] で、[両面 (左右開き)]、または [両面 (上下開き)] に設定している場合、ページ連写を設定すると、自動で [片面] に変更されます。

しない

ページ連写をしません。

左とじ原稿 (よこ書き)

左ページから始まる見開き原稿の左のページからスキャンします。

💡 補足

- ・[その他の機能] 画面の [原稿セット向き指定] で、[左向き] に設定している場合、[左とじ原稿 (よこ書き)] を設定すると、自動で [読める向き] に変更されます。

右とじ原稿 (たて書き)

右ページから始まる見開き原稿の右のページからスキャンします。

💡 補足

- ・[その他の機能] 画面の [原稿セット向き指定] で、[左向き] に設定している場合、[右とじ原稿 (たて書き)] を設定すると、自動で [読める向き] に変更されます。

上とじ原稿

上ページから始まる見開き原稿の上のページからスキャンします。

💡 補足

- ・[その他の機能] 画面の [原稿セット向き指定] で、[読める向き] に設定している場合、[上とじ原稿] を設定すると、自動で [左向き] に変更されます。

両ページ

両方のページをページ順にスキャンします。

左ページのみ

左ページだけをスキャンします。[左とじ原稿 (よこ書き)] または [右とじ原稿 (たて書き)] を選択している場合に選択できます。

右ページのみ

右ページだけをスキャンします。[左とじ原稿 (よこ書き)] または [右とじ原稿 (たて書き)] を選択している場合に選択できます。

上ページのみ

上ページだけをスキャンします。[上とじ原稿] を選択している場合に選択できます。

下ページのみ

下ページだけをスキャンします。[上とじ原稿] を選択している場合に選択できます。

中消し

見開き原稿の中央部の影を消します。中消しの幅は、0 ～ 50mm の範囲から、1mm 単位で指定します。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを押すと表示される、数字ボタンを使って入力する



補足

- ・ 入力を間違えた場合は、[C] を押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- [+], [-] を押して入力する
- 操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する



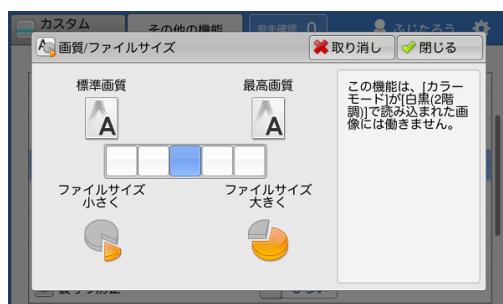
補足

- ・ 入力を間違えた場合は、操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。

[画質 / ファイルサイズ] 画面

[画質 / ファイルサイズ] 画面では、画質とファイルサイズを設定します。

[標準画質 / 小さく]、[高画質 (+1) / やや小さく]、[高画質 (+2) / ふつう]、[高画質 (+3) / やや大きく]、[最高画質 / 大きく] から設定できます。



補足

- ・ [出力ファイル形式] で「高圧縮 PDF」、または「高圧縮 DocuWorks」が選択されている場合は、[高画質 (+1) / やや小さく]、[高画質 (+3) / やや大きく]、は表示されません。

ワンタッチアプリを作成する

「カスタムスキャン」の機能の設定値を変更し、ワンタッチアプリを作成できます。



補足

- ワンタッチアプリは、通常のメニュー画面上でも作成できますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

- 1 「カスタムスキャン」画面、または「その他の機能」画面で、作成したいワンタッチアプリの機能を設定します。



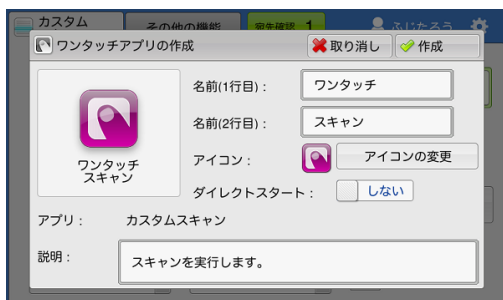
- 2  を押します。



- 3 「ワンタッチアプリの作成」を選択します。



- 4 必要に応じて、各項目を設定します。



**補足**

- ・最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および「説明」で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。**補足**

- ・作成したワンタッチアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したワンタッチアプリの、表示名、アイコン、機能の説明、およびジョブを実行するときの動作は変更できます。

[ワンタッチアプリの作成] 画面**名前（1 行目）**

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

ダイレクトスタート

ワンタッチアプリの動作について設定できます。

[する] に設定した場合は、機能ボタンを押すだけで、ジョブが開始されます。また、アイコンに  が表示されます。

[しない] に設定した場合は、機能ボタンを押すと、機能の概要を説明する画面が表示されるので、〈スタート〉ボタンを押してジョブを開始します。

アプリ

ワンタッチアプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

アプリを複製する

「カスタムスキャン」の、機能の初期値や並び順を変更したものを複製し、「カスタムスキャン」とは別の機能ボタンを作成できます。

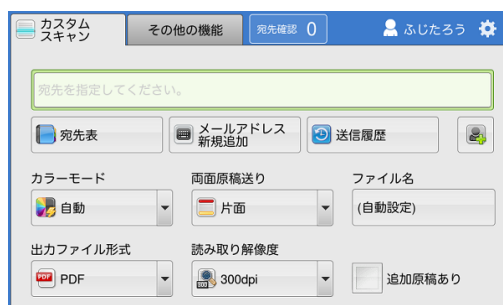


補足

- ・アプリの複製は、通常のメニュー画面上でも作成できますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

- 1 「カスタムスキャン」画面、または[その他の機能]画面で、作成したいアプリの機能を設定します。



- 2  を押します。



- 3 「アプリの複製」を選択します。



- 4 必要に応じて、各項目を設定します。





補足

- ・最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および「説明」で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・作成したアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したアプリの表示名、アイコン、および機能の説明は変更できます。

[アプリの複製] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

アプリ

アプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

管理者設定

機械管理者は、カスタムスキャンの送信先アドレスの初期値や、添付ファイルの上限サイズなど、各機能を設定できます。



補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[カスタムスキャン] 画面、または [その他の機能] 画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。





補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

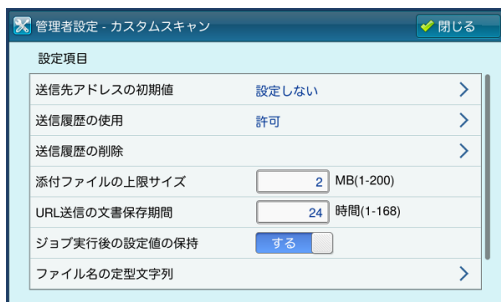
3 メニュー画面で、[カスタムスキャン] を押します。



4 を押します。



5 必要に応じて、各項目を設定します。



6 [閉じる] を押します。

管理者設定画面について

ここでは、管理者設定画面で設定できる項目について説明します。



補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[カスタムスキャン] 画面、または [その他の機能] 画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

送信先アドレスの初期値

[設定しない]、または [認証ユーザーのアドレスに固定] のどちらかから選択します。

[認証ユーザーのアドレスに固定] に変更した場合は、認証ユーザーのアドレスにしか送信できません。



補足

- ・[認証ユーザーのアドレスに固定] に設定している場合、未認証モードではカスタムスキャンを使用できません。

送信履歴の使用

送信履歴の使用を許可するか、禁止するかを設定します。



補足

送信履歴の使用を「許可」から「禁止」に変更すると、その時点で保存されていた送信履歴は削除されます。

送信履歴の削除

このボタンを押すと、「送信履歴の削除」画面が表示され、送信履歴をすべて削除できます。

添付ファイルの上限サイズ

「その他の機能」画面の「ファイルの送付方法」で、「自動切り替え（メール添付 / URL）」を選択している場合に、送付方法を切り替えるファイルサイズの上限値を、1 ～ 200 MB の間で設定します。ここで設定したサイズ以下のファイルはメール添付、設定したサイズより大きいファイルは URL 送信で送付されます。

URL 送信の文書保存期間

「ファイルの送付方法」が「URL 送信」の場合、複合機本体にファイルを保存する期間を 1 時間から 168 時間までで指定します。

初期値は 24 時間です。

ジョブ実行後の設定値の保持

ジョブ実行後に設定値を保持するかどうかを選択します。

ファイル名の定型文字列

このボタンを押すと表示される「ファイル名の定型文字列」画面で、「ファイル名」画面のボタンに表示する定型文字列を変更できます。

「ファイル名の定型文字列」画面で定型文字列ボタンを押すと、キーボードが表示されて文字を入力できます。

スキャンオートで設定されている定型文字列を使用することもできます。



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。
- ・定型文字列に英数字以外の文字を設定した場合、表示言語を切り替えると正しく表示されないことがあります。



補足

- ・スキャンオートがインストールされていない場合や、スキャンオートのバージョンが古い場合は、スキャンオートの定型文字列を使用できません。

キーボードの定型文字列

このボタンを押すと表示される「キーボードの定型文字列」画面で、「メールアドレス入力」画面のボタンに表示する定型文字列を変更できます。

「キーボードの定型文字列」画面で定型文字列ボタンを押すと、キーボードが表示されて文字を入力できます。

トラブル対処

「カスタムスキャン」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、ユーザーがカスタマーエンジニアの場合、または複合機のスキャンサービスが使用できない状態の場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 カスタマーコンタクトセンターに連絡してください。	このメッセージは、カスタムスキャンを起動するときに情報の取得に失敗した場合、または、ワンタッチアプリの作成や初期値の登録に失敗した場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
スタートできません。 [ページ連写]を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットして[スタート]ボタンを押してください。	このメッセージは、[ページ連写]を指定し、かつ両面原稿送り装置に原稿をセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 [閉じる]を押して前の画面に戻り、原稿を原稿ガラスにセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
宛先表の宛先情報が更新されたため、このワンタッチアプリは使用できません。ワンタッチアプリを作成しなおしてください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに保存した宛先表の宛先が、ワンタッチアプリを実行するときまでに変更されていた場合に表示されます。 変更後の宛先表を使用して、ワンタッチアプリを作成し直してください。
宛先表の宛先情報が更新されました。 カスタムスキャンに保存されている宛先のうち、宛先表で更新された{n}件の宛先を削除しました。 今後このメッセージを表示したくない場合は、初期値を保存しなおしてください。	このメッセージは、初期値保存や、アプリの複製で保存していた宛先表の宛先が、削除されていたり別のサービスのものに変更されていたりしたときに、次のどれかを押すと表示されます。 ・〈スタート〉キー ・[宛先確認] ボタン ・[宛先表] ボタン ・[送信履歴] ボタン ・設定メニュー (⚙️) ボタン 新しい宛先を確認して、初期値を保存し直してください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

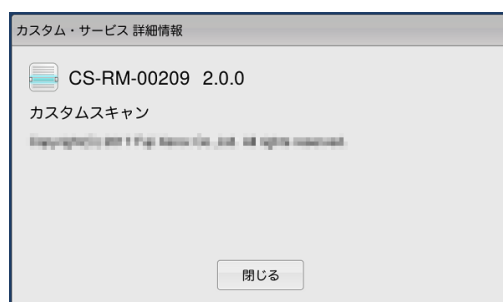
メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたが使用したスキャンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のどちらかの対応をしてください。 ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のどちらかの場合に表示されます。 1. スキャンの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
認証ユーザーのアドレスが設定されていないため、この機能は使用できません。機械管理者に連絡して下さい。	このメッセージは、管理者設定の [送信先アドレスの初期値] を [認証ユーザーのアドレスに固定] に設定している場合に、メールアドレスを設定されていないユーザーが本機能を起動したときに表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーのメールアドレスを登録してください。
[送信先アドレスの初期値] が [認証ユーザーのアドレスに固定] に設定されているため、機械管理者はこの機能を使用できません。	このメッセージは、管理者設定の [送信先アドレスの初期値] を [認証ユーザーのアドレスに固定] に設定している場合に、機械管理者が本機能を起動したときに表示されます。 機械管理者でカスタムスキャンを使用したい場合は、管理者設定の [送信先アドレスの初期値] を「設定しない」に設定してください。
機械管理者が [送信先アドレスの初期値] の設定を [認証ユーザーのアドレスに固定] に変更したため、他のアドレスが保存されたカスタムスキャンのアプリは使用できません。	このメッセージは、管理者設定の [送信先アドレスの初期値] を、[認証ユーザーのアドレスに固定] に設定して、アプリの複製や初期値保存で宛先を保存したカスタムスキャンを起動した場合に表示されます。 [送信先アドレスの初期値] を [設定しない] に変更してください。
未認証時はこの機能を使用できません。	このメッセージは、管理者設定の [送信先アドレスの初期値] を、[認証ユーザーのアドレスに固定] に設定して、未認証モードでカスタムスキャンを起動した場合に表示されます。 [送信先アドレスの初期値] を [設定しない] に変更してください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 「カスタムスキャン」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ (-)〉ボタンを 5 秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「カスタムスキャン」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- スキャン機能を使用できない複合機でも、[カスタムスキャン] をメニューに登録できますが、選択してもスキャンは実行されません。
- 自動原稿送り装置が使用できない場合でも、カスタムスキャン機能で両面原稿送りを設定できますが、片面で実行されます。
- 次の条件で、[読み取り解像度] で [600dpi] を指定すると、メモリー不足によるエラーが発生し、400 dpi でスキャンされることがあります。
 - フルカラー原稿である（[カラーモード] で [自動] を設定し、フルカラー原稿だと認識された場合も含む）
 - ミックスサイズ原稿送りを設定している
 - 両面を設定している
- 追加型アプリケーションである「カスタムスキャン」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまでに時間がかかります。
- 言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、ファイル名は設定できません。
- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。
- 本機能は、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 操作パネルの〈短縮〉キーは使用できません。

[ファイルの送付方法] で「URL 送信」を利用する場合の注意 / 制限事項

- 複合機本体に保存できるファイルの容量には制限があります。スキャン実行時のカラーや解像度の設定によって、保存できる容量は異なります。たとえば、用紙サイズが A4 の文書をフルカラーでスキャンした場合、保存できるファイル容量の目安は次のとおりです。
 - 出力ファイル形式：JPEG、読み取り解像度：600dpi の場合、約 7,000 ページ
 - 出力ファイル形式：JPEG、読み取り解像度：200dpi の場合、約 28,000 ページ

- 複合機本体に保存できるファイルの容量が制限を超えた場合、原稿を読み込んだあとにエラーが発生します。この場合は、次のように対処してください。
 - ほかの方法を指定してスキャンを実行する
[ファイルの送付方法] で [メール添付] を選択するか、サーバー上のフォルダーを宛先に指定して、スキャンします。
 - 複合機本体の空き容量を増やしてからスキャンを実行する
すでに保存されている文書を、メールに記載された URL にアクセスして削除するか、[URL 送信の文書保存期間] が過ぎてファイルが自動で削除されるのを待ちます。文書保存期間の初期値は、24 時間です。
- 複数の宛先にメールを同報送信した場合、1 人がファイルを削除すると、ほかの人がダウンロードできなくなります。

8 カスタムファクス

「カスタムファクス」とは、簡単な手順でファクスを送信できる機能です。

ファクス送信に使用する回線をボタン操作で選択したり、誤送信を防ぐために送信前に宛先を確認したりできます。

ファクスの原稿読み込み中画面に続いて送信中の画面が表示されるので、送信の状況を確認でき、中止したいときも簡単に操作できます。

また、機能の設定値を変更してワンタッチアプリを作成したり、機能の初期値や並び順を変更したものを複製して「カスタムファクス」とは別の機能ボタンを作成したりできます。



注記

・「カスタムファクス」を使用するには、G3 規格のファクス回線が必要です。

ファクスする

「カスタムファクス」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

1 原稿をセットします。



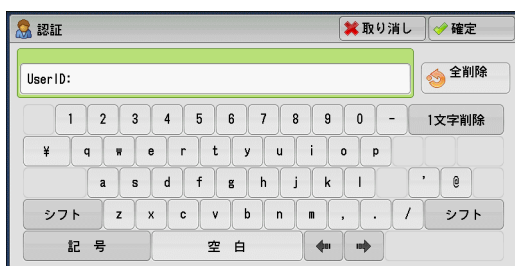
参照

・原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

(1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

(2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 メニュー画面で、[カスタムファクス] を押します。



4 回線を選択する画面が表示された場合は、ファクス送信に使用する回線を選択します。

5 ファクスの宛先を設定します。
一度の操作で、最大 25 件の宛先を設定できます。



補足

・管理者が同報送信を禁止している場合は、複数の宛先を指定できません。



参照

・宛先の設定方法については、「[カスタムファクス] 画面」(P.104) を参照してください。

6 必要に応じて、各項目を設定します。



参照

・各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.104) を参照してください。

7 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



注記

・通常のメニュー画面から本機能を起動した場合、本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

8 [宛先確認] 画面が表示された場合は送信先を確認し、[スタート] を押します。



補足

・誤送信防止のため、宛先を入力したあとに [宛先の再入力] 画面を表示するように設定されている場合があります。この場合は、宛先を再度入力してから、操作を続けてください。

ファクスを中止する

ファクスは、次の画面で中止できます。

- 原稿読み込み中画面
- 原稿送信中画面
- ジョブ確認画面

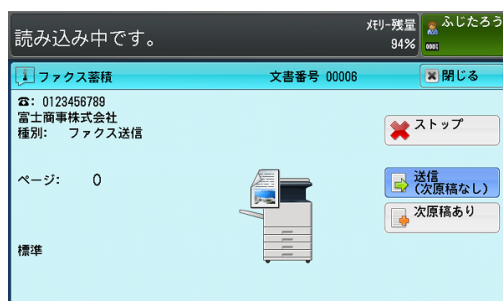
ファクスを中止する手順について説明します。

原稿読み込み中画面、または送信中画面で中止する

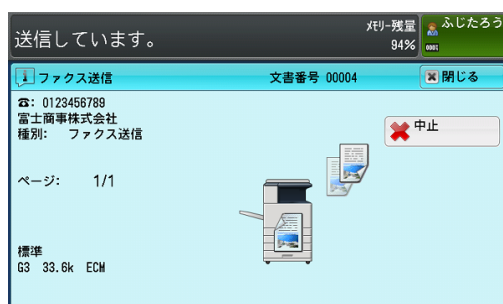
カスタムファクスを実行すると、原稿読み込み中画面に続いて、原稿送信中画面が表示されます。どちらの画面でも、ファクスを中止できます。

操作手順

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの〔ストップ〕を押します。



- 2 〔中止〕を押します。



ジョブ確認画面で中止する

操作手順

- 1 ファクス送信中に〈ジョブ確認〉ボタンを押します。
- 2 中止するジョブを選択します。
- 3 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの〔ストップ〕を押します。
- 4 〔中止〕を押します。

各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

[カスタムファクス] 画面

[カスタムファクス] 画面で設定できる項目について説明します。



宛先確認ボタン

現在設定されている宛先の数が表示されます。

宛先が1件以上設定されているときにこのボタンを押すと、[宛先確認] 画面が表示されます。



参照

・[宛先確認] 画面については、「[宛先確認] 画面」(P.106) を参照してください。

スパナボタン

スパナボタン (🔧) を押すと、管理者設定画面が表示されます。



補足

・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。



参照

・管理者設定画面については、「管理者設定画面について」(P.114) を参照してください。

設定メニューボタン

設定メニューボタン (⚙️) を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、または[初期値保存] を選択できます。

● ワンタッチアプリの作成

現在、[カスタムファクス] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。

選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.109) を参照してください。

● アプリの複製

現在、[カスタムファクス] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムファクス」とは別の機能ボタンを作成できます。

選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「アプリを複製する」(P.111) を参照してください。

- 初期値保存
現在、[カスタムファクス] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。
選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

宛先表示エリア

指定した宛先が表示されます。宛先を入力することもできます。

宛先は、ファクス番号や短縮宛先番号で指定します。

宛先表示エリアを押すと表示されるキーボード、または操作パネルの数字ボタンで直接入力するか、宛先表から選択して入力します。

[次宛先] ボタンを押すと、宛先を追加できます。複数の宛先を指定している場合は、最後に指定した宛先が表示されます。

回線選択ができるように設定されている場合は、選択中の回線が表示されます。



補足

- ・管理者が同報送信を禁止している場合は、[次宛先] ボタンは表示されません。
- ・宛先表から選択した宛先は編集できません。

宛先グループ選択ボタン

このボタンを押すと [宛先グループの選択] 画面が表示され、宛先グループを選択できます。

宛先グループを選択すると、グループに登録されている宛先だけが表示されます。また、グループ内の宛先をすべて選択 / 解除するボタンが表示されます。



補足

- ・宛先グループについては、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

索引検索ボタン

選択した索引文字が、設定されている索引文字と一致する宛先を検索して、宛先表に表示します。

表示言語が日本語の場合はかなと英数字、日本語以外の場合は英数字を選択できます。

英数字で検索する場合、全角も半角も検索の対象になります。



補足

- ・複合機本体に登録されている宛先の索引文字に、英数字およびかな以外の文字を設定している場合は、索引検索が正しく動作しません。

宛先表

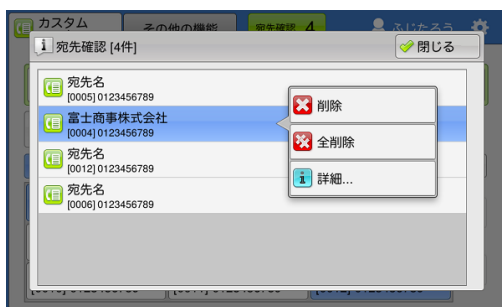
複合機本体に登録されている宛先表が表示され、宛先を選択できます。

宛先グループ選択ボタンで [選択しない] を選択している場合は、索引検索ボタンが表示され、宛先をフィルタリングして表示できます。

宛先グループが選択されている場合は、グループに所属する宛先だけが表示され、索引検索ボタンの代わりに [このグループの宛先をすべて選択] が表示されます。

〔宛先確認〕画面

〔宛先確認〕画面では、選択中の宛先を確認したり削除したりできます。



〔宛先確認〕画面で宛先情報を押すと、次のメニューが表示されます。

- 削除
- 全削除
- 詳細 ...

選択している宛先の詳細情報画面が表示されます。

〔その他の機能〕画面

〔その他の機能〕画面で設定できる項目について説明します。



宛先確認ボタン

現在設定されている宛先の数が表示されます。

宛先が1件以上設定されているときにこのボタンを押すと、〔宛先確認〕画面が表示されます。



参照

- ・〔宛先確認〕画面については、「〔宛先確認〕画面」(P.106)を参照してください。

スパナボタン

スパナボタン () を押すと、管理者設定画面が表示されます。



補足

- ・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。



参照

- ・管理者設定画面については、「管理者設定画面について」(P.114)を参照してください。

設定メニューボタン

設定メニューボタン () を押すと、[ワンタッチアプリの作成]、[アプリの複製]、[初期値保存]、または[リストの編集]を選択できます。

- ワンタッチアプリの作成
現在、[カスタムファクス] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容で、ワンタッチアプリを作成できます。
選択すると、[ワンタッチアプリの作成] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「ワンタッチアプリを作成する」(P.109) を参照してください。

- アプリの複製
現在、[カスタムファクス] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容でアプリを複製し、「カスタムファクス」とは別の機能ボタンを作成できます。
選択すると、[アプリの複製] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「アプリを複製する」(P.111) を参照してください。

- 初期値保存
現在、[カスタムファクス] 画面、および [その他の機能] 画面で設定している内容を、初期値として保存できます。
選択すると、確認画面が表示されるので、[はい (保存する)] を押します。

- リストの編集
[その他の機能] 画面の項目の表示順を変更できます。よく設定する項目を、上に配置しておくとう便利です。
選択すると、[リストの編集] 画面が表示されます。



参照

・詳しくは、「[リストの編集] 画面」(P.64) を参照してください。

回線選択

このボタンを押すと、[回線選択] が表示され、ファクス送信に使用する回線を選択できます。



補足

・内線に設定されている回線は表示されません。

追加原稿

追加原稿が [あり] か [なし] かを選択します。

送信濃度

[こく (+3)]、[こく (+2)]、[こく (+1)]、[ふつう]、[うすく (+1)]、[うすく (+2)]、[うすく (+3)] から、読み込み濃度を 7 段階で調節できます。

両面原稿送り

[片面]、[両面 (左右開き)]、[両面 (上下開き)]、[両面 (表紙のみ片面 / 左右開き)]、[両面 (表紙のみ片面 / 上下開き)] から選択します。

原稿の画質

[文字 / 写真]、[文字]、[写真] から選択します。

送信画質

[標準]、[高画質]、[超高画質 (400dpi)]、[超高画質 (600dpi)] から選択します。

読み取りサイズ

選択すると、「読み取りサイズ」画面が表示されます。

原稿のサイズを選択し、「閉じる」を押してください。

ミックスサイズ原稿送り

いろいろなサイズの原稿を一度に読み取って、それぞれのサイズにスキャンしたり、1つのサイズにそろえてスキャンしたりできます。「する」、「しない」から選択します。

読み取り倍率

選択すると、「読み取り倍率」画面が表示されます。



参照

- ・「読み取り倍率」画面については、「「読み取り倍率」画面」(P.108)を参照してください。

原稿通過スタンプ

原稿通過スタンプを付けるか付けないかを選択します。



補足

- ・複合機にスタンプが搭載されている場合だけ表示されます。

発信元記録

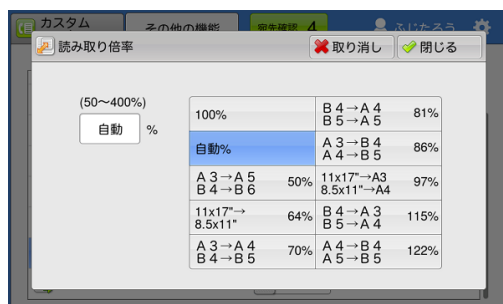
発信元を記録するかしないかを選択します。

「読み取り倍率」画面

「読み取り倍率」画面では、倍率をボタンから選択、または直接入力できます。

ボタンから選択する場合は、「100%」、「自動%」、または定形変倍のボタンから選択します。

直接入力する場合は、操作パネルの〈数字〉ボタンを使って、50～400%の範囲で入力します。



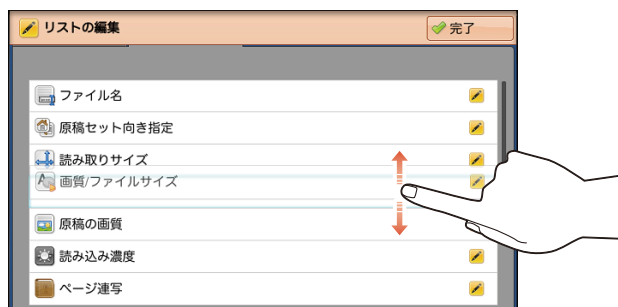
参照

- ・定形サイズ原稿から定形サイズ用紙に拡大 / 縮小コピーをするときのコピー倍率について、詳しくは『ユーザーズガイド』を参照してください。

〔リストの編集〕画面

〔リストの編集〕画面では、〔その他の機能〕画面の項目の表示順を変更できます。

表示順を変更したい項目をロングタップし、そのまま移動したい位置にドラッグ & ドロップすると、順番を入れ替えることができます。



ワンタッチアプリを作成する

「カスタムファクス」の機能の設定値を変更し、ワンタッチアプリを作成できます。



補足

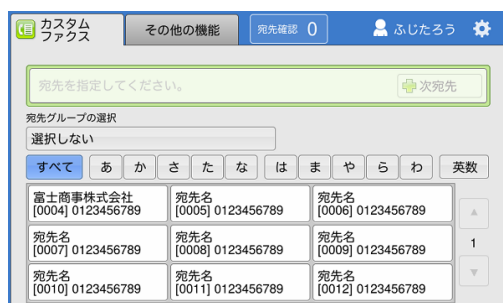
- ワンタッチアプリは、通常のメニュー画面上でも作成できますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

操作手順

- 1 〔カスタムファクス〕画面、または〔その他の機能〕画面で、作成したいワンタッチアプリの機能を設定します。



- 2  を押します。



3 [ワンタッチアプリの作成] を選択します。



4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- ・ 最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・ [名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および [説明] で、「\」（半角）、「-」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。
- ・ [ダイレクトスタート] は [しない] 固定で変更できません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・ 作成したワンタッチアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・ 作成したワンタッチアプリの、表示名、アイコン、機能の説明は変更できます。

[ワンタッチアプリの作成] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

ダイレクトスタート

ワンタッチアプリは動作についての設定です。

カスタムファクスの場合は、[しない] 固定で変更できません。

機能ボタンを押すと、機能の概要を説明する画面が表示されるので、送信先を確認します。その後、〈スタート〉ボタンを押してジョブを開始します。

アプリ

ワンタッチアプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

アプリを複製する

「カスタムファクス」の、機能の初期値や並び順を変更したものを複製し、「カスタムファクス」とは別の機能ボタンを作成できます。



補足

- ・アプリの複製は、通常のメニュー画面上でも作成できますが、作成された機能ボタンは「カスタムメニュー」画面に配置されます。

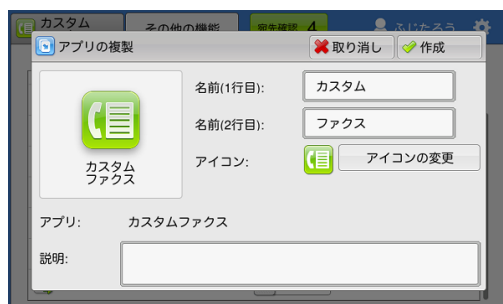
操作手順

- 1 「カスタムファクス」画面、または[その他の機能]画面で、作成したいアプリの機能を設定します。

- 2  を押します。

- 3 「アプリの複製」を選択します。

4 必要に応じて、各項目を設定します。



補足

- ・最長 2 行（1 行あたり全角で 8 文字（半角で 16 文字）以内）の名前を設定できます。
- ・[名前（1 行目）]、[名前（2 行目）]、および[説明]で、「¥」（半角）、「ー」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

5 [作成] を押します。



補足

- ・作成したアプリは、「カスタムメニュー」画面の、機能ボタンが配置されていないエリアで最も先頭（1 ページ目の左上）に近い箇所に配置されます。
- ・作成したアプリの表示名、アイコン、および機能の説明は変更できます。

[アプリの複製] 画面

名前（1 行目）

表示されるキーボードで、1 行目に表示される文字列を編集できます。

名前（2 行目）

表示されるキーボードで、2 行目に表示される文字列を編集できます。

アイコン

現在設定されているアイコンが表示されます。

[アイコンの変更] を押すと、[アイコンの変更] 画面が表示されます。変更したいアイコンを選択し、[決定] を押してください。

アプリ

アプリの種別が表示されます。この項目は編集できません。

説明

表示されるキーボードで、機能の説明を入力します。

管理者設定

機械管理者は、カスタムファクスの宛先表の登録や、誤送信防止のための設定など、各機能を設定できます。



注記

- ・カスタム UI パッケージをインストールしただけでは、ユーザーはカスタムファクスの機能を利用できません。カスタムファクスの利用を開始するときは、誤送信防止やセキュリティの設定などを確認してから、[利用開始] を実行してください。

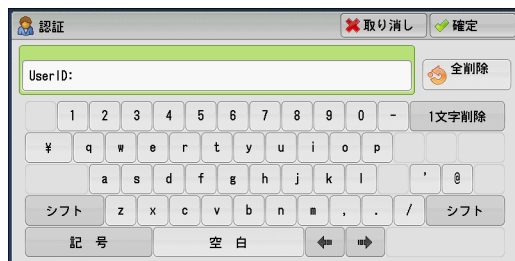


補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[カスタムファクス] 画面、または [その他の機能] 画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

- 3 メニュー画面で、[カスタムファクス] を押します。



- 4  を押します。



- 5 必要に応じて、各項目を設定します。



- 6 [閉じる] を押します。

管理者設定画面について

ここでは、管理者設定画面で設定できる項目について説明します。



補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[カスタムファクス] 画面、または [その他の機能] 画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

宛先の再入力

ファクス送信時に宛先の再入力をするかしないかを選択します。

同報指示

ファクスの同報送信を許可するか、禁止するかを設定します。

宛先指示方法の制限

宛先を指示する方法を、[制限しない]、[登録宛先のみ許可] から選択します。

送信前の宛先確認画面の表示

ファクス送信前に宛先確認画面を表示するかどうかを、[しない]、[常にする]、[複数宛先時のみする] から選択します。

ジョブ実行後の設定値の保持

ジョブ実行後に設定値を保持するかどうかを選択します。

回線選択の表示

[その他の機能] 画面に、[回線選択] を表示するかどうかを選択します。



補足

- ・[しない] を選択した場合、[アプリ起動時の回線選択画面の表示] も自動的に [しない] に変更されます。

アプリ起動時の回線選択画面の表示

カスタムファクスを起動したときに、[回線選択] 画面を表示するかどうかを設定します。



補足

- ・[回線選択の表示] が [しない] に設定されている場合、この項目は [しない] に固定されます。

回線名の登録

このボタンを押すと表示される [回線名の登録] 画面で、複合機に搭載されている回線の表示名を設定します。

回線名表示エリアを押すとキーボードが表示され、回線名を入力できます。

回線名は、13 文字まで入力できます。

トラブル対処

「カスタムファクス」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、ユーザーがカスタマーエンジニアの場合、または複合機のファクスサービスが使用できない状態の場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。	このメッセージは、何らかの理由で本機能を使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
宛先表の宛先情報が更新されました。 カスタムファクスに保存されている宛先のうち、宛先表で更新された{n}件の宛先を削除しました。 今後このメッセージを表示したくない場合は、初期値を保存しなおしてください。	このメッセージは、初期値保存や、アプリの複製で保存していた宛先表の宛先が、削除されていたり別のサービスのものに変更されていたりしたときに、次のどれかを押すと表示されます。 ・〈スタート〉キー ・[宛先確認] ボタン ・宛先表のボタン ・設定メニュー () ボタン 新しい宛先を確認して、初期値を保存し直してください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のどちらかの場合に表示されます。 1. ファクスの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの[サービスの利用制限]で、[ファクス]の制限を解除してください。 2の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、ファクスの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの[サービスの利用制限]で、[ファクス]の制限を解除してください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 「カスタムファクス」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ (-)〉ボタンを 5 秒以上押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。



- 3 「閉じる」を押します。

注意 / 制限事項

「カスタムファクス」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- ファクス機能を搭載していない複合機でも、[カスタムファクス]をインストールできますが、カスタムファクスの機能は使用できません。
- 通信モードが「G3」以外の短縮宛先番号、および内線、Fコード通信、親展通信、中継同報、課金情報が設定されている短縮宛先番号は使用できません。これらの短縮宛先番号は宛先表に無効な状態で表示されます。これらの短縮宛先番号を入力しようとすると警告が表示され、入力できません。
- 国際通信には対応していません。国際通信に該当する短縮宛先番号は選択できません。
- 通常のファクス送信だけが対象です。ダイレクトファクス、インターネットファクス、IP ファクス（SIP）では使用できません。
- 追加型アプリケーションである「カスタムファクス」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- 管理者画面で「宛先の再入力」が「する」に設定されると、「初期値保存」や「アプリの複製」で保存されている宛先が表示できなくなります。また、ワンタッチアプリは使用できません。

9 プライベートプリント（一括出力）

「プライベートプリント（一括出力）」とは、認証ユーザーがプライベートプリントとして蓄積している、まだプリントしていない文書を、一度にプリントする機能です。

通常のプライベートプリントのように、蓄積文書のリストからプリントする文書を選択する必要がなく、メニュー画面のボタンを押すだけでプリントがスタートします。



補足

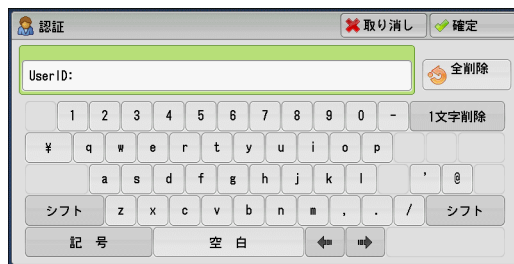
・この機能は、認証機能を利用している場合のみ利用できます。

プリントする

「プライベートプリント（一括出力）」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

- 1 お使いのコンピューターのプリンタードライバーから、プライベートプリントを指示します。
- 2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定]を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

- 4 メニュー画面で、[プライベートプリント（一括出力）] を押します。
蓄積されていた、まだプリントしていない文書がすべてプリントされ、メニュー画面に戻ります。



注記

・本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。



補足

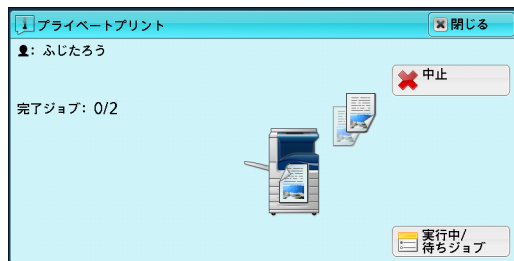
- ・正常にプリントされた文書は削除されます。
- ・[ジョブ確認] 画面やジョブ履歴レポートでは、プライベートプリントとして扱われます。

プリントを中止する

プリントを中止する手順について説明します。

操作手順

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。
- 2 [中止] を押します。



管理者設定

機械管理者は、蓄積された文書を、日付の古い順にプリントするか、新しい順にプリントするかを設定できます。

操作手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

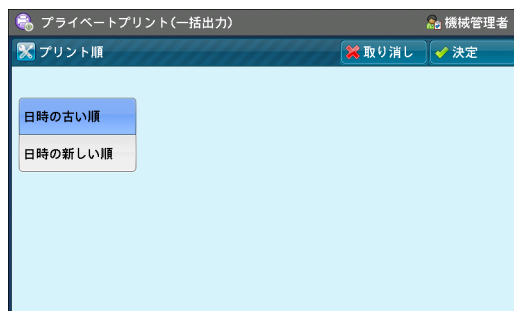
- 3 メニュー画面で、[プライベートプリント（一括出力）] を押します。



4 「プリント順」を押します。



5 「日時の古い順」、または「日時の新しい順」を選びます。



6 「決定」を押します。

7 「閉じる」を押します。

トラブル対処

「プライベートプリント（一括出力）」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
文書がありませんでした。	このメッセージは、まだプリントしていないプライベートプリント文書がない場合に表示されます。 ジョブの送信が完了しているか、確認してください。 [再試行] を押すと、再び文書の取得を開始します。
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、プリントの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[プリンター] の制限を解除してください。
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「プライベートプリント（一括出力）」が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはカラープリントが禁止されているため、カラーの文書はプリントできません。 文書リストで確認してください。	このメッセージは、カラープリントを禁止されたユーザーが、カラー文書を蓄積している場合に表示されます。 [文書リストを表示] を押すと、通常のプライベートプリント画面が表示されます。文書の一覧からカラー文書を削除すると、プリントできます。 また、カラーの文書をプリントする場合は、機械管理者が、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[プリンター] の [白黒のみ許可] を解除してください。
スタートできません。 あなたが使用したプリントの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのプリントの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、プリントの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[プリンター] の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 1. プrintの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[プリンター] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ確認画面で確認してください。	このメッセージは、ジョブの読み込み中、またはジョブの停止中に本機能を起動した場合に表示されます。 [閉じる] を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。 ジョブの読み込み中の場合は、しばらくしてからやり直してください。ジョブの停止中の場合は、先に停止中のジョブをスタートさせるか、または削除してからやり直してください。
ユーザー認証が運用されていないため、この機能は使用できません。	このメッセージは、認証機能が設定されていない場合に表示されます。 本体認証または外部認証を設定してください。認証機能を設定しない場合は、本機能は使用できませんので、機能ボタンを削除してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意 / 制限事項

「プライベートプリント（一括出力）」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- フィニッシャーが何らかの理由で使用できない場合、プリンタードライバーで、フィニッシャーが必要な機能を指定すると、自動的にそれらの指定が解除され、プリントされます。
たとえば、ホチキスカートリッジが交換時期である場合、ホチキスを指定すると、自動的にホチキスの指定は解除され、プリントされます。
- 本機能で一度にプリントできるのは、最大 100 文書です。最新の文書から数えて 101 番目以降の文書については、プリントされません。
- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 本機能は、[認証方式の設定] を [本体認証]、または [外部認証] に設定している場合に利用できます。[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合は、通常のプライベートプリントをご利用ください。
- 本機能が、何らかの理由で正常に実行できず、エラー画面が表示された場合、ユーザーが何も操作を行わないと、自動リセット後の画面に移行し、認証は解除されます。
このとき、自動リセット後の画面を [メニュー] に設定しておらず、かつアクセス制御で [デバイスへのアクセス] を [制限する] に設定していないと、次のユーザーが認証したタイミングで、エラーが起こったジョブが実行されてしまうことがあります。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、プリントの利用を制限していても、「プライベートプリント（一括出力）」が利用可能な状態となります。

10 プライベートプリント（かんたん確認）

「プライベートプリント（かんたん確認）」とは、見やすい画面表示で、プライベートプリント文書を簡単に確認できるようにした機能です。

また、認証ユーザーがコンピューターからプライベートプリントを指示したときのプリント設定を、プリント時に変更したり、プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を、再度プリントしたりできます。



補足

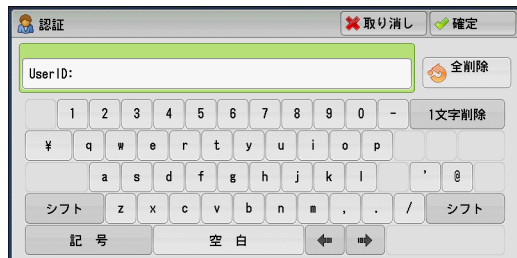
- ・この機能は、認証機能を利用している場合のみ利用できます。
- ・プリント時にプリント設定を変更したり、プリント済み文書を再度プリントしたりするためには、管理者の設定が必要です。詳しくは、「管理者設定」（P.127）を参照してください。

プリントする

「プライベートプリント（かんたん確認）」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

- 1 お使いのコンピューターのプリンタードライバーから、プライベートプリントを指示します。
- 2 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 3 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

- 4 メニュー画面で、[プライベートプリント（かんたん確認）] を押します。



5 プリントする文書を選択します。



仕上がりイメージアイコン



補足

- ・一度に、複数の文書を選択できます。
- ・選択を解除する場合は、解除したい文書をもう一度選択します。



参照

- ・[プライベートプリント (かんたん確認)] 画面が表示されたときに、文書を選択した状態にするかどうかを設定できます。詳しくは、「文書選択の初期設定」(P.128) を参照してください。

6 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



注記

- ・本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。



補足

- ・[ジョブ確認] 画面やジョブ履歴レポートでは、プライベートプリントとして扱われます。
- ・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。

[プライベートプリント (かんたん確認)] 画面

スパナボタン

スパナボタン () を押すと、管理者設定画面が表示されます。



参照

- ・管理者設定画面については、「管理者設定」(P.127) を参照してください。



補足

- ・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

設定ボタン

設定メニューボタン () を押し、[文書の表示順] を選択すると、[文書の表示順] 画面が表示されます。

文書の表示順を [日時の新しい順]、[日時の古い順] から選択し、[決定] を押してください。

すべて選択

一覧にあるすべての文書を選択します。

削除

選択中の文書を削除します。

更新

最新の文書が表示されます。

仕上がりイメージアイコン

各文書の、仕上がりイメージを表示します。

このアイコンを押すと、コンピューターで行ったプリント設定の詳細を確認したり、設定を変更したりできます。



参照

- ・プリント設定の変更方法については、「プリント設定の変更」（P.125）を参照してください。



注記

- ・PostScript® プリンタードライバーからプリントを指示した場合、[まとめて 1 枚] を設定すると、用紙の向きや画像の配置が、仕上がりイメージアイコンに正しく反映されないことがあります。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていますが、原稿に合わせて、正しくプリントします。
- ・Multi-model Print Driver 2 からプリントを指示した場合、仕上がりイメージアイコンに、[パンチ] の設定は反映されません。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていますが、プリンタードライバーで設定したとおり、パンチ穴を開けてプリントします。



補足

- ・文書のプリント設定によっては、仕上がりイメージアイコンの左端に、次のアイコンが表示される場合があります。
 - アイコン（制限付きでプリントできる文書）
お使いの複合機は、このアイコンが付いている文書のプリント設定に対応していません。仕上がりイメージアイコンを押すと、対応していない設定の詳細情報が表示されます。
 - アイコン（プリントできない文書）
お使いの複合機は、このアイコンが付いている文書をプリントできません。仕上がりイメージアイコンを押すと、プリント設定の変更画面に詳細情報が表示されます。
- ・プリント設定を変更できるようにするには、管理者の設定が必要です。詳しくは、「管理者設定」（P.127）を参照してください。なお、プリント設定を変更できるように設定すると、プリントを開始するまでの時間が長くなります。

文書一覧

各文書の文書名、ページ数、部数、蓄積日時が表示されます。



補足

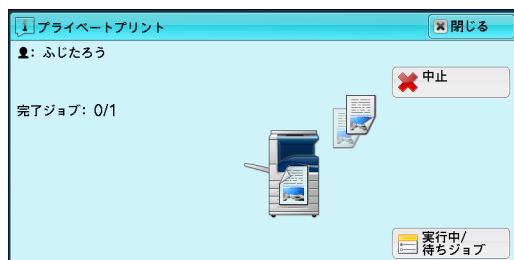
- ・文書は、最大 100 件まで表示されます。

プリントを中止する

プリントを中止する手順について説明します。

操作手順

- 1 操作パネルの〈ストップ〉ボタンを押します。
- 2 [中止] を押します。



補足

- ・文書の一覧で、複数の文書を選択してプリントを開始した場合、プリントを中止すると、中止した文書が一覧に表示されないことがあります。しばらく待ってから[更新]を押すと、文書が表示されます。

プリント設定の変更

コンピューターで指示したプリントの設定内容を変更する手順について説明します。



補足

- ・管理者の設定によっては、プリントの設定は変更できません。設定については、「管理者設定」(P.127)を参照してください。
- ・プリント設定を変更すると、文書の一覧で他の文書を選択している場合、それらの文書の選択は解除されます。

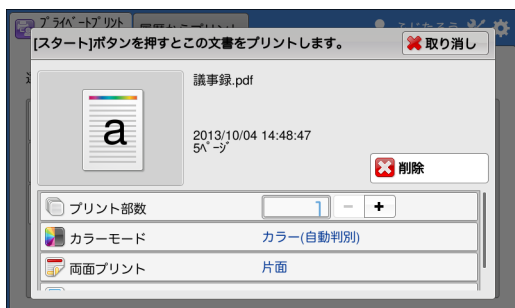
操作手順

1 プrintの設定内容を変更したい文書の、仕上がりイメージアイコンを押します。



仕上がりイメージアイコン

2 任意の項目を設定します。



補足

- ・カラープリントが禁止されたユーザーが、カラープリント文書を選択した場合、「[カラーモード] の設定を変更してください」と表示され、プリントできません。[カラーモード] で、プリント可能なカラーモードに変更すると、プリントできます。

3 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



注記

- ・本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。



補足

- ・[ジョブ確認] 画面やジョブ履歴レポートでは、プライベートプリントとして扱われます。

プリント設定の変更画面

プリント部数

部数を変更できます。部数は、9999 部まで入力できます。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを選択したあと、表示された数字ボタン、または操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する



補足

- ・入力を間違えた場合は [C]、または操作パネルの〈クリア (C)〉ボタンを押して、入力し直します。入力後 [OK] を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- [+], [-] を押して入力する

カラーモード

カラー文書を選択した場合、[カラー（自動判別）]、[白黒] から選択できます。



補足

- ・お使いの複合機がモノクロ機の場合、または白黒文書の場合は、設定できません。

両面プリント

[片面]、[両面（短辺とじ）]、[両面（長辺とじ）] から選択できます。



補足

- ・文書が 1 ページの場合は、両面に変更できません。

まとめて 1 枚

コンピューターでまとめて 1 枚を指示した場合に、まとめて 1 枚の設定内容が表示されます。この項目は変更できません。

ホチキス

コンピューターでホチキスを指示した場合に、[あり]、または [中とじ] が表示されます。この項目は変更できません。

パンチ

コンピューターでパンチを指示した場合に、[あり] と表示されます。この項目は変更できません。

プリント済み文書の再利用

[履歴からプリント] 画面から、プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を選択し、プリントする手順について説明します。



補足

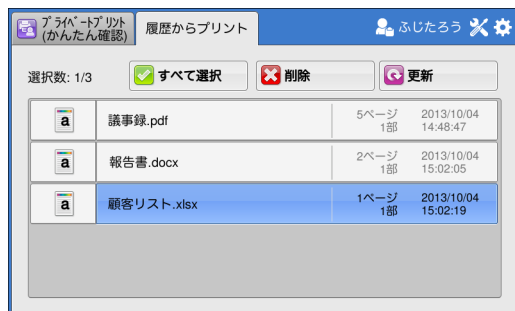
- ・管理者設定画面での設定によっては、この画面は表示されません。設定については、「[履歴からプリント] の使用」(P.128) を参照してください。

操作手順

1 [履歴からプリント] を押します。



2 「履歴からプリント」画面で、プリントする文書を選択します。



参照

- ・「履歴からプリント」画面で表示される項目や、操作方法については、「プライベートプリント（かんたん確認）」画面と同じです。詳しくは、「プリントする」（P.122）を参照してください。

3 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

注記

- ・本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

補足

- ・「ジョブ確認」画面やジョブ履歴レポートでは、プライベートプリントとして扱われます。
- ・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。

管理者設定

機械管理者は、文書選択の初期設定や、文書の表示順を設定できます。

補足

- ・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、文書の一覧画面で  ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

操作手順

1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

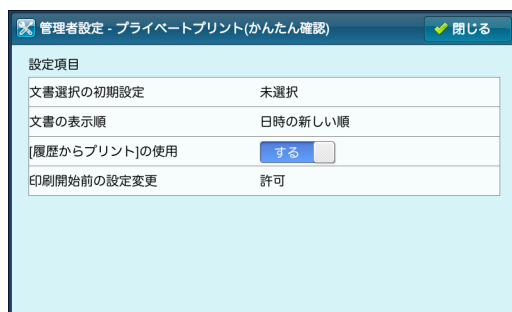
3 メニュー画面で、[プライベートプリント（かんたん確認）]を押します。



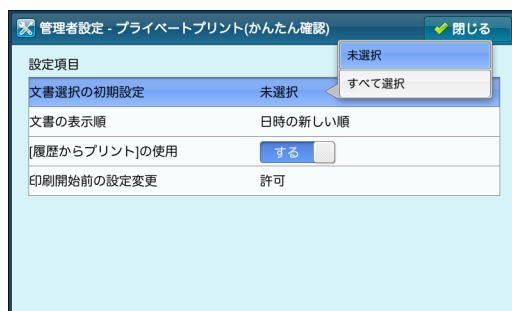
4 設定する項目を選択します。



・ここでは「文書選択の初期設定」を選択した例で説明します。



5 任意の項目を選択します。



6 [閉じる]を押します。

設定できる項目

文書選択の初期設定

文書の一覧画面を表示するときに、文書が選択された状態にするかどうかを設定します。
[未選択]、[すべて選択] から選択します。

文書の表示順

文書の表示順を [日時の新しい順]、[日時の古い順] から選択します。

[履歴からプリント]の使用

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書の履歴を保存し、再利用するかどうかを設定します。

[する] を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除されず、[履歴からプリント] 画面から再度プリントできます。[しない] を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除され、[履歴からプリント] 画面は表示されません。



参照

・[履歴からプリント] 画面については、「プリント済み文書の再利用」(P.126) を参照してください。

印刷開始前の設定変更

コンピューターで指示したプリントの設定内容を、変更できるようにするかどうかを設定します。

[印刷開始前の設定変更] 画面が表示されるので、[禁止]、[許可] から選択します。

[許可] を選択すると、複合機の再起動の確認画面が表示されるので、[はい（再起動する）] を押してください。



補足

・[許可] に設定すると、プリントを開始するのに時間がかかります。

トラブル対処

「プライベートプリント（かんたん確認）」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
ユーザー認証が運用されていないため、この機能は使用できません。	このメッセージは、認証機能が設定されていない場合に表示されます。 本体認証または外部認証を設定してください。認証機能を設定しない場合は、本機能は使用できませんので、機能ボタンを削除してください。
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ確認画面で確認してください。	このメッセージは、ジョブの読み込み中、またはジョブの停止中に本機能を起動した場合に表示されます。 [閉じる] を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。 ジョブの読み込み中の場合は、しばらくしてからやり直してください。ジョブの停止中の場合は、先に停止中のジョブをスタートさせるか、または削除してからやり直してください。
スタートできません。 あなたが使用したプリントの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのプリントの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 1. プリントの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[プリンター] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。

メッセージ	原因 / 対処
プリント開始できません。	このメッセージは、本機能の情報取得に失敗した場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
プリントを開始できません。 この文書は処理中です。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。	このメッセージは、処理中の文書を指定した場合に表示されます。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。 それでも状態が改善されないときは、複合機の設定が正しくない可能性があります。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
指定した文書はありません。	このメッセージは、指定した文書がすでにプリント実行されたか、削除された場合に表示されます。 [閉じる]を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。
文書を削除できません。 この文書は処理中です。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。	このメッセージは、処理中の文書を指定したため、文書が削除できない場合に表示されます。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。 それでも状態が改善されないときは、複合機の設定が正しくない可能性があります。弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
設定を変更できませんでした。 もう一度[決定]を押してください。	このメッセージは、設定内容が正しくない場合、または複合機内部でエラーが発生した場合に表示されます。 設定内容が正しいか、確認してください。設定内容に問題なければ、複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部に異常が発生しました。 テレフォンセンターに連絡してください。	このメッセージは、お使いの複合機が異常を検知した場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 「プライベートプリント（かんたん確認）」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ (-)〉ボタンを5秒以上押します。

2 コンテンツ情報を確認します。



3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「プライベートプリント（かんたん確認）」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- フィニッシャーが何らかの理由で使用できない場合、本機能でフィニッシャーが必要な機能を指定すると、自動的にそれらの指定が解除され、プリントされます。
たとえば、ホチキスカートリッジが交換時期である場合、ホチキスを指定すると、自動的にホチキスの指定は解除され、プリントされます。
- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。ただし、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）など、上記以外の機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 本機能は、[認証方式の設定] を [本体認証]、または [外部認証] に設定している場合に利用できます。[認証方式の設定] を [認証しない] に設定し、IC Card Gate（関連商品）、または IC カードリーダー（オプション）を接続している場合は、通常のプライベートプリントをご利用ください。
- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、プリントの利用を制限していても、「プライベートプリント（かんたん確認）」が利用可能な状態となります。
- 追加型アプリケーションである「プライベートプリント（かんたん確認）」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- [[履歴からプリント] の使用] を [する] に設定した場合、お使いの複合機で、蓄積された文書を自動的に削除する設定にしていないと、過去にプリントした文書が、一覧に大量に表示されてしまいます。
機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [保存文書設定] > [蓄積プリント文書の保存設定] で、文書の保存期間などを設定しておくことをお勧めします。
- 文書のプリント中、および削除中に、自動リセットされてジョブが途中で中止されてしまうことがあります。

その場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [仕様設定] > [共通設定] > [システム時計 / タイマー設定] > [自動リセット] で、リセットされるまでの時間を長くするか、または [しない] を選択してください。

11 ワンタッチアプリ

ワンタッチアプリとは、原稿をセットし、メニュー画面のボタンを押すだけでジョブがスタートする機能ボタンです。また、ボタンを押した直後に、機能の概要を説明する画面を表示させ、誤操作を防ぐこともできます。

ワンタッチアプリは、「カスタムコピー」、「カスタムボックス保存」、「カスタムスキャン」、または「カスタムファクス」をもとに作成できます。よく使う設定でワンタッチアプリを作成しておく、急ぎのコピーやスキャンに便利です。



補足

- ・ワンタッチアプリを作成する方法に関しては、機能ごとの説明の「ワンタッチアプリを作成する」を参照してください。

ここでは、ワンタッチアプリに関する、次の項目について説明します。

ワンタッチアプリを実行する

ワンタッチアプリを実行する方法を説明します。

操作手順

1 原稿をセットします。



参照

- ・原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

(1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

(2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- ・パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。
- ・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 実行するワンタッチアプリを押します。



アイコンに  が表示されているワンタッチアプリの場合は、ジョブが実行されます。
アイコンに  が表示されていないワンタッチアプリの場合は、機能の概要を説明する画面が表示されます。



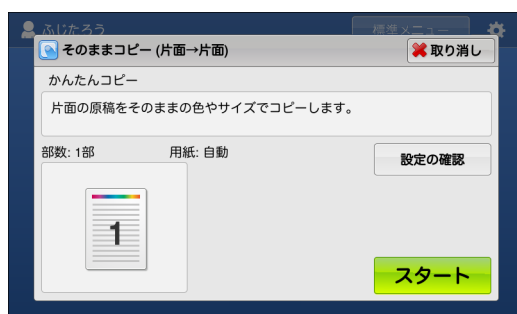
補足

- ・  の設定については、「メニューの編集 / 削除 / 並べ替え - 機能ボタンの編集」(P.28) を参照してください。

機能の概要を説明する画面が表示された場合

操作手順

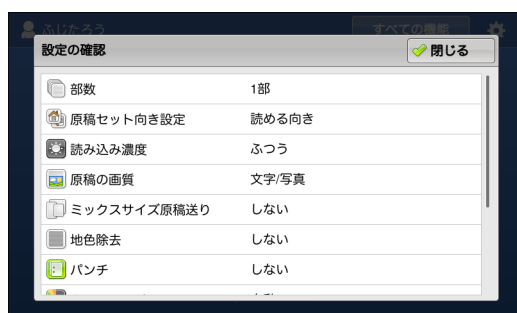
1 [スタート]、または操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。



ジョブが実行されます。

設定の確認

[設定の確認]を押すと、[設定の確認]画面が表示され、ワンタッチアプリの設定を確認できます。



補足

- ・ この画面では、設定の変更はできません。

トラブル対処

ワンタッチアプリをお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由でコピー、またはスキャンが使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
スタートできません。 この機能の上限ページ数に達しています。	このメッセージは、複合機のコピーの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [機械管理者のコピー集計確認] で、コピーの累積ページ数をリセットしてください。
スタートできません。 ジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。	このメッセージは、ジョブの実行中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、しばらくしてからやり直してください。
読み込み中または停止中のジョブがあるためスタートできません。 ジョブ確認画面で確認してください。	このメッセージは、ジョブの読み込み中、またはジョブの停止中に本機能を起動した場合に表示されます。 [メニューに戻る] を押してメニュー画面に戻り、操作パネルの〈ジョブ確認〉ボタンを押して、ジョブを確認してください。ジョブの読み込み中の場合は、しばらくしてからやり直してください。ジョブの停止中の場合は、先に停止中のジョブをスタートさせるか、または削除してからやり直してください。
この機能は使用できません。 次の理由が考えられます。 ・ 指定された親展ボックスが削除された。 ・ 指定された親展ボックスへのアクセス権が制限された。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに設定した親展ボックスが、使用できない場合に表示されます。 指定された親展ボックスが削除されていないか、および指定された親展ボックスへのアクセス権が変更されていないか確認してください。
この機能は使用できません。 機械管理者に連絡してください。 ワンタッチアプリ作成時とは異なる言語を表示しています。 ワンタッチアプリを作成した際に表示していた言語に切り替えて使用してください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したあと、機械管理者が言語設定を変更した場合に表示されます。 機械管理者は、ワンタッチアプリを作成したときの言語設定に戻してください。
スタートできません。 選択されている用紙は使用できません。 ほかの用紙を選択してください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに設定した用紙トレイに、用紙がセットされていない場合に表示されます。 用紙トレイに用紙をセットしてください。
スタートできません。 [ページ連写] を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットして[スタート] ボタンを押してください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに [ページ連写] を設定し、原稿を原稿送り装置にセットしている場合に表示されます。 [ページ連写] を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットしてください。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 指定されたトレイにセットされた用紙では両面コピーできません。両面コピーできる種類の用紙をセットしてください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに、両面と用紙トレイを設定したが、用紙トレイにセットされた用紙が、両面コピーできない種類である場合に表示されます。 両面コピーできる種類の用紙と交換してください。
スタートできません。 指定されたトレイにセットされた用紙にはホチキスできません。ホチキスできる種類の用紙をセットしてください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに、ホチキスと用紙トレイを設定したが、用紙トレイにセットされた用紙が、ホチキス留めできない種類である場合に表示されます。 ホチキス留めできる種類の用紙と交換してください。
スタートできません。 指定されたトレイにセットされた用紙にはパンチできません。パンチできる種類の用紙をセットしてください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに、パンチと用紙トレイを設定したが、用紙トレイにセットされた用紙が、パンチできない種類である場合に表示されます。 パンチできる種類の用紙と交換してください。
スタートできません。 指定されたトレイにセットされた用紙にはホチキスできません。ホチキスできるサイズの用紙をセットするか、ホチキスできる向きに用紙をセットしなおしてください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに、ホチキスと用紙トレイを設定したが、用紙トレイにセットされた用紙がホチキス留めできないサイズである場合、またはホチキス留めできない向きに用紙をセットしている場合に表示されます。 ホチキス留めできるサイズの用紙と交換するか、またはホチキス留めできる向きに用紙をセットし直してください。
スタートできません。 指定されたトレイにセットされた用紙にはパンチできません。パンチできるサイズの用紙をセットするか、パンチできる向きに用紙をセットしなおしてください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに、パンチと用紙トレイを設定したが、用紙トレイにセットされた用紙がパンチできないサイズである場合、またはパンチできない向きに用紙をセットしている場合に表示されます。 パンチできるサイズの用紙と交換するか、またはパンチできる向きに用紙をセットし直してください。
スタートできません。 指定されたトレイの用紙は排出トレイに出力できません。排出トレイに出力できるサイズの用紙をセットするか、機械管理者に連絡して排出トレイの指定を変更してください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに用紙トレイを設定したが、用紙トレイにセットされた用紙が、機械管理者が指定した排出トレイから排出できないサイズである場合に表示されます。 排出トレイに出力できるサイズの用紙と交換してください。 または、機械管理者が [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [コピー設定] > [コピー機能設定初期値] > [排出先] で、排出トレイを変更してください。
スタートできません。 実行しようとしている複合機にはフィニッシャーがないため指定された製本ができません。中とじフィニッシャーを取り付けて実行するか、製本設定を解除したアプリに作り直してください。	このメッセージは、ワンタッチアプリを作成したときに、製本を指定したが、お使いの複合機にフィニッシャーが装着されていない場合に表示されます。 お使いの複合機にフィニッシャーを取り付けるか、または製本を指定していないアプリを作成し直してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、コピー、またはスキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー]、または [スキャナー] の制限を解除してください。
スタートできません。 機械管理者が設定した上限ページ数に達しています。	このメッセージは、ユーザーのコピー、またはスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累積ページ数のリセット] で、累積ページ数をリセットする ・ [仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されているか、ユーザー認証されていません。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 1. コピー、またはスキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した 2. 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[コピー]、または [スキャナー] の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[集計管理] > [ユーザー登録 / 集計確認] で登録してください。
スタートできません。 このボタンは機械管理者が削除したため使用できません。 メニューからボタンを削除してください。	このメッセージは、すでに機械管理者が削除したワンタッチアプリを、ユーザーが起動した場合に表示されます。 機械管理者が削除したワンタッチアプリは使用できませんので、メニュー画面から機能ボタンを削除してください。

注意 / 制限事項

ワンタッチアプリを利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- ワンタッチアプリは、「カスタムメニュー」画面上に作成し、利用できます。通常のメニュー画面上では利用できません。
- 本機能は、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 認証機能を利用していない場合、本機能が、何らかの理由で正常に実行できず、エラー画面が表示されたあと、ユーザーが何も操作を行わないと、自動リセット後の画面に移行します。
このとき、自動リセット後の画面を [メニュー] に設定していないと、再度ジョブの実行が指示され、エラーが繰り返し表示されます。
- コピーのワンタッチアプリの場合、お使いの複合機での排出先の設定によっては、エラーが起り、出力できないことがあります。その場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [コピー設定] > [コピー機能設定初期値] > [排出先] で、適切な排出先を初期値に設定してください。

- コピーのワンタッチアプリで、用紙トレイを指定している場合、あとから用紙トレイの中の用紙を別のサイズに変更すると、ワンタッチアプリ作成時の意図と異なるサイズの用紙に出力されてしまいます。用紙トレイにセットする用紙のサイズは、なるべく変更しないことをお勧めします。

認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能は、お使いの複合機に IC Card Gate (関連商品)、または IC カードリーダー (オプション) を接続している場合も利用できます。
- 本機能が、何らかの理由で正常に実行できず、エラー画面が表示された場合、ユーザーが何も操作を行わないと、自動リセット後の画面に移行し、認証は解除されます。

このとき、自動リセット後の画面を [メニュー] に設定しておらず、かつアクセス制御で [デバイスへのアクセス] を [制限する] に設定していないと、次のユーザーが認証したタイミングで、エラーが起こったジョブが実行されてしまうことがあります。

- 認証モードが [外部認証] の場合、[認証システム] を [Authentication Agent] 以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピー、およびスキャンの利用を制限していても、ワンタッチアプリが利用可能な状態となります。

12 設定情報のエクスポート / インポート

エクスポート / インポートの概要

「カスタム UI パッケージ / スキャンオート設定複製」を利用すると、本パッケージの各機能の設定情報をコンピューターに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。

設定をコンピューターに保存することを「エクスポート」、保存した設定を複合機に複製することを「インポート」と呼びます。

「カスタム UI パッケージ / スキャンオート設定複製」は、弊社の公式サイトからダウンロードできます。複合機にインストールして使用します。

「カスタム UI パッケージ / スキャンオート設定複製」のインストールについては『複合機追加型アプリケーションインストールガイド』、操作方法については、『カスタム UI パッケージ / スキャンオート設定複製 取扱説明書』を参照してください。

複製できる設定情報

エクスポート / インポートで複製できる設定情報は、次のとおりです。

- カスタムメニュー

管理者設定、機能ボタンの配置と名前、表示言語

- カスタムコピー、カスタムボックス保存、カスタムスキャン、カスタムファクス

管理者設定、保存した初期値、アプリの複製およびワンタッチアプリで作成した機能ボタン

- プライベートプリント（一括出力）、プライベートプリント（かんたん確認）

管理者設定



補足

- ・ 認証機能を利用している場合、各ユーザーが設定した初期値や機能ボタンなども複製されます。
- ・ かんたん UI パッケージ 2 の設定情報は複製できません。カスタム UI パッケージをインストールし、バージョンアップしたあとで実施してください。

注意 / 制限事項

設定情報のエクスポート / インポートを利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

かんたん UI パッケージ 2.x の設定情報を複製する場合

かんたん UI パッケージ 2.x の設定情報をエクスポート / インポートで複製できます。

かんたん UI パッケージ 2.x をご利用中の場合は、カスタム UI パッケージ 3.x にバージョンアップしたあとに、設定情報を複製してください。

カスタムメニューの設定情報を複製する場合

認証機能を利用して、[一般ユーザーによるカスタマイズ] が許可されている場合、ユーザーごとに自分用のメニュー画面を作成できます。

カスタムメニュー」は最大で 300 ユーザー、かんたん UI パッケージ 2.x の「かんたんメニュー」は 1,000 ユーザーの設定を保持できます。

このため、2.x から設定情報を複製する場合、カスタム UI パッケージ 3 の「カスタムメニュー」で保持できる上限を超えることがあります。この場合、最終利用日をもっとも古いユーザーの情報が削除されます。

また、複製時には上限を超えていない場合でも、複製後に設定情報が追加されると、最終利用日をもっとも古いユーザーの情報が削除されます。

カスタムボックス保存の設定情報を複製する場合

親展ボックス番号は複製されますが、親展ボックスに関連付けられたジョブフローは複製できません。

「デバイス設定ツール (Device Setup)」などを使用して、ジョブフローと親展ボックスを複製してから、親展ボックスとジョブフローを関連付けてください。

カスタムボックス保存で使用した親展ボックス番号とジョブフローの関連付けが正しくないときは、ジョブフローの転送機能で、予期しない相手に文書が転送される可能性があります。

カスタムファクス、カスタムスキャンの設定情報を複製する場合

宛先表を使用して宛先を設定した場合は、短縮番号と一緒に保存されるため、宛先表もエクスポート / インポートしてください。

宛先表のエクスポート / インポートには、「デバイス設定ツール (Device Setup)」を使用してください。

複製元と複製先の複合機で機能や性能が異なる場合

複製元の複合機と複製先の複合機の機能や性能が異なる場合、ワンタッチアプリが動作しないことがあります。

また、アプリの複製で作成した機能ボタンは、設定が変更されることがあります。

たとえば、次のような場合です。

- カラー機で「フルカラー」を指定して作成した機能を白黒機で動かしたとき
- 「手差しトレイ」を指定した機能を手差しトレイのない複合機で動かしたとき

索引

英数字

1 ページずつ分割	87
1 文字削除	65, 84
SOAP ポート	17
URL 送信の文書保存期間	96
Web ブラウザー設定	17

あ

アイコン	29, 51, 53, 69, 71, 92, 94, 110, 112
アクセス制御	18
[宛先確認] 画面	83, 106
宛先確認ボタン	79, 82, 85, 104, 106
宛先グループ選択ボタン	105
宛先指示方法の制限	114
宛先種別ボタン	82
宛先の再入力	114
[宛先表] 画面	82
宛先表	80, 83, 105
宛先表示エリア	80, 82, 105
アプリ	30, 51, 53, 69, 71, 92, 94, 111, 112
アプリ起動時の回線選択画面の表示	114
[アプリの複製] 画面	53, 71, 94, 112
アプリを複製する	52, 70, 93, 111
印刷開始前の設定変更	129
インストール	18
上とじ原稿	66, 89
上ページのみ	67, 90
裏書き防止	63, 88
エクスポート / インポートの概要	138

か

回線選択	107
回線選択の表示	114
回線名の登録	114
各画面について	44, 60, 79, 104
各機能の特長	8
[画質 / ファイルサイズ] 画面	67, 90
画質 / ファイルサイズ	63, 87
カスタム UI パッケージの各機能を利用するための 環境設定	22
カスタム UI パッケージについて	8
カスタム UI パッケージの各機能を使用する前に	18
[カスタムコピー] 画面	44
カスタムコピー	42
[カスタムスキャン] 画面	79
カスタムスキャン	22, 77
[カスタムファクス] 画面	104
カスタムファクス	22, 101
[カスタムボックス保存] 画面	60
カスタムボックス保存	22, 58
カスタムメニュー	25
「カスタムメニュー」画面のページを切り替える	26
「カスタムメニュー」画面を表示させる	25
カスタムメニューについて	25
カスタムメニューの設定	20, 26
傾き補正	87
[カラーモード] 画面	48
カラーモード	44, 47, 61, 63, 81, 126
環境設定	15
管理者設定	38, 71, 94, 112, 118, 127

管理者設定画面について	95, 114
キーボードの定型文字列	96
機能 / アプリの追加	32
機能の概要を説明する画面が表示された場合	133
機能ボタンの追加	20
区切り文字	65, 85
原稿	44
原稿セット向き指定	47, 62, 86
原稿通過スタンプ	108
原稿の画質	47, 62, 87, 107
原稿読み込み中画面、または送信中画面で中止する	103
言語切り替え / Language	38
更新	123
コピーする	42
コピー濃度	47
コピーを中止する	43
コンテンツ情報の確認	40, 56, 75, 99, 116, 130

さ

索引検索ボタン	83, 105
削除	123
仕上がりイメージアイコン	124
地色除去	47, 63, 88
下ページのみ	67, 90
自動正立	86
しない	66, 89
自分を追加ボタン	81
出力ファイル形式	81
[仕様設定 / 登録] 画面で各項目を設定する	16
ジョブ確認画面で中止する	103
ジョブ実行後の設定値の保持	96, 114
スキャンする	58, 77
スキャンを中止する	59, 78
スパナボタン	60, 61, 79, 85, 104, 106, 123
すべて選択	123
設定情報のエクスポート / インポート	138
設定できる項目	128
設定の確認	133
設定ボタン	44, 46, 123
設定メニューボタン	26, 60, 62, 79, 86, 104, 106
説明	30, 51, 53, 69, 71, 92, 94, 111, 112
全削除	65, 84
送信画質	107
送信先アドレスの初期値	95
送信濃度	107
送信前の宛先確認画面の表示	114
送信履歴の削除	96
送信履歴の使用	96
送信履歴ボタン	80
[その他の機能] 画面	46, 61, 85, 106
その他の設定 - 初期画面	36
その他の設定 - 背景色の変更	35

た

ダイレクトスタート	29, 51, 69, 92, 110
注意 / 制限事項	41, 57, 76, 99, 116, 121, 131, 136, 139
中消し	67, 90
ちょっと小さめ	49
追加原稿	63, 107
追加原稿あり	82
通常のメニュー画面を使いたい場合は	12

添付ファイルの上限サイズ	96
動作環境	14
同報指示	114
トラブル対処	40, 54, 74, 97, 115, 119, 129, 134

な

名前（1行目）	29, 51, 53, 69, 71, 92, 94, 110, 112
名前（2行目）	29, 51, 53, 69, 71, 92, 94, 110, 112
[名前 / アイコンの変更] 画面	29
認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項	57, 137
認証方式の設定	17

は

[倍率選択] 画面	49
倍率選択	46, 48
白紙除去	63, 87
はじめに	3
発信元記録	108
パンチ	47, 126
左とじ原稿（よこ書き）	66, 89
左ページのみ	66, 89
[日付の形式] 画面	65, 85
日付の形式	65, 85
日付けの表示形式	65, 85
日付ボタン	65, 84
[標準メニュー] ボタン	25
ファイルの送付方法	88
[ファイル名] 画面	64, 84
ファイル名	61, 63, 81
ファイル名の定型文字列	96
ファイル名表示エリア	64, 84
ファイル名ボタン	65, 84
ファイル名を自動設定する	64, 84
ファクスする	101
ファクスを中止する	102
複合機	14
複合機の設定	15
複製できる設定情報	138
部数	45, 47
プライベートプリント（一括出力）	24, 117
[プライベートプリント（かんたん確認）] 画面	123
プライベートプリント（かんたん確認）	24, 122
フリックおよびダブルタップ操作が無効な場合	26
フリックおよびダブルタップ操作が有効な場合	26
プリント済み文書の再利用	126
プリントする	117, 122
プリント設定の変更	125
プリント設定の変更画面	125
プリント部数	125
プリントを中止する	118, 124
プロトコル設定	17
文書一覧	124
文書選択の初期設定	128
文書の表示順	128
[ページ連写] 画面	66, 89
ページ連写	62, 88
ホチキス	46, 48, 126
本書の構成	4
本書の使い方	4
本書の表記	5

ま

まとめて1枚	126
まとめて1枚（Nアップ）	45, 48

右とじ原稿（たて書き）	66, 89
右ページのみ	66, 89
ミックスサイズ原稿送り	47, 63, 88, 108
メールアドレス新規追加	80
メニュー画面の設定	18
メニューの編集 / 削除 / 並べ替え	
- 機能ボタンの削除	31
メニューの編集 / 削除 / 並べ替え	
- 機能ボタンの並べ替え	27
メニューの編集 / 削除 / 並べ替え	
- 機能ボタンの編集	28
メニューの編集 / 削除 / 並べ替え	
- ワンタッチアプリの設定の確認	30
文字認識（OCR）	87

や

ユーザー名ボタン	65, 84
用紙選択	45, 48
読み込み濃度	62, 87
読み取り解像度	63, 82
読み取りサイズ	62, 87, 108
[読み取り倍率] 画面	108
読み取り倍率	108

ら

[リストの編集] 画面	49, 64, 88, 109
両ページ	66, 89
[両面 / 片面 / 製本] 画面	48
両面 / 片面 / 製本	45, 48
両面原稿送り	61, 63, 81, 107
両面プリント	126
[履歴からプリント] の使用	128

わ

[ワンタッチアプリの作成] 画面	51, 69, 92, 110
ワンタッチアプリ	132
ワンタッチアプリを作成する	50, 68, 91, 109
ワンタッチアプリを実行する	132

カスタム UI パッケージ 3 取扱説明書

著作者 富士ゼロックス株式会社
発行者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2020 年 5 月 第 1 版

(管理 No. ME7575J1-5)